2023.08.02 作成

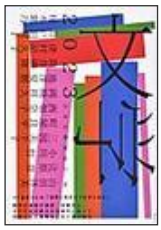
# 2023 年 7 月新聞書評に掲載された本

**ことばの果実(潮文庫 お-1)**

長田弘 著
潮出版社
日々の暮らしの光景に、風物詩としての彩りとアクセントをもたらしてきた果実と花実。食卓のささやかな悦びと至福の味の記憶を綴る、詩人・長田弘の最後のエッセー集。

産経新聞 2023/07/01

2021:12./ 135p
978-4-267-02314-9
¥880〔税込〕



**文学<2023>**

日本文藝家協会 編
講談社
2022 年刊行の文芸誌発表作品から精選した、「今」を代表する 12 人の作家が描いた珠玉の短篇。桜木紫乃「らっきょうとクロッカス」、井戸川射子「キャンプ」、筒井康隆「文士と夜警」、西加奈子「ママと戦う」などを収録。

産経新聞 2023/07/02

2023:6./ 347p
978-4-06-531950-5
¥4,400〔税込〕

**らんまんの笑顔「人間・牧野富太郎」伝**

谷 是／谷村 鯛夢 著
集英社
学会から圧迫され、裕福な酒造家の実家をつぶし、借金まみれになるも、なぜか次々と協力者が現れる-。植物学者・牧野富太郎の、好きなことだけやり尽くした 94 年の生涯を土佐史談会の名手が語り下ろす。

産経新聞 2023/07/02

2023:3./ 223p
978-4-08-781733-1
¥1,760〔税込〕

**交通崩壊(新潮新書 997)**

市川 嘉一 著
新潮社
寸断される鉄道、広まらないトラム、カオス化する歩道…。「部分最適」を脱し、総合的な交通政策を構想せよ! 独自に歩みを続けてきたため、今や様々な形で弊害が目立ち始めている日本の都市・地域交通の問題を探る。

産経新聞 2023/07/02

2023:5./ 239p
978-4-10-610997-3
¥902〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2023 年 7 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp Email: marketing@maruzen.co.jp

## 天神さんが晴れなら

2023:4./ 280p
978-4-19-865575-4
¥1,870〔税込〕

澤田瞳子 著
徳間書店
生まれ育ち、今も暮らす京都。食を楽しみ、旅に心惹かれ、美術・芸術を愛し、悠久の歴史に思いを馳せる。そして、それらすべてのことが物語を紡ぐ糧となる-。直木賞作家が日常の風景を綴ったエッセイ集。

産経新聞 2023/07/02

## 大極殿の誕生～古代天皇の象徴に迫る～(歴史文化ライブラリー　569)

2023:5./ 6p,208p
978-4-642-05969-5
¥1,870〔税込〕

重見　泰 著
吉川弘文館
天武は天皇中心の統治体制の重要な舞台として大極殿を創出しながら、王宮造営は未完に終わった。新王宮より前に大極殿を必要とした背景を、発掘調査で確認された宮殿遺跡の考古学的な研究成果を基に探り、政治構想に迫る。

産経新聞 2023/07/02

## アジア・中東の装飾と文様

2023:5./ 417p
978-4-7562-5542-6
¥3,080〔税込〕

海野弘 著
パイインターナショナル
中国、インド、ペルシア、イスラム、東南アジア…。長安から遙か西のローマまで、シルクロードが横断するユーラシア大陸の魅力あふれる装飾文化の歴史を、豊富なカラー・ビジュアルとともに解説する。

産経新聞 2023/07/02

## アート・ローの事件簿<美術品取引と権利のドラマ篇>

2023:4./ 6p,219p
978-4-7664-2884-1
¥2,420〔税込〕

島田 真琴 著
慶應義塾大学出版会
美術品取引やアートに関する権利とその限界が争われた 20 の事件を取りあげ、事件の経緯、裁判の内容・解説とともに、事件に関連するアート作品、アーティスト、争いの当事者に関するエピソードを紹介する。

産経新聞 2023/07/02

## 牧野富太郎～花と恋して九〇年～

2023:3./ 261p
978-4-7917-7539-2
¥2,420〔税込〕

上山明博 著
青土社
日本における植物学の発展に多大な貢献をした牧野富太郎。生活における困難、権威との確執、陰謀論の真相、もうひとりの天才との関係…。さまざまな史料から、偉大な植物学者の足跡をあきらかにする。

産経新聞 2023/07/02



MARUZEN-YUSHODO

**牧野富太郎選集<1> 植物と心中する男**

牧野富太郎 著
東京美術
人生を植物研究に捧げた“植物の父”牧野富太郎博士の選集。「植物の世界は研究すればするほど面白いことだらけです」 自伝や信条とともにユーモアたっぷりに植物を語る、博士の人柄がにじみ出た植物随筆を収録。

産経新聞 2023/07/02

2023:3./ 279p
978-4-8087-1271-6
¥1,980〔税込〕

**鈍色幻視行**

恩田 陸 著
集英社
“呪われた”小説「夜果つるところ」の謎を追う小説家・蕗谷梢は、豪華客船という「密室」で、関係者たちに取材する。旅の最後に辿りついた真実とは…。『すばる』『RENZABURO』掲載を加筆し単行本化。

産経新聞 2023/07/02、東京・中日新聞 2023/07/02

2023:5./ 653p
978-4-08-771430-2
¥2,420〔税込〕

**ぼくはあと何回、満月を見るだろう**

坂本 龍一 著
新潮社
自らに残された時間を悟り、教授は語り始めた。創作や社会運動を支える哲学、国境を越えた多彩な活動、坂本家の歴史と家族に対する想い、ガンと共に生きること-。最晩年までの足跡を未来に遺す自伝。『新潮』連載を書籍化。

産経新聞 2023/07/02、読売新聞 2023/07/16、日本経済新聞 2023/07/29、東京・中日新聞 2023/07/30

2023:6./ 285p
978-4-10-410603-5
¥2,090〔税込〕

**一球の記憶**

宇都宮ミゲル 著
朝日新聞出版
歓喜、衝撃、悔恨。昭和のプロ野球選手が語る、永遠に刻まれたドラマとは。若松勉、東尾修、村田兆治、江川卓らスター選手 37 人の「記憶に残る一球」に迫るインタビュー集。『昭和 40 年男』連載に新規取材を加えて単行本化。

産経新聞 2023/07/09

2023:3./ 461p
978-4-02-251892-7
¥2,178〔税込〕

**歩く亡者～怪民研に於ける記録と推理～**

三津田　信三 著
KADOKAWA
首無女、座敷婆、狐鬼…。怪異民俗学研究室、通称「怪民研」に持ち込まれる数々の怪異譚の真相に、名探偵・刀城言耶の怖がりな助手と、怪談を語る女子大生が迫る。『小説野性時代』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

産経新聞 2023/07/09

2023:6./ 323p
978-4-04-112412-3
¥2,090〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

## はじめてのヘリテージ建築～絵で読む「生きた名建築」の魅力～

宮沢 洋 著
日経ＢＰ社
古い建築を楽しもう! 建築設計者の手で魅力的な場に再生したヘリテージ建築(歴史遺産建築)。名古屋テレビ塔や国立西洋美術館など全国 20 件の名建築をイラストと共に紹介。日建設計 note 連載を再構成し座談会を加える。

産経新聞 2023/07/09

2023:6./ 183p
978-4-296-20245-4
¥2,420〔税込〕

## 富士日記の人びと～武田百合子を探して～

校條 剛 著
河出書房新社
武田百合子が山梨県・富士桜高原別荘地での日々を綴った「富士日記」。武田泰淳・百合子・花一家が暮らした「武田山荘」跡の近くにセカンドハウスを所有する著者が、綿密な取材を重ね、「富士日記」の新たな魅力に迫る。

産経新聞 2023/07/09

2023:5./ 220p
978-4-309-03104-0
¥1,980〔税込〕

## 近代日本美術展史

陶山伊知郎 著
国書刊行会
帝室博物館総長・森鷗外による学芸活性化の試み、戦時体制下の「正倉院御物特別展観」、8 年がかりのゴッホ展…。近代日本の美術展の歩みを、新聞社や百貨店の参画にも光をあて、エピソードとともに辿る。各種年表、索引付き。

産経新聞 2023/07/09

2023:5./ 365p
978-4-336-07464-5
¥8,360〔税込〕

## 死と後世(ちくま学芸文庫　シ 43-1)

サミュエル・シェフラー 著
筑摩書房
人間の生が自らの死後も生き続けるであろう人々の存在に想像されるよりも強く依存していることを、3 つの講義を通して示す。講義への 4 人の哲学者による批判と著者の応答も掲載。哲学的探究の新しい領域を切り開いた書。

産経新聞 2023/07/09

2023:6./ 330p
978-4-480-51188-1
¥1,320〔税込〕

## 深澤直人のアトリエ

深澤　直人 著
平凡社
ウォッチからはじめて結局家までデザインすることになった。このアトリエには私の全てのデザインが使われている-。デザイナー・深澤直人が、自宅兼アトリエでの生活から感じたこと、建てるうえで考えたことなどを綴る。

産経新聞 2023/07/09

2023:5./ 178p
978-4-582-54473-2
¥3,850〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**村松剛～保守派の昭和精神史～**

神谷 光信 著
法政大学出版局
東西冷戦期、「保守」の立場から活動したフランス文学者・文芸評論家、村松剛の本格評伝。その生涯を浩瀚な文献から丹念に辿り、人的交流の網目に布置し、時代精神とともに犀利に描き出す。

産経新聞 2023/07/09

2023:4./ 534p,12p
978-4-588-46020-3
¥4,950〔税込〕

**岡部悦子日記～明治期大使令嬢の滞英記録～**

一般社団法人 尚友倶楽部 編
芙蓉書房出版
明治末期に生まれ、渡英。外交官補・岡部長景と結婚しワシントンへ。帰国後、社交界で活躍…。大使令嬢として、外交官夫人として英国、米国での見聞を克明に書き残した記録。

産経新聞 2023/07/09

2023:4./ 445p 図版 14p
978-4-8295-0861-9
¥6,600〔税込〕

**POLITICS OF LIVING～生きるための力学～**

MUESUM 編
ドットアーキテクツ 著
ＴＯＴＯ出版
「設計」「つくる」「使う」の境界をかき消す建築家集団、ドットアーキテクツが手がけた 5 つの事例を紹介。使い手が建築を使いこなしていく手跡も含め、その場の営みを断片的に切り取った写真群で構成する。

産経新聞 2023/07/09

2023:5./ 233p
978-4-88706-400-3
¥4,400〔税込〕

**ハンチバック**

市川 沙央 著
文藝春秋
重度障害者の井沢釈華は、10 畳の自室からあらゆる言葉を送り出す。釈華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲し、生きれば生きるほど、身体はいびつに壊れていき…。『文學界』掲載を書籍化。

産経新聞 2023/07/09、読売新聞 2023/07/16

2023:6./ 93p
978-4-16-391712-2
¥1,430〔税込〕

**少女マンガはどこからきたの?～「少女マンガを語る会」全記録～**

ヤマダトモコ／増田のぞみ／小西優里／想田四 編
水野英子／上田トシコ／むれあきこ／わたなべまさこ／巴里夫／高橋真琴／今村洋子／ちばてつや／牧美也子／望月あきら／花村えい子／北島洋子 著
青土社
「リボンの騎士」から「ベルサイユのばら」まで、少女マンガはいかに開拓されてきたのか。少女マンガ界の先駆者たち、雑誌の編集者、貸本マンガの関係者らが、50～60 年代の少女マンガを語り尽くす。図版も多数収録。

産経新聞 2023/07/15

2023:6./ 335p,14p 図版 12p
978-4-7917-7553-8
¥2,860〔税込〕

## 墨のゆらめき

三浦 しをん 著
新潮社
都内の老舗ホテルに勤務する続力は、招待状の宛名書きを依頼しに書家の遠田薫を訪ね、なぜか副業の手紙の代筆を手伝うことに。あらゆる筆跡を自在に書き分ける遠田と接するうち、続は文字が放つきらめきに魅せられていく。

産経新聞 2023/07/16

2023:5./ 225p
978-4-10-454108-9
¥1,760〔税込〕

## もっと悪い妻

桐野 夏生 著
文藝春秋
妻の貌(かお)を、男たちは知らない-。夫公認のもと、元恋人と自由な時間を過ごす妻を描いた表題作をはじめ、昭和・平成・令和の「男と女のカタチ」を切り取った、全6篇の短篇集。『オール讀物』等掲載を単行本化。

産経新聞 2023/07/16

2023:6./ 146p
978-4-16-391709-2
¥1,760〔税込〕

## おーづせんせい

児島秀樹 著
徳間書店
松竹キネマに入社する1年前、若き小津安二郎は、三重県飯南郡宮前村(現在の松阪市飯高町)の小学校の担任として代用教員の職を得た。教え子たちが文集に残した小津との思い出をもとに、1年間の教師時代を描く。

産経新聞 2023/07/16

2023:4./ 315p
978-4-19-865619-5
¥2,200〔税込〕

## 少しだけおかわりと言ったのに(Parade Books)

前田理容 著
パレード
カーナビ上では家々をなぎ倒し進んでる トンネル内で叫んだ自分の声におののく レジ袋が絶滅危惧種に指定された 自由律俳句集、第2弾。ショートエッセイや川柳の入選作も収録する。

産経新聞 2023/07/16

2023:5./ 116p
978-4-434-31853-5
¥550〔税込〕

## カニバリゼーション～企業の運命を決める「事業の共食い」への9つの対処法～

山田英夫 著
ダイヤモンド社
会社の未来は内側から殺されていく。ビジネスにおけるカニバリゼーション(事業の共食い)の悪影響を避けながら、ビジネスモデルを変革する方法を、リクルート、ぴあ、エプソンなど大企業の解決事例とともに解説する。

産経新聞 2023/07/16

2023:6./ 263p
978-4-478-11706-4
¥1,980〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**隠れ家と広場～移民都市アムステルダムのユダヤ人～**

水島治郎 著
みすず書房
かつてアンネ・フランクやスピノザが住んだアムステルダムは、歴史的に難民に寛容で、ユダヤ人を支援するレジスタンスが盛んな街だった。その背景を「隠れ家」と「広場」を軸に探る。『みすず』連載等を単行本化。

産経新聞 2023/07/16

2023:6./ 222p,20p
978-4-622-09558-3
¥3,960〔税込〕

**アンリ・マティス作品集～諸芸術のレッスン～**

米田尚輝 著
東京美術
近代芸術の巨匠マティスの芸術的実践へ多角的アプローチを試みた作品集。陶器の絵付け、舞台衣装、建築装飾等、最新の研究成果を反映し、当時は絵画や彫刻と比較して下位に置かれていたデザイン領域の仕事を積極的に紹介する。

産経新聞 2023/07/16

2023:5./ 191p
978-4-8087-1276-1
¥3,740〔税込〕

**くちびるを読む～香田小茅歌集～<続>**

香田　小茅 著
短歌研究社
店退く日密かに決めて立つ店に古き客等が笑顔もちくる 帰れる日尋ねていたる夫なりき抱きて戻るも軽きみ骨を 失聴者である著者が老年期に入った生活の折々を詠んだ 428 首を収録した第 2 歌集。

産経新聞 2023/07/16

2023:6./ 206p
978-4-86272-740-4
¥2,750〔税込〕

**踊れ始祖鳥**

くろだたけし 著
ナナロク社
悟るのも欲望のまま生きるのもなんか無理だな凡人だから すくわれた金魚が乾くこちらがわ何もないのが空という場所 勢いをつけて跳んだらそれっきり思い出さない友だちのこと 第 1 歌集。

産経新聞 2023/07/16

2023:6./ 132p
978-4-86732-020-4
¥1,870〔税込〕

**師匠はつらいよ～藤井聡太のいる日常～**

杉本 昌隆 著
文藝春秋
将棋界を席巻する天才・藤井聡太。その師匠である著者が、強すぎる弟子と将棋の喜びをユーモラスに綴ったエッセー集。先崎学との対談も収録する。『週刊文春』連載を単行本化。

産経新聞 2023/07/16、読売新聞 2023/07/16

2023:6./ 263p
978-4-16-391707-8
¥1,760〔税込〕

**腹を空かせた勇者ども**

金原 ひとみ 著
河出書房新社
私ら人生で一番エネルギー要る時期なのに。ハードモードな日常ちょっとえぐすぎん? 陽キャ中学生レナレナが、「公然不倫」中の母と共に未来をひらく、知恵と勇気の爽快青春長篇。『文藝』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/07/16、日本経済新聞 2023/07/29

2023:6./ 249p
978-4-309-03106-4
¥1,760〔税込〕

**心が疲れない「正しい」休み方**

るろうに 著
KADOKAWA
心の疲れが取れる「お酒」の飲み方、睡眠の質を高める「寝る準備」、脳を休める「ポモドーロ・テクニック」…。ネガティブな感情も、人間関係のストレスも全ての悩みがスーッと消えていく超実践的な 46 のメソッドを紹介する。

産経新聞 2023/07/22

2022:4./ 215p
978-4-04-605551-4
¥1,540〔税込〕

**日本の死角(講談社現代新書　2703)**

現代ビジネス 編
講談社
「日本人は集団主義」のウソ、「ハーバード式教育」の罠、地方で拡大する「移動格差」…。日本人論や若者の生態、失われた 30 年、教育、地方、暮らし、差別といった問題の構造や核心を論じる。『現代ビジネス』掲載を新書化。

産経新聞 2023/07/22

2023:5./ 222p
978-4-06-531958-1
¥990〔税込〕

**放課後ミステリクラブ<1> 金魚の泳ぐプール事件**

知念実希人 著
ライツ社
夜の学校。プールに放たれた金魚。だれが、なんのために? 4 年 1 組の辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が先生の依頼で動き出す! 作家・知念実希人による児童書本格ミステリ。

産経新聞 2023/07/22

2023:6./ 159p
978-4-909044-45-7
¥1,210〔税込〕

**竹取工学物語～土木工学者、植物にものづくりを学ぶ～(岩波科学ライブラリー 320)**

佐藤 太裕 著
岩波書店
竹の「節」「維管束」がもつ力学的役割、植物が「高さ」を稼ぐための工夫…。竹やその他の植物の不思議な形状を工学の視点から解明した結果、見えてきた新しい科学的発見を紹介する。『科学』連載を書籍化。

産経新聞 2023/07/23

2023:7./ 10p,105p,3p
978-4-00-029720-2
¥1,540〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**出世と恋愛～近代文学で読む男と女～(講談社現代新書　2709)**

斎藤 美奈子 著

講談社

古今東西の文学が描いてきた「出世と恋愛」。しかし日本の文学に描かれた男女の恋はなぜか行き違い結ばれない。そして描かれる青春と恋愛はワンパターンである。その謎を抜群のセンスと慧眼で知られる文芸評論家が解き明かす。

産経新聞 2023/07/23

2023:6./ 265p
978-4-06-529357-7
¥1,056〔税込〕

**神獣夢望伝**

武石 勝義 著

新潮社

くり返し現れる夢の風景を求めて旅立つ少年、奪われた恋人を追って故郷を出奔する男、一度は愛した男に裏切られた女…。不条理な運命に抗う先に、救いはあるのか。新たな地平を開く中華幻想奇譚。

産経新聞 2023/07/23

2023:6./ 308p
978-4-10-355081-5
¥1,870〔税込〕

**朝鮮半島の歴史～政争と外患の六百年～(新潮選書)**

新城 道彦 著

新潮社

気鋭の研究者が、朝鮮半島の南北分断に至る長い道のりを、14 世紀の朝鮮王朝の建国にさかのぼって叙述。国内の政治闘争と周辺国のパワーバランスに着目し、朝鮮特有の政治力学の因果を浮き彫りにする。

産経新聞 2023/07/23

2023:6./ 293p
978-4-10-603900-3
¥1,925〔税込〕

**アリアドネの声**

井上 真偽 著

幻冬舎

巨大地震が発生。地下の危険地帯に取り残された女性は、目が見えず、耳も聞こえない。崩落と浸水で救助隊の進入は不可能で、およそ 6 時間後には安全地帯への経路も断たれしまう。運命はドローンを操るハルオの指先に託され…。

産経新聞 2023/07/23

2023:6./ 298p
978-4-344-04127-1
¥1,760〔税込〕

**生成 AI～「ChatGPT」を支える技術はどのようにビジネスを変え、人間の創造性を揺るがすのか?～**

小林　雅一 著

ダイヤモンド社

生成 AI は社会をどう変えるのか? OpenAI やマイクロソフト、それに対抗するテック企業の思惑とは? 超スピードで進む AI の進化と社会変革についていくための基礎教養をまとめた、現時点の最良のレポート。

産経新聞 2023/07/23

2023:7./ 359p,4p
978-4-478-11818-4
¥1,980〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**<図説>真珠の文化誌**

フィオナ・リンゼイ・シェン 著
原書房
数千年におよぶ真珠と人間のドラマを多くの図版とともに描いた一冊。カキの生態、ジュエリーとしての美しさ、御木本幸吉による養殖真珠の成功と西洋に与えた衝撃、人々を夢中にさせた魅力など、真珠にまつわる歴史をひもとく。

産経新聞 2023/07/23

2023:6./ 317p
978-4-562-07293-4
¥3,960〔税込〕

**アフターChatGPT～生成 AI が変えた世界の生き残り方～(PHP ビジネス新書　463)**

山本 康正 著
ＰＨＰ研究所
公開後、瞬く間に世界中から注目を集めた ChatGPT。ChatGPT をはじめとする生成 AI が、なぜ今登場したのか、そして、アフターChatGPT のビジネスはどのように変わるのかを述べる。

産経新聞 2023/07/23

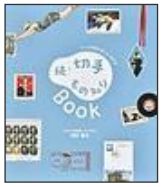
2023:7./ 183p
978-4-569-85512-7
¥935〔税込〕

**生成 AI～社会を激変させる AI の創造力～**

白辺 陽 著
ＳＢクリエイティブ
第一線の生成 AI ソフトウェアの具体例を紹介。デジタルの画像(イラストや写真加工、写真生成)、動画、音楽・音声、文章を生成する AI が生み出すチャンスとともに、問題点とその解決の流れについて解説する。

産経新聞 2023/07/23

2023:6./ 311p
978-4-8156-2121-6
¥1,870〔税込〕



**切手もの知り Book<続> もっと収集を楽しむ 40 話**

田辺　龍太 著
日本郵趣出版
人々の暮らしが変容するように、切手にも変化がある。切手の原画や種類、技術などを取り上げ、切手と社会情勢が連動していることや、切手と郵便事業が時代とともに進歩していることなどを伝える。データ:2023 年 3 月現在。

産経新聞 2023/07/23

2022:5./ 87p
978-4-88963-873-8
¥1,320〔税込〕

**「若者の読書離れ」というウソ～中高生はどのくらい、どんな本を読んでいるのか～(平凡社新書　1030)**

飯田　一史 著
平凡社
この 20 年間で小中学生の平均読書冊数は V 字回復したが、「若者は本を読まない」と当たり前のように語られている。各種データから中高生のニーズや人気の本の型を提示し、若者の読書についての思い込みを打ち破る。

産経新聞 2023/07/23、東京・中日新聞 2023/07/30

2023:6./ 262p
978-4-582-86030-6
¥1,078〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**アメリカン・マスターピース<準古典篇>(SWITCH LIBRARY　柴田元幸翻訳叢書)**

柴田元幸 著
スイッチ・パブリッシング
アメリカの激動の時代、20 世紀前半に執筆・発表された、名作の誉れ高い作品ばかりを集めた選集。ヘミングウェイ、フォークナーなどの巨匠による「定番」から、ハーストン、オルグレンの本邦初訳作品までを収録。

産経新聞 2023/07/29

2023:7./ 253p
978-4-88418-617-3
¥2,640〔税込〕

**ロッタの夢～オルコット一家に出会った少女～(岩波少年文庫 258)**

ノーマ・ジョンストン、平澤 朋子 著
岩波書店
19 世紀半ば、ドイツからボストンへやってきた 12 歳のロッタとその家族。一家は貧しい生活を余儀なくされるが、オルコット一家と出会い…。フィクションとノンフィクションが混ざり合った物語。作中の料理のレシピ付き。

産経新聞 2023/07/30

2023:6./ 310p,6p
978-4-00-114258-7
¥968〔税込〕

**化け者手本**

蝉谷　めぐ実 著
KADOKAWA
鳥屋の藤九郎と元役者の魚之助のもとに、中村座の座元から事件の話が持ち込まれた。舞台の幕が下りたとき、変死体が客席に転がっていたという。演目は「仮名手本忠臣蔵」。真相解明に乗り出したふたりだったが…。

産経新聞 2023/07/30

2023:7./ 238p
978-4-04-113636-2
¥1,980〔税込〕

**戦国日本を見た中国人～海の物語『日本一鑑』を読む～(講談社選書メチエ 788)**

上田 信 著
講談社
日中関係が緊迫していた 16 世紀なかば、来日した明の鄭舜功は庶民の生活習慣から日本刀の精神性、男女の人口比まで、公平に観察し「日本一鑑」を著した。そのルポルタージュから、当時の日本人の姿や感性を読み解く。

産経新聞 2023/07/30

2023:7./ 245p
978-4-06-532574-2
¥1,870〔税込〕

**エレクトリック**

千葉 雅也 著
新潮社
1995 年、宇都宮。高 2 の達也は東京に憧れ、父は自宅でアンプ製作に腐心する。父の指示で黎明期のインターネットにいち早く接続した達也は、ゲイのコミュニティの存在を知り、接触を試みる-。『新潮』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/07/30

2023:5./ 164p
978-4-10-352973-6
¥1,650〔税込〕

**彼女が言わなかったすべてのこと**

桜庭 一樹 著
河出書房新社
先日、大学の同級生だった中川君と偶然再会した。彼と私は、どうやら別の東京を生きている。向こうの世界では世界規模の感染症が広がり…。切なくもすがすがしい、パラレルフィクション。『文藝』連載を改題し書籍化。

産経新聞 2023/07/30

2023:5./ 285p
978-4-309-03109-5
¥1,870〔税込〕

**日本人無宗教説～その歴史から見えるもの～(筑摩選書　0255)**

藤原　聖子 著
筑摩書房
religion の訳語として宗教という言葉が定着してから、途切れることなく続いた日本人無宗教説。「日本人は無宗教だ」とする言説の明治以来の系譜を辿り、宗教をめぐる日本人のアイデンティティ意識の変遷を解明する。

産経新聞 2023/07/30

2023:5./ 266p,4p
978-4-480-01773-4
¥1,870〔税込〕

**安倍晋三が生きた日本史(産経セレクト S-032)**

櫻井よしこ 著
産経新聞出版
「取り戻す」日本とは何か。日本史を背負い、日本を守ったリーダーたちと安倍総理の魂と意思を読み解く。『週刊新潮』など掲載にインターネット番組の対談や書き下ろしを加え書籍化。

産経新聞 2023/07/30

2023:6./ 300p
978-4-8191-1427-1
¥990〔税込〕

**奈良美智終わらないものがたり**

イェワン・クーン 著
青幻舎
ルーツとしての東北、ドイツ修行時代、熱狂的支持を得た 2000 年代の葛藤…。美術作家・奈良美智のものがたりを、初期～近作の作品群を軸に、長期におよぶ取材、関係者の証言とともに描くモノグラフ。貴重な図版も多数収録。

産経新聞 2023/07/30

2023:4./ 383p
978-4-86152-849-1
¥6,600〔税込〕

**息**

小池 水音 著
新潮社
弟が若くして死を選んでから 10 年、姉も、父と母も悔いと悲しみを胸に抱き…。喪失を抱えた家族の再生を、息を繋ぐようにして描き出す表題作、新潮新人賞受賞作「わからないままで」を収録。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/06/30

2023:5./ 215p
978-4-10-355041-9
¥2,090〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**誰が千姫を殺したか～蛇身探偵豊臣秀頼～(講談社文庫　た 109-6)**

田中 啓文 著
講談社
大坂夏の陣の終結から 45 年。大坂城の蔵に落雷し、大爆発が起こる。城の修復中に地下へ続く石段が見つかり、暗闇の先には豊臣秀頼と名乗る恐ろしい姿の人物がいた。秀頼は「千姫は大坂城で殺された」と驚くべき物語を話し…。

朝日新聞 2023/07/01

2023:5./ 355p
978-4-06-531606-1
¥847〔税込〕

**中華を生んだ遊牧民～鮮卑拓跋の歴史～(講談社選書メチエ　785)**

松下 憲一 著
講談社
4 世紀の華北に遊牧王朝・北魏を建て、五胡十六国を統一した鮮卑拓跋部。「野蛮な胡族」が漢族を支配し、今にいたる「中華のスタンダード」を創造する対立と融合の 300 年の歴史を描く。

朝日新聞 2023/07/01

2023:5./ 243p
978-4-06-531839-3
¥1,870〔税込〕

**透明な夜の香り(集英社文庫　ち 6-6)**

千早 茜 著
集英社
元・書店員の一香は、古い洋館の家事手伝いのアルバイトを始める。そこでは調香師の小川朔が、幼馴染の探偵・新城とともに、客の望む「香り」を作っていた。朔のもとには、風変わりな依頼が次々と届けられ…。

朝日新聞 2023/07/01

2023:4./ 278p
978-4-08-744509-1
¥704〔税込〕

**深重の海(集英社文庫　つ 6-15)**

津本　陽 著
集英社
明治 11 年、熊野灘の沖に現れた巨大鯨に数百人の男たちが立ち向かう。だが、これが大遭難「背美流れ」の発端となり、伝統的な捕鯨組織が崩壊しはじめる…。古式捕鯨に命を賭けた海人たちの愛と闘いを描いた長編。

朝日新聞 2023/07/01

2012:11./ 469p
978-4-08-745006-4
¥990〔税込〕

**赤い月の香り**

千早 茜 著
集英社
古い洋館で「香り」のサロンを営む天才調香師・小川朔は、幼馴染みの探偵・新城と共に、依頼人の望む香りをオーダーメイドで作っていた。朝倉満は朔に勧誘され、そこで働くことになるが…。『小説すばる』連載を加筆修正。

朝日新聞 2023/07/01

2023:4./ 221p
978-4-08-771832-4
¥1,760〔税込〕

**ブルーアウト(小学館文庫 す 15-1)**

鈴木 光司 著

小学館

和歌山県串本町のダイビングショップで働く女性ダイバー水輝のもとを、トルコ人青年が訪れる。彼の目的は、125 年前、祖先を乗せた軍艦「エルトゥールル号」の遭難現場である物を捜すことだった。史実に着想を得た海洋小説。

朝日新聞 2023/07/01

2019:6./ 380p
978-4-09-406647-0
¥869〔税込〕

**紀ノ川 改版(新潮文庫)**

有吉 佐和子 著

新潮社

朝日新聞 2023/07/01

2006:4./ 357p
978-4-10-113201-3
¥737〔税込〕

**縛られた巨人～南方熊楠の生涯～(新潮文庫)**

神坂次郎 著

新潮社

朝日新聞 2023/07/01

1991:12./ 502p
978-4-10-120912-8
¥781〔税込〕

**籠の鸚鵡(新潮文庫 つ-23-3)**

辻原 登 著

新潮社

地廻りのヤクザ、峯尾は、蠱惑的な妻カヨ子を使って町役場出納室長に公金横領を唆す。折しも山一抗争が拡大、峯尾に組長暗殺の大役が命ぜられ…。80 年代半ば、バブル期の和歌山を舞台に、エロスと欲望が突き抜ける犯罪巨編。

朝日新聞 2023/07/01

2019:6./ 385p
978-4-10-132173-8
¥693〔税込〕

**しろがねの葉**

千早 茜 著

新潮社

戦国末期、採掘最盛期を迎える石見銀山。天才山師・喜兵衛に拾われた少女ウメは、銀山の知識と鉱脈のありかを授けられ、女だてらに坑道で働き…。渦巻く欲望と死に抗って生きる女の生涯を描く。『小説新潮』連載を加筆修正。

朝日新聞 2023/07/01

2022:9./ 314p
978-4-10-334194-9
¥1,870〔税込〕

**関東大震災がつくった東京～首都直下地震へどう備えるか～(中公選書 137)**

武村雅之 著

中央公論新社

1923 年、東京は関東大震災により、地震規模に対して著しく大きい被害を被った。被害を拡大させた要因は何か。江戸の発展と震災後の帝都復興をたどり、現在の東京が抱えるさまざまな問題を指摘し、都市の在り方を考える。

朝日新聞 2023/07/01

2023:5./ 245p
978-4-12-110138-9
¥1,980〔税込〕

**首都の議会～近代移行期東京の政治秩序と都市改造～**

池田　真歩 著

東京大学出版会

明治初年から日清戦後にかけての東京の議会を、政治争点としての都市改造、および議会内外の集団・団体が織りなす関係構造に重視して分析。始動期の東京の議会をとりまく政治環境を、その流動性や重層性をふくめて考察する。

朝日新聞 2023/07/01

2023:3./ 5p,364p,10p
978-4-13-026612-3
¥7,700〔税込〕

**急行霧島～それぞれの昭和～(ハヤカワ文庫 JA 1550)**

山本　巧次 著

早川書房

昭和 36 年、母を亡くした美里は、生き別れの父が待つ東京へ、急行霧島で鹿児島から向かう。車内には傷害犯を追う刑事や、大仕事をしようと目論む伝説のスリ師も乗っていて、美里の身にも危険が…。人情系鉄道ミステリ。

朝日新聞 2023/07/01

2023:5./ 363p
978-4-15-031550-4
¥990〔税込〕

**ものまね鳥を殺すのは～アラバマ物語<新訳版>～**

ハーパー・リー 著

早川書房

1930 年代、アメリカ南部。白人女性への暴行の嫌疑がかけられた黒人男性の弁護にあたる父アティカスの姿を、娘のスカウトの無垢な瞳を通じて克明に描く。アメリカ文学の名作「アラバマ物語」の新訳。

朝日新聞 2023/07/01

2023:6./ 479p
978-4-15-210250-8
¥3,960〔税込〕

**闘いの庭 咲く女～彼女がそこにいる理由～**

ジェーン・スー 著

文藝春秋

「私なんて」はもう捨てよう。柴田理恵、君島十和子、一条ゆかりら、逆風をしたたかにかわしつつ花を咲かせた 13 人の女性たちに、「自分らしさ」の見つけかた、生き方、仕事術を訊く。『週刊文春 WOMAN』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/07/01

2023:3./ 269p
978-4-16-391675-0
¥1,650〔税込〕

**西洋菓子店プティ・フール(文春文庫　ち 8-2)**

千早 茜 著

文藝春秋

スイーツは誰かの心を不意につかんで新しい場所へと羽ばたかせるスイッチ。頑固なじいちゃんと職人肌のパティシエールが営む、下町の洋菓子店を舞台に繰り広げられる鮮烈な 6 つの物語。パティシエールとの対談も収録。

朝日新聞 2023/07/01

2019:2./ 285p
978-4-16-791222-2
¥748〔税込〕

**柳橋の桜<1>　猪牙の娘(文春文庫　さ 63-190)**

佐伯 泰英 著
文藝春秋
柳橋の船宿さがみで働く船頭の広吉の一人娘・桜子。器量のよさと棒術の腕前で、街で人気の桜子の夢は父親のような船頭になること。そんな桜子に目を付けた、船宿の亭主による「大晦日の趣向」が思わぬ騒動を巻き起こし…。

朝日新聞 2023/07/01

2023:6./ 316p
978-4-16-792049-4
¥880〔税込〕

**枯木灘　新装新版(河出文庫　な 1-1)**

中上 健次 著
河出書房新社
紀州・熊野の貧しい路地に、兄や姉とは父が異なる私生児として生まれた土方の秋幸。悪行の噂絶えぬ父・龍造への憎悪とも憧憬ともつかぬ激情が、閉ざされた土地の血の呪縛の中で煮えたぎる…。表題作ほか、番外編も収録。

朝日新聞 2023/07/01

2015:1./ 437p
978-4-309-41339-6
¥814〔税込〕

**エンタイトル～男性の無自覚な資格意識はいかにして女性を傷つけるか～**

ケイト・マン 著
人文書院
女性へのハラスメントや性暴力ののち、被害者側が非難される。なぜそんなことがまかり通るのか。ミソジニーが守ろうとする男性の特権意識を鍵として、家父長制が一見弱まりつつある時代における女性嫌悪の現れかたを抉り出す。

朝日新聞 2023/07/01

2023:4./ 261p
978-4-409-24153-0
¥3,080〔税込〕

**ヨーロッパの極右**

ジャン=イブ・カミュ／ニコラ・ルブール 著
みすず書房
世界が右傾化するなか、政治を語る上で欠かせないものとなった極右。19 世紀から現在まで、ヨーロッパ各国からロシアにかけて根深く息づく極右の歴史に光を当て、その実態を明らかにする。

朝日新聞 2023/07/01

2023:4./ 370p,54p
978-4-622-09591-0
¥5,940〔税込〕

**いなくなっていない父**

金川晋吾 著
晶文社
気鋭の写真家が綴る、親子という他人…。時に不気味に、時に息苦しく、時にユーモラスに目の前に現れる親子の姿を、ファインダーとテキストを通して描く、ドキュメンタリーノベル。

朝日新聞 2023/07/01

2023:4./ 263p
978-4-7949-7354-2
¥1,870〔税込〕

## フリーダ・カーロの日記～新たなまなざし～

フリーダ・カーロ 著
冨山房インターナショナル
メキシコを代表する画家フリーダ・カーロ。彼女は人生最後の 10 年間に日記を綴り、そこを内奥の空間、避難所、魂を映す鏡とした。美術書としての価値を備えた画家個人の一連の記録と、その日本語訳を収録する。

朝日新聞 2023/07/01

2023:5./ 293p
978-4-86600-114-2
¥8,800〔税込〕

## なぜ美術は教えることができないのか～美術を学ぶ人のためのハンドブック～

ジェームズ・エルキンス 著
三元社
「美術を教える」とは何か。中世の大学やバウハウスなど美術学校の歴史を辿り、現代の美術指導の問題点を集約。講評で使われる批評の言葉を手がかりに美術の授業で「起こっている」ことを記述し、新たな批評の方式を提案する。

朝日新聞 2023/07/01

2023:5./ 398p,43p
978-4-88303-558-8
¥4,400〔税込〕

## 戦後日本政治史～占領期から「ネオ 55 年体制」まで～(中公新書　2752)

境家史郎 著
中央公論新社
占領期、55 年体制、「改革の時代」を経て、再び自民党が野党を圧倒する現在。日本政治は「元いた場所」に戻っただけなのか。憲法をめぐる対立に着目して戦後政治をたどり、日本政治の現在地を見極める。

朝日新聞 2023/07/01、日本経済新聞 2023/07/01、朝日新聞 2023/07/29

2023:5./ 4p,304p
978-4-12-102752-8
¥1,056〔税込〕

## 日本型開発協力～途上国支援はなぜ必要なのか～(ちくま新書　1733)

松本 勝男 著
筑摩書房
日本の開発協力はなぜ世界から求められるのか。欧米とも中国とも異なるその独自のあり方とは。そもそもなぜ途上国支援は重要なのか。開発協力の現状を紹介しつつ、これからの日本がめざすべき持続可能な支援のあり方を示す。

朝日新聞 2023/07/01、日本経済新聞 2023/07/15

2023:6./ 312p
978-4-480-07561-1
¥1,078〔税込〕

## 「私物化」される国公立大学(岩波ブックレット　No.1052)

駒込 武 著
岩波書店
国家主導で推進された国公立大学のガバナンス改革。強いリーダーシップでイノベーションを図る、一見“まっとう”な変革が各地で大混乱を巻き起こしている。公共性を失い「私物化」されつつある大学の現状をレポートする。

朝日新聞 2023/07/08

2021:9./ 95p
978-4-00-271052-5
¥726〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**まちがえる脳(岩波新書 新赤版 1972)**

櫻井 芳雄 著
岩波書店
脳はまちがえるという事実に焦点を当て、多くの事例を紹介。そして、脳内の信号伝達が本来不確かで確率的であることや、間違えるからこそ新たなアイデアを創造し、高次機能を実現することを、研究成果をふまえて解説する。

朝日新聞 2023/07/08

2023:4./ 5p,229p,7p
978-4-00-431972-6
¥1,034〔税込〕

**僕はこんなふうに旅をしてきた(朝日文庫 し 19-19)**

下川裕治 著
朝日新聞出版
眼鏡のレンズが変形するほどの炎熱列車、バス内で一晩中つづいた大ゲンカ、鮮烈に記憶に残った夕焼け…。30 余年、旅を綴ってきた 100 冊超の著作から、呆然、爆笑なエピソードを選り抜き、テーマ別に構成したアンソロジー。

朝日新聞 2023/07/08

2023:6./ 331p
978-4-02-262077-4
¥990〔税込〕

**小津安二郎**

平山 周吉 著
新潮社
小津監督のキャメラが捉える原節子の向こうには、いつも中国で戦死した天才・山中貞雄監督の存在があった-。生者と死者との間の「聖なる三角関係」が織り成す静寂の美の謎を解き明かす評伝。『新潮』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/07/08

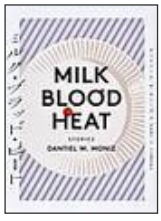
2023:3./ 397p
978-4-10-352472-4
¥2,970〔税込〕

**百年の女～『婦人公論』が見た大正、昭和、平成～(中公文庫 さ 87-1)**

酒井順子 著
中央公論新社
大正、昭和、平成と 3 つの世をまたいで、日本の女性達を導き、受け止め続けてきた雑誌『婦人公論』。その 100 年の歴史をひもとき、日本女性がいかに生きてきたかを振り返る。

朝日新聞 2023/07/08

2023:6./ 454p
978-4-12-207377-7
¥1,100〔税込〕



**ミルク・ブラッド・ヒート**

ダンティール・W・モニーズ 著
河出書房新社
死に取り憑かれた少女たちの誓約、失った胎児を幻視する母親の安息日、教会から追放された女子高生が挑む復讐劇…。女性たちの深き闇と、瑞々しい赦しのときを描いた黒人文学の新世代による衝撃作。

朝日新聞 2023/07/08

2023:4./ 237p
978-4-309-20878-7
¥2,695〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**ルポ大学崩壊(ちくま新書　1708)**

田中 圭太郎 著
筑摩書房
教職員に罵声を浴びせて退職強要。寮に住む学生ら 45 人を提訴。突然の総長解任。パワハラの捏造…。大学政策転換で疲弊する現場の声を集め、大学崩壊の背景を探る。

朝日新聞 2023/07/08

2023:2./ 282p
978-4-480-07539-0
¥990〔税込〕

**B-29 の昭和史～爆撃機と空襲をめぐる日本の近現代～(ちくま新書　1730)**

若林 宣 著
筑摩書房
模型や爆音レコードが販売された戦時下の人気コンテンツ「B-29」は、今も「火垂るの墓」などを通して知られている。「B-29」はいかにして、太平洋戦争そのものを象徴する存在になったのか。豊富な資料から読み解く。

朝日新聞 2023/07/08

2023:6./ 318p
978-4-480-07560-4
¥1,078〔税込〕

**評伝良寛～わけへだてのない世を開く乞食僧～(人と文化の探究　18)**

阿部　龍一 著
ミネルヴァ書房
良寛の詩歌を自伝的に捉え、少青年時代の学業に対する努力、家業を捨てるに至った葛藤、曹洞宗門と訣別した理由などを考察。江戸時代後期の厳しい格差社会のなかで、人々に寄り添い、癒し、幸福を共有したその生涯を辿る。

朝日新聞 2023/07/08

2023:5./ 19p,555p,12p
978-4-623-09434-9
¥8,800〔税込〕

**反「大学改革」論～若手からの問題提起～**

藤本　夕衣、古川　雄嗣、渡邉　浩一 編
井上　義和 著
ナカニシヤ出版
若手大学教員・研究者たちが、90 年代以降急速に進められてきた「大学改革」を批判的に検討し、それを通じて、より望ましい大学改革の方向性を模索する。大学の在り方を根本的に問いなおす書。

朝日新聞 2023/07/08

2017:6./ 12p,247p
978-4-7795-1081-6
¥2,640〔税込〕

**大学論を組み替える～新たな議論のために～**

広田　照幸 著
名古屋大学出版会
なしくずしの政策追随に陥る大学。何を守り、何を見直せばよいのか。教育の質、評価、学問の自由など具体的なトピックを通して、よい改革論とダメな改革論を区別し、大学が公共的な役割を果たし続けられる道を拓く。

朝日新聞 2023/07/08

2019:10./ 8p,303p,7p
978-4-8158-0967-6
¥2,970〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**ツバメのひみつ**

長谷川克 著
緑書房
モテるオスとつがったメスは一生懸命子育てする!? 中華料理の「ツバメの巣」はツバメの巣じゃない!? 第一線の研究者がツバメの興味深い生き様を、わかりやすく紹介する。ツバメの迎え入れ方も収録。

朝日新聞 2023/07/08

2020:3./ 294p
978-4-89531-419-0
¥1,980〔税込〕

**白鶴亮翅**

多和田葉子 著
朝日新聞出版
ベルリンで一人暮らしをする美砂は、隣人 M さんに誘われて太極拳学校へ。ロシア人富豪や英語教師と共に、右腕を力強く上げる技「白鶴亮翅」を習う。そして世界の名作を女性の視点から読み直し…。『朝日新聞』連載を加筆修正。

朝日新聞 2023/07/08、東京・中日新聞 2023/07/23

2023:5./ 276p
978-4-02-251904-7
¥1,980〔税込〕

**アートの値段～現代アート市場における価格の象徴的意味～**

オラーフ・ヴェルトハイス 著
中央公論新社
美と商業は対立するものと言われてきたが、それでも両者は長い歴史の中で共存しながら「持ちつ持たれつな関係」を築いてきた。芸術と経済の関わりを社会学的視点から丹念に解きほぐす。

朝日新聞 2023/07/08、読売新聞 2023/07/16

2023:4./ 342p
978-4-12-005645-1
¥3,960〔税込〕

**記録ミッドウェー海戦(ちくま学芸文庫　サ 52-1)**

澤地 久枝 著
筑摩書房
太平洋戦争の転換点となったミッドウェー海戦。日本側 3056 名、アメリカ側 362 名の戦死者の生年、所属階級、家族構成などを突き止め、手紙やインタビュー等を通じて戦死者とその家族の声を拾い上げた記録。

朝日新聞 2023/07/08、読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 636p
978-4-480-51187-4
¥1,870〔税込〕

**言語の本質～ことばはどう生まれ、進化したか～(中公新書　2756)**

今井むつみ／秋田喜美 著
中央公論新社
なぜヒトはことばを持つのか? 子どもはいかにしてことばを覚えるのか? オノマトペとアブダクション(仮説形成)推論という人間特有の学ぶ力を鍵に、言語の誕生と進化の謎を紐解き、ヒトの根源に迫る。

朝日新聞 2023/07/08、日本経済新聞 2023/07/08、毎日新聞 2023/07/15

2023:5./ 9p,277p
978-4-12-102756-6
¥1,056〔税込〕

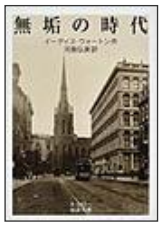

MARUZEN-YUSHODO

**読み書きの日本史(岩波新書　新赤版 1978)**

八鍬 友広 著
岩波書店
古代における漢字の受容から、往来物による学びの時代へ。近世の文字文化の多様な展開から、近代学校の成立へ。世界の事例にも目くばりしながら、識字の社会的意味を広くとらえ、今も揺らぎの中にあるリテラシーの歩みを描く。

朝日新聞 2023/07/08、毎日新聞 2023/07/15、日本経済新聞 2023/07/29

2023:6./ 258p
978-4-00-431978-8
¥1,166〔税込〕



**無垢の時代(岩波文庫　赤 345-1)**

イーディス・ウォートン 著
岩波書店
1870 年代初頭の冬の宵。メイとの婚約発表を控えた青年ニューランドは歌劇場で幼馴染のエレンと再会し…。2 人の女性の間で揺れ惑う姿を通して、時代の変化にさらされる<オールド・ニューヨーク>の社会を鮮やかに描く。

朝日新聞 2023/07/15

2023:6./ 588p
978-4-00-323451-8
¥1,507〔税込〕

**不実在探偵の推理**

井上 悠宇 著
講談社
大学生の菊理現が思い出のダイスに触れた途端、長い黒髪に白いワンピースの美しい女性が見えるようになった。現にしか見えない彼女は、ずば抜けた推理力を持つ名探偵で…。『小説現代』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2023/07/15

2023:6./ 274p
978-4-06-531454-8
¥1,760〔税込〕

**サークル有害論～なぜ小集団は毒されるのか～(集英社新書　1166)**

荒木 優太 著
集英社
ロシアに由来する小集団「サークル」を、小林多喜二からサークルクラッシャーまであらゆる切り口で再考。鶴見俊輔の思想を辿り直しつつ、集団性の解毒法を提示する。『すばる』掲載を大幅に加筆修正。

朝日新聞 2023/07/15

2023:6./ 225p
978-4-08-721266-2
¥1,056〔税込〕

**帝国図書館～近代日本の「知」の物語～(中公新書　2749)**

長尾宗典 著
中央公論新社
国家の「知」を支えるべく政府によって設立された帝国図書館。「東洋一」の図書館を目指すも、予算不足に悩まされ続けた。その前身の書籍館から、国立国会図書館へ統合されるまでの 80 年の歴史を活写する。

朝日新聞 2023/07/15

2023:4./ 4p,283p
978-4-12-102749-8
¥1,012〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**パチンコ<上>(文春文庫　リ 7-1)**

ミン・ジン・リー 著
文藝春秋
1910 年、釜山沖の影島。キム・ソンジャは日本との貿易を生業とするハンスの子供を身ごもる。彼に妻子がいることを知り、苦悩するソンジャに若き牧師イサクが手を差し伸べ、2 人は大阪の鶴橋に渡り…。

朝日新聞 2023/07/15

2023:7./ 378p
978-4-16-792074-6
¥1,056〔税込〕

**パチンコ<下>(文春文庫　リ 7-2)**

ミン・ジン・リー 著
文藝春秋
戦中の大阪を生き抜き、2 人の息子を育てあげたソンジャ。そこへ日本の裏社会で大きな存在感をもつハンスが現れる。長男ノアは自分の実の父親がハンスだと知り…。4 世代にわたる在日コリアン一家の苦闘を描く。

朝日新聞 2023/07/15

2023:7./ 382p
978-4-16-792075-3
¥1,056〔税込〕

**同人女アパート建ててみた<1>(ヤングチャンピオン・コミックス)**

賀来 著
秋田書店
同人活動をしている女子に語り継がれる夢……。それは、都市伝説的に存在する「同人女だけが住む夢物件」を本当に作ること。新鋭作家が贈る、オタク女子×不動産ものがたり。

朝日新聞 2023/07/15

2023:6./ 160p
978-4-253-31066-6
¥693〔税込〕

**ソニーデジカメ戦記～もがいてつかんだ「弱者の戦略」～**

山中 浩之 著
日経ＢＰ社
「カメラはスマホ」の時代にデジカメ市場でサバイバルに成功したソニー。ソニーのデジカメ部隊の黎明期から、苦闘、そして反転攻勢に至るまで。すべてを見てきたソニーグループ元副会長・石塚茂樹が語るオーラルヒストリー。

朝日新聞 2023/07/15

2023:5./ 343p
978-4-296-20187-7
¥1,870〔税込〕

**ケアの哲学**

ボリス・グロイス 著
人文書院
ケアを考えるとき、物理的身体と象徴的身体の両者を視野に入れるべきなのか。美術批評の世界的第一人者が新しいケア概念を提起し、プラトン、ニーチェ、アレントなど数々の哲学を、独自の視点からケアの哲学として読み替える。

朝日新聞 2023/07/15

2023:6./ 205p
978-4-409-03123-0
¥2,640〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**デミーンの自殺者たち～独ソ戦末期にドイツ北部の町で起きた悲劇～**

エマニュエル・ドロア 著

人文書院

1945 年 5 月初め、ソ連兵の暴力を恐れたドイツ北西部の小さな町は、ドイツ史上最大規模の集団自殺の舞台になった。虐待、強姦、放火…なぜ戦時暴力は起こるのか。語られなかった戦争の悲劇を丹念に追う。

朝日新聞 2023/07/15

2023:5./ 192p
978-4-409-51098-8
¥3,080〔税込〕

**HHhH～プラハ、1942 年～(創元文芸文庫 LA ヒ 1-1)**

ローラン・ビネ 著

東京創元社

ユダヤ人大量虐殺の首謀者、金髪の野獣ハイドリヒ。彼の暗殺計画は、ロンドンに亡命したチェコ政府が送り込んだ 2 人の青年によってプラハで決行された…。史実を題材にノンフィクション的手法で描いた小説。

朝日新聞 2023/07/15

2023:4./ 462p
978-4-488-80502-9
¥1,430〔税込〕

**WOKE CAPITALISM～「意識高い系」資本主義が民主主義を滅ぼす～**

カール・ローズ 著

東洋経済新報社

「なんちゃって企業倫理」が民主主義を滅ぼす。「WOKE」という切り口で、企業が社会問題に取り組むことそのものが、本音レベルで利益に直結する現代資本主義の構造と裏側を読み解く。

朝日新聞 2023/07/15

2023:4./ 310p,48p
978-4-492-44474-0
¥2,640〔税込〕

**敵前の森で**

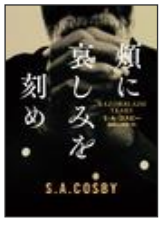
古処　誠二 著

双葉社

戦後まもなく、インパール作戦の日本人指揮官・北原に、捕虜の処刑と、民間人に対する虐待の嫌疑がかけられた。語学将校の英人大尉は、腹を探るような尋問を続けるが…。『小説推理』連載に加筆、訂正。

朝日新聞 2023/07/15

2023:4./ 221p
978-4-575-24620-9
¥1,870〔税込〕



**頬に哀しみを刻め(ハーパーBOOKS M・コ 3・2)**

Ｓ・Ａ・コスビー 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

殺人罪で服役後、庭師として会社を経営する黒人のアイク。ある日、息子が白人の夫とともに顔を撃ち抜かれ、殺害された。一向に捜査が進まぬ中、息子たちの墓が差別主義者に破壊される。アイクは犯人捜しに乗り出すが…。

朝日新聞 2023/07/15

2023:2./ 493p
978-4-596-76655-7
¥1,320〔税込〕

**ザ・キルスコア～資本主義とサステナビリティーのジレンマ～**

ナショナル ジオグラフィック 編
ヤコブ・トーメ 著
日経ナショナルジオグラフィック社
持続可能な社会の実現は、可能なのか。資本主義が生む膨大な犠牲と社会の致命的結末をあらゆるリソースを用いて「キルスコア」として数値化。「消費とサステナビリティーの両立」という究極の難題に真正面から向き合う。

朝日新聞 2023/07/15

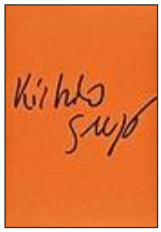
2023:6./ 334p
978-4-86313-585-7
¥2,200〔税込〕

**野球短歌～さっきまでセ界が全滅したことを私はぜんぜん知らなかった～**

池松 舞 著
ナナロク社
サードから本塁までが遠すぎて半日かけてもたどりつけない 村上に重圧がとアナは言うが対する投手だってそうだわ 2022 年のプロ野球、阪神戦。一試合ごとに詠み続けた、野球への愛に満ちた短歌全 313 首を収録する。

朝日新聞 2023/07/15

2023:3./ 177p
978-4-86732-019-8
¥1,760〔税込〕



**菅木志雄制作ノート 1967-2008**

菅 木志雄 著
ＨｅＨｅ
日本に大きな芸術運動をもたらした「もの派」の中心的作家、菅木志雄。アイデアの着想や作品の構想等、1967～2008 年に書かれた 20 冊のノートから菅自身が選定したページを掲載。また一部抜粋されたテキストを活字化。

朝日新聞 2023/07/15

2023:6./ 695p
978-4-908062-53-7
¥8,250〔税込〕

**LB 244+1～ポン・ジュノ、ケン・ローチ、パク・チャヌクを発掘し、「月はどっちに出ている」「KT」「フラガール」を創った者として-。～**

李　鳳宇 著
ライスプレス
日本映画界におけるアジア映画の市場を築き、数々の映画を製作・配給してきた LB が、これまでに手掛けた作品 244 本の記憶を辿る。「+1」として舞台「パラサイト」に関するインタビューも収録する。

朝日新聞 2023/07/15

2023:6./ 303p
978-4-909792-42-6
¥2,420〔税込〕

**From Tokyo～わたしの#stayhome 日記 2022-2023～**

今日マチ子 著
ｒｎ　ｐｒｅｓｓ
漫画家・今日マチ子が鮮やかな色彩で紡いだ、2022 年 4 月から 1 年間のイラスト日記。この 1 年に訪れた東京、福島などの風景を描く。Twitter 等掲載を再編集。

朝日新聞 2023/07/15

2023:5./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-910422-14-5
¥1,760〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**掬われる声、語られる芸～小沢昭一と『ドキュメント日本の放浪芸』～**

鈴木 聖子 著
春秋社
俳優・小沢昭一が日本各地を探訪し、稀少な多種多様の音楽芸能とインタビューを現地録音した 1971 年発売の LP レコード集『ドキュメント日本の放浪芸』。制作の文脈・構成・内容を検討し、作品の意義を明らかにする。

朝日新聞 2023/07/15、東京・中日新聞 2023/07/16

2023:5./ 20p,269p,31p
978-4-393-44170-1
¥2,750〔税込〕

**創始者たち～イーロン・マスク、ピーター・ティールと世界一のリスクテイカーたちの薄氷の伝説～**

ジミー・ソニ 著
ダイヤモンド社
マスクとティールがたまたま隣人になった瞬間、世界を変える伝説が始まった-。
次々とシリコンバレーの大物を生んだ「ペイパル」草創期の壮絶な 4 年間の足跡を追う。

朝日新聞 2023/07/15、日本経済新聞 2023/07/15

2023:5./ 653p
978-4-478-10679-2
¥2,420〔税込〕

**世界でいちばん透きとおった物語(新潮文庫 nex　す-31-2)**

杉井 光 著
新潮社
大御所ミステリ作家宮内彰吾が死去。妻帯者ながら多くの女性と交際し、外にできた子供が僕だ。宮内の長男からの連絡をきっかけに、父が最後に書いていたらしい「世界でいちばん透きとおった物語」を探しはじめるが…。

朝日新聞 2023/07/15、日本経済新聞 2023/07/15、毎日新聞 2023/07/15

2023:5./ 235p
978-4-10-180262-6
¥737〔税込〕

**都会の鳥の生態学～カラス、ツバメ、スズメ、水鳥、猛禽の栄枯盛衰～(中公新書　2759)**

唐沢孝一 著
中央公論新社
自然の少ない人工的な環境の都会で、したたかに適応して生きている鳥たち。身近な鳥、珍しい鳥、意外な鳥たちの知られざる生態を紹介するとともに人間と鳥たちとの関係の変化も解説する。カラー口絵をはじめ、写真も多数掲載。

朝日新聞 2023/07/15、毎日新聞 2023/07/29、東京・中日新聞 2023/07/30

2023:6./ 2p,238p,図版16p
978-4-12-102759-7
¥1,155〔税込〕

**アンデッドガール・マーダーファルス<4>(講談社タイガ　ア C-05)**

青崎 有吾 著
講談社
陰陽師に拾われた少女は、いかにして不死となったのか。山奥の屋敷で主に仕える、馳井静句の秘めた想い。あの偉人から依頼された<鳥籠使い>最初の事件-。物語のピースが埋まる短編集。『小説現代』掲載に書き下ろしを追加。

朝日新聞 2023/07/22

2023:7./ 382p
978-4-06-532520-9
¥913〔税込〕

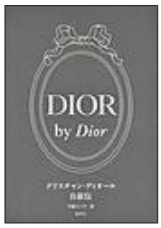

MARUZEN-YUSHODO

### なぜ豊岡は世界に注目されるのか(集英社新書　1170)

中貝 宗治 著
集英社
近年、国内外から注目を集める兵庫県豊岡市。インバウンドの急増、移住したい街ランキング上位入りは、なぜ実現したのか。地方が輝きを放つ方法とは。元市長が全国の自治体にも応用可能な視点を示しながら、その秘策を綴る。

朝日新聞 2023/07/22

2023:6./ 270p
978-4-08-721270-9
¥1,100〔税込〕




### DIOR by Dior～クリスチャン・ディオール自叙伝～

クリスチャン・ディオール 著
集英社
パリ・オートクチュールで革新的なコレクションを発表し続けたデザイナー、クリスチャン・ディオールが遺した唯一の自伝。生い立ちから、激動の青年時代、メゾンを立ち上げ、一世を風靡するまでを語る。図版も多数収録。

朝日新聞 2023/07/22

2023:5./ 318p 図版 16p
978-4-08-786137-2
¥2,860〔税込〕

### 日本語ほど面白いものはない～邑智小学校六年一組特別授業～

柳瀬　尚紀 著
新潮社
島根県の山奥、美郷町の邑智小学校の 6 年 1 組 16 名。その教壇に立った「チョコレート工場の秘密」の訳者は、いかにして「言葉」という奇蹟に目を拓かせたのか。感動の教育ドキュメント。

朝日新聞 2023/07/22

2010:11./ 191p
978-4-10-303952-5
¥1,430〔税込〕

### おやじはニーチェ～認知症の父と過ごした 436 日～

高橋 秀実 著
新潮社
失敗を忘れるから夢や希望も抱けるし、忘れるから現在を感じられる-。哲学者の言葉の数々に救われながら、認知症の父と向き合った介護の記録。『小説新潮』連載を加筆修正。

朝日新聞 2023/07/22

2023:1./ 286p
978-4-10-473807-6
¥1,815〔税込〕

### 無限角形～1001 の砂漠の断章～

コラム・マッキャン 著
早川書房
限りなく円に近く、決して円ではない多角形、無限角形。娘を失ったイスラエル人の父とパレスチナ人の父が出会った時、深い哀しみが平和への武器となる-。実話をもとに、1001 の断章で築かれた喪失と平和へのモニュメント。

朝日新聞 2023/07/22

2023:4./ 685p
978-4-15-210230-0
¥4,620〔税込〕

**セーフティネットと集団～新たなつながりを求めて～**

玄田有史／連合総研 編
日経ＢＰ社
本当に困っている人に必要な安全網とは? 労働経済学、社会保障、労働法、人事管理の専門家が、コロナ禍が浮き彫りにした生活や雇用の課題をもとに、今求められるセーフティネットと集団の姿を明らかにする。

朝日新聞 2023/07/22

2023:5./ 261p
978-4-296-11811-3
¥2,090〔税込〕

**ことばと遊び、言葉を学ぶ～日本語・英語・中学校特別授業～**

柳瀬 尚紀 著
河出書房新社
ことば遊びの面白さ、辞書を引くことの大切さ、英語の体得法…。新しいコトバの世界に生徒たちは瞳を輝かせた! ジェイムズ・ジョイスなどの名訳を手がけた英米文学翻訳家が、3 つの中学で行った最後の授業の全容を収録。

朝日新聞 2023/07/22

2018:4./ 213p
978-4-309-02665-7
¥1,650〔税込〕

**『ゼクシィ』のメディア史～花嫁たちのプラットフォーム～**

彭 永成 著
創元社
結婚情報誌『ゼクシィ』はいかにして「結婚のバイブル」となったのか。『ゼクシィ』にまつわる数々の神話を通してプラットフォーム型雑誌の特異性を分析する、メディア史研究。

朝日新聞 2023/07/22

2023:3./ 335p 図版 7 枚
978-4-422-21021-6
¥3,850〔税込〕

**その罪は描けない(創元推理文庫 M ロ 3-15)**

Ｓ・Ｊ・ローザン 著
東京創元社
銃を持って私立探偵ビルを訪ねてきた男が、自分が犯人だと証明してほしいという。彼はかつての依頼人で殺人者。最近ニューヨークで起きた 2 件の女性殺害事件は自分の犯行だと主張する男の話の真偽を、ビルは調べ始めるが…。

朝日新聞 2023/07/22

2023:6./ 402p
978-4-488-15316-8
¥1,430〔税込〕

**ほとんど記憶のない女(白水Ｕブックス　174)**

リディア・デイヴィス 著
白水社
わずか数行の超短篇から私小説・旅行記まで、「アメリカ小説界の静かな巨人」による知的で奇妙な 51 の傑作短篇集。

朝日新聞 2023/07/22

2011:1.
978-4-560-07174-8
¥1,320〔税込〕

## いまだ人生を語らず

四方田　犬彦 著
白水社
歳を取ろうとしているわたしは、はたして聡明になったのだろうか、幸福になったのだろうか-。70 歳を迎えた著者が、少しずつ老人になっていく日々の普通の心構え、「病」「信仰」「死」を自在に綴る。

朝日新聞 2023/07/22

2023:6./ 302p
978-4-560-09356-6
¥3,080〔税込〕

## ベルリン～1928-1933～(フェニックスシリーズ 146)

ジェイソン・リューツ、鵜田　良江 著
パンローリング
1928 年、脈動する首都ベルリンへ向かったマルテ。芸術アカデミーに通いはじめた彼女は、時代の豊かさと悲惨さを経験し…。崩壊が進むワイマール共和国を舞台に、からみあう人々の人生を描いたグラフィックノベル。

朝日新聞 2023/07/22

2023:5./ 587p
978-4-7759-4284-0
¥4,950〔税込〕

## 無益な殺人未遂への想像上の反響～ギリシャ・ミステリ傑作選～(竹書房文庫 ぽ 1-1)

ディミトリス・ポサンジス 編
アンドレアス・アポストリディス　他 著
竹書房
本格ミステリ、ノワール、警察小説といった各ジャンルのギリシャ・ミステリの精鋭たちの作品を集成。現実とミステリの狭間をさまよう表題作など全 15 編を収録する。訳者による詳細な解説、ギリシャ・ミステリ小史も掲載。

朝日新聞 2023/07/22

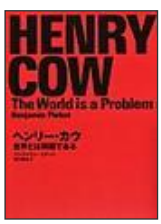
2023:7./ 443p
978-4-8019-3279-1
¥1,650〔税込〕

## EST!カクテルブック

渡辺昭男／渡辺憲賢／渡辺宗憲 著
プレジデント社
ハイボール、ダイキリ、モヒート、グリーンアラスカ、ギムレット…。東京・湯島のバー「EST!」のカクテルを、美しい写真とともに紹介する。レシピも掲載。
『dancyu WEB』連載に加筆修正し書き下ろしを加える。

朝日新聞 2023/07/22

2023:5./ 230p
978-4-8334-5161-1
¥3,850〔税込〕



## ヘンリー・カウ～世界とは問題である～

ベンジャミン・ピケット、須川　宗純 著
月曜社
ロックを限界まで押し上げた英国のバンド「ヘンリー・カウ」。1968 年の結成から 10 年後の解散に至るまでを、メンバーやスタッフへのインタビューや手紙、ノート、楽譜、日記等とともに解き明かし、グループの歴史を辿る。

朝日新聞 2023/07/22

2023:6./ 573p
978-4-86503-164-5
¥6,600〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**荷風の庭 庭の荷風**

坂崎重盛 著
芸術新聞社
庭の草木、道端の雑草・雑木、変わりゆく川筋や町並みの景観また地理への深き想い。そして飽くなき好色衝動-。「理系感覚」という一本の補助線を引いて永井荷風の文芸世界を再発見し堪能する。『望星』連載に加筆。

朝日新聞 2023/07/22

2022:12./ 365p
978-4-87586-658-9
¥3,300〔税込〕

**桃を煮るひと**

くどうれいん 著
ミシマ社
家事なんかしてる暇ないくらい忙しい自分と、いきいきと夕飯を作る自分をどうしても両方やりたい-。くどうれいんの食エッセイ集。『日本経済新聞』夕刊連載に書き下ろしを加える。

朝日新聞 2023/07/22

2023:6./ 132p
978-4-909394-88-0
¥1,760〔税込〕

**昨日星を探した言い訳(角川文庫　こ 40-18)**

河野　裕 著
KADOKAWA
僕の前に現れた転校生の少女は、自らの理想のため、頑固に、誠実に、戦い続けると決めていた。永遠にわかり合えないと知っていても、一歩ずつ歩み寄ってきたはずなのに-。少年少女の心情を、研ぎ澄まされた筆致で綴る。

朝日新聞 2023/07/29

2023:7./ 478p
978-4-04-113657-7
¥946〔税込〕

**能力はどのように遺伝するのか～「生まれつき」と「努力」のあいだ～(ブルーバックス　B-2233)**

安藤 寿康 著
講談社
「心や行動はすべて遺伝的」であるならば、環境や教育は「能力」を高めるうえで無意味なのか? 長く偏見や悲劇すら生んできた「能力と遺伝」の正体を、最先端のゲノムサイエンスで解き明かす。

朝日新聞 2023/07/29

2023:6./ 237p
978-4-06-532405-9
¥1,100〔税込〕

**オルタネート(新潮文庫　か-93-3)**

加藤 シゲアキ 著
新潮社
高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。東京の高校を舞台に、3 人の若者の運命が、鮮やかに加速していき…。悩み、傷つきながら<私たち>が「世界との距離をつかむまで」を描く。

朝日新聞 2023/07/29

2023:7./ 487p
978-4-10-104023-3
¥990〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**量子テレポーテーションのゆくえ～相対性理論から「情報」と「現実」の未来まで～**

アントン・ツァイリンガー 著

早川書房

観測するまで現実は存在しない? 世界で初めて量子テレポーテーションの実験に成功し、2022 年のノーベル物理学賞を受賞した著者が、難解で複雑な量子情報科学の基礎から今後の展望までを語り尽くす。

朝日新聞 2023/07/29

2023:5./ 396p
978-4-15-210240-9
¥2,750〔税込〕

**自然、文化、そして不平等～国際比較と歴史の視点から～**

トマ・ピケティ 著

文藝春秋

なぜ、経済的な不平等は起きるのか。「所得格差」に比べて、「資産格差」が深刻な理由とは。世界的ベストセラー「21 世紀の資本」の著者トマ・ピケティが、その最新思想を語る。

朝日新聞 2023/07/29

2023:7./ 96p
978-4-16-391725-2
¥1,760〔税込〕

**海がきこえる<2> 新装版 アイがあるから(徳間文庫　トクマの特選! ひ 15-4)**

氷室冴子 著

徳間書店

大学生活最初の夏、故郷での同窓会に出席した里伽子と拓。しかし東京に戻ると、拓の留守アパートに、泥酔した美女・津村知沙が眠っていて…。ティーン小説の鬼才が、10 代の終わりと愛を瑞々しく描く。

朝日新聞 2023/07/29

2023:7./ 317p
978-4-19-894876-4
¥1,045〔税込〕

**リヴァイアサン<上>(ちくま学芸文庫　ホ 22-2)**

トマス・ホッブズ 著

筑摩書房

争いに満ちた自然状態を脱し、平和と安全をもたらす権力の成立を考察した一大古典。上は、「第 1 部人間について」「第 2 部政治的共同体について」を収録。

朝日新聞 2023/07/29

2022:12./ 567p
978-4-480-51143-0
¥1,760〔税込〕

**リヴァイアサン<下>(ちくま学芸文庫　ホ 22-3)**

トマス・ホッブズ 著

筑摩書房

争いに満ちた自然状態を脱し、平和と安全をもたらす権力の成立を考察した一大古典。下は、「第 3 部キリスト教徒から成る政治的共同体について」「第 4 部暗黒の王国について」を収録。訳者の解説的論考、年譜、索引も付す。

朝日新聞 2023/07/29

2022:12./ 616p
978-4-480-51147-8
¥1,870〔税込〕

**ナマケモノは、なぜ怠けるのか?～生き物の個性と進化のふしぎ～(ちくまプリマー新書　425)**

稲垣　栄洋 著
筑摩書房
ナマケモノ、ナメクジ、ダンゴムシ、モヤシ、イモムシ、雑草…。いつも脇役のつまらない生き物たち。しかしその裏に冴え渡る生存戦略があった! ふしぎでかけがえのない、個性と進化の話をトコトン紹介する。

朝日新聞 2023/07/29

2023:5./ 174p
978-4-480-68450-9
¥858〔税込〕

**世界はうつくしいと～詩集～**

長田　弘 著
みすず書房
だから、カシコイモノヨ、教えてください。どうやって祈るかを、ゴクラクをもたないものに（「カシコイモノヨ、教えてください」より）　自在な詩法、深く緩やかな言葉で綴る、長田弘の詩集。

朝日新聞 2023/07/29

2009:4./ ９８ｐ
978-4-622-07466-3
¥1,980〔税込〕

**トゥーキュディデースとホッブズ～真のリアリズムを求めて～**

木庭顕 編
みすず書房
トゥーキュディデース/ホッブズ関係について省察するために編まれた論集。「ホッブズのトゥーキュディデース受容」に関する 2 論文、トゥーキュディデース研究論文・ホッブズ研究論文をそれぞれ 2 本ずつ収録する。

朝日新聞 2023/07/29

2022:12./ 6p,252p
978-4-622-09559-0
¥7,150〔税込〕

**ヨシ～3 万 7 千キロをおよいだウミガメのはなし～**

リン・コックス 著
あすなろ書房
ヨシという日本の名前をもつアカウミガメは、自然の力に導かれ、だれに教えられたわけでもなく、2 年 2 カ月をかけてひとりで 3 万 7 千キロを泳いで、生まれ故郷に帰り…。自然界の神秘を伝える、驚異のウミガメの物語。

朝日新聞 2023/07/29

2023:6./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-7515-3124-2
¥1,650〔税込〕

**かげふみ**

朽木祥 著
光村図書出版
夏休み、広島の祖母の家で過ごす拓海は、戦前は学校だったという児童館の図書室で三つ編みの女の子と出会い…。表題作のほか、光村図書国語教科書(小 5)所収「たずねびと」も掲載。語句解説、ヒロシマへの道しるべも収録。

朝日新聞 2023/07/29

2023:5./ 167p
978-4-8138-0423-9
¥1,760〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**植物に死はあるのか～生命の不思議をめぐる一週間～(SB 新書　623)**

稲垣栄洋 著

ＳＢクリエイティブ

大学で植物学を教える教授のもとにある日、届いた一通のメール。植物に関する素朴な質問…のはずだったが、誠実に答えようとすると、考えなければならない問題があって…。ある一週間における植物学者の思索の物語。

朝日新聞 2023/07/29

2023:7./ 215p
978-4-8156-1895-7
¥990〔税込〕

**月と書く～句集～**

池田　澄子 著

朔出版

月を待つ春の空かな誕生日 晩秋と思いぬ不意に逢いたくなる 常の日や梅は案外匂わずに 夕涼の川という文字うつくしや 年取れば若いと言わる敗戦日 草と我そよぎてなどか月の雫 第 8 句集。

朝日新聞 2023/07/30

2023:6./ 187p
978-4-908978-93-7
¥2,860〔税込〕

**戦国十二刻～女人阿修羅～**

木下昌輝 著

光文社

長久手の戦いで家康が勝利するまでの 24 時間、伊達家と最上家を和睦させるまでの 24 時間…。荒れ狂う世に翻弄された 7 人の女性たちの濃密な 24 時間を描いた時代小説。『小説宝石』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2023/07/01

2022:12./ 300p
978-4-334-91506-3
¥1,760〔税込〕

**図書館のお夜食**

原田　ひ香 著

ポプラ社

亡くなった作家の蔵書が集められた「夜の図書館」を SNS で知った乙葉。実在の本に登場する料理がまかないとして出てくる夜の図書館で、本好きの同僚に囲まれながら働きはじめるが…。『WEB asta*』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/07/01、日本経済新聞 2023/07/15

2023:6./ 319p
978-4-591-17824-9
¥1,760〔税込〕

**毒の水～PFAS 汚染に立ち向かったある弁護士の 20 年～**

ロバート・ビロット 著

花伝社

一度体内に取り込まれると消えることなく蓄積し、がんや潰瘍性大腸炎などの原因となる PFAS(有機フッ素化合物)。長年隠されてきた事実を暴き、巨大企業を告発した一人の弁護士の、人生を賭けた壮絶な闘いの記録。

東京・中日新聞 2023/07/02

2023:4./ 417p
978-4-7634-2056-5
¥2,750〔税込〕

**水中ミステリー～海底遺跡と難破船～**

井上たかひこ 著
東京新聞出版部
龍馬のハッタリ、クレオパトラの謎、タイタニック探査の裏話…。謎に包まれた文明や人類のいとなみを示す物的証拠が数多く埋没している水中の遺跡。それらを研究調査する水中考古学を紹介する。『産経新聞』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/07/02

2023:6./ 173p
978-4-8083-1086-8
¥1,540〔税込〕

**堤未果のショック・ドクトリン～政府のやりたい放題から身を守る方法～(幻冬舎新書　つ-4-2)**

堤 未果 著
幻冬舎
パンデミック、戦争、銀行破綻…。惨事をしかけるその裏で、儲ける悪魔の手法「ショック・ドクトリン」。強欲資本主義の巧妙な正体を見抜き、生命・財産を守る方法とは? 滅びゆく日本の実態を看破する覚悟の書。

東京・中日新聞 2023/07/02、朝日新聞 2023/07/08

2023:5./ 286p
978-4-344-98692-3
¥1,034〔税込〕

**裏日本的～くらい・つらい・おもい・みたい～**

正津勉／正津勉 著
作品社
豪雪と日本海の荒波に晒される人と風土。越中守として赴任した大伴家持、若狭を愛し続けた水上勉など、古事記・万葉から近・現代までの文学作品に描かれた「裏日本」の真底に迫る。

東京・中日新聞 2023/07/02、朝日新聞 2023/07/29

2023:5./ 261p
978-4-86182-979-6
¥2,970〔税込〕

**東京史～七つのテーマで巨大都市を読み解く～(ちくま新書　1727)**

源川　真希 著
筑摩書房
明治維新による誕生から今日までの約 150 年間、破壊と再生を繰り返しダイナミックに発展してきた東京。いまや世界的都市となった東京を様々な角度から見つめ、読み解き、その歴史を一望する。

東京・中日新聞 2023/07/09

2023:5./ 279p
978-4-480-07552-9
¥990〔税込〕

**時刻表が薄くなる日**

上岡　直見 著
緑風出版
ローカル線の廃止を促進する一方、一人百数十万円の豪華なクルーズトレインを運行している JR。「一生に一度」の列車より「一生乗り続けられる」列車を走らせるべきではないのか。鉄道の活用による持続的な交通体系を考える。

東京・中日新聞 2023/07/09

2023:5./ 307p
978-4-8461-2306-2
¥2,970〔税込〕

## この夏の星を見る

辻村　深月 著
KADOKAWA
コロナ禍で登校や部活が制限される中、しかし出会いもあった。オンライン会議を駆使して、全国で繋がっていく天文部の中高生たち。「スターキャッチコンテスト」開催の次に彼らが狙うのは…。『北海道新聞』等連載を単行本化。

東京・中日新聞 2023/07/09、毎日新聞 2023/07/15、毎日新聞 2023/07/22、産経新聞 2023/07/30

2023:6./ 483p
978-4-04-113216-6
¥2,090〔税込〕

## 絵師金蔵赤色浄土

藤原緋沙子 著
祥伝社
幕末の土佐に生まれた金蔵は、絵の才能を認められ、江戸で狩野派に学び、国元絵師になる。しかし、時代は金蔵を翻弄し…。「絵金」と呼ばれた、艶やかな色彩で見る者を虜にした異才の激動の生涯を描く。

東京・中日新聞 2023/07/15

2023:5./ 288p
978-4-396-63644-9
¥1,925〔税込〕

## 2035 年の中国～習近平路線は生き残るか～(新潮新書 992)

宮本 雄二 著
新潮社
中国共産党総書記として異例の 3 期目に突入した習近平。建国百年を迎える 2049 年への中間点とされる 2035 年に、彼は 82 歳。中国はその時どうなっているのか? 習近平を最もよく知る元大使が今後の行方を占う。

東京・中日新聞 2023/07/16

2023:4./ 239p
978-4-10-610992-8
¥902〔税込〕

## ふがいないきょうだいに困ってる～「距離を置きたい」「縁を切りたい」家族の悩み～

吉田潮 著
光文社
親の老後や死後の相談ができない、経済的な危機感がない、生活が自立していない、トラブルを持ち込む…。「ふがいないきょうだい」に対して、どんな覚悟をしておくべきか。身近な事例とともに前向きな方策・ヒントを探る。

東京・中日新聞 2023/07/16

2023:5./ 254p
978-4-334-95379-9
¥1,870〔税込〕

## ザイム真理教～それは信者 8000 万人の巨大カルト～

森永 卓郎 著
フォレスト出版
財務省はカルト教団化しており、その教義を守る限り、日本経済は転落を続け、国民生活は貧困化する一方になる。ザイム真理教はいかにして生まれ、どう国民生活を破壊してきたのか。そのメカニズムを解説する。

東京・中日新聞 2023/07/16

2023:5./ 190p
978-4-86680-931-1
¥1,540〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**トランスジェンダー入門(集英社新書　1174)**

周司 あきら／高井 ゆと里 著
集英社
トランスの人たちはどんな差別に苦しんでいるのか。「LGBT」と一括りにされることが多い「トランスジェンダー」について、さまざまなデータを用いて現状を明らかにすると共に、医療や法律をはじめその全体像を解説する。

東京・中日新聞 2023/07/22

2023:7./ 229p
978-4-08-721274-7
¥1,056〔税込〕

**ぼっけもん～最後の軍師 伊地知正治～**

谷津 矢車 著
幻冬舎
戊辰戦争、鳥羽伏見の戦い。わずか 5 千の兵で 3 倍の勢力の幕府軍を撃破した、ぼっけもん(怖いもの知らず)の伊地知正治。薩摩人の誇りを胸に勝ち続けた伊地知が新時代に目にしたのは、荒廃した土地で貧困に喘ぐ民の姿で…。

東京・中日新聞 2023/07/22

2023:6./ 365p
978-4-344-04126-4
¥1,980〔税込〕

**論点・ジェンダー史学**

山口　みどり／弓削　尚子／後藤　絵美／長　志珠絵／石川　照子 編
ミネルヴァ書房
歴史学に新しい地平を開いてきたジェンダー史研究。クルアーン、列女伝からジャニーズまで、113 の論点を最新の研究動向に照らし、概要(当時の議論・その後の展開)、探究のポイントとともに見開きページで解説する。

東京・中日新聞 2023/07/22

2023:6./ 8p,303p
978-4-623-09350-2
¥3,520〔税込〕

**射精責任**

ガブリエル・スタンリー・ブレア 著
太田出版
中絶の 99%は望まない妊娠であり、その望まない妊娠のすべての原因が男性にある-。女性に避妊を期待しすぎている、養子縁組は中絶の代わりにはならないなど 28 の提言により、望まない妊娠による中絶を根本から問い直す。

東京・中日新聞 2023/07/22

2023:7./ 213p
978-4-7783-1878-9
¥2,200〔税込〕

**バレエの世界史～美を追求する舞踊の 600 年～(中公新書　2745)**

海野敏 著
中央公論新社
ダ・ヴィンチ制作の舞台装置、ルイ 14 世が舞った「太陽」役、チャイコフスキーの三大バレエ、シャネルやピカソが参加したバレエ・リュス…。約 600 年にわたるバレエの変遷を、世界史の流れに沿って紹介する。

東京・中日新聞 2023/07/23

2023:3./ 3p,306p
978-4-12-102745-0
¥1,034〔税込〕

**河原者のけもの道**

桃山 邑 著

羽鳥書店

藝能としての芝居、藝能者であることを命をかけて追求した水族館劇場座長・桃山邑の最期のメッセージ。エッセイ、台本「出雲阿國航海記」、自らを赤裸々に語った8時間インタビュー、桑田光平らの寄稿文などを収録。

東京・中日新聞 2023/07/23、朝日新聞 2023/07/29

2023:6./ 393p
978-4-904702-91-8
¥2,420〔税込〕

**大規模言語モデルは新たな知能か～ChatGPT が変えた世界～(岩波科学ライブラリー 319)**

岡野原 大輔 著

岩波書店

チャット GPT を支える大規模言語モデルとは、どのような仕組みなのか。何が可能となり、どんな影響が考えられるのか。人の言語獲得の謎も解き明かされるのか。新たな知能の正負両面をみつめ、今後の付き合い方を考える。

東京・中日新聞 2023/07/29

2023:6./ 8p,132p
978-4-00-029719-6
¥1,540〔税込〕

**昭和レトロモノ語りクイズ～懐かしい!がクイズ&間違い探しに～**

文・服部夏生　クイズ・東京新聞 著

東京新聞出版部

シャンプーハット、クリープ、燕印のマッチ、パラソルチョコレート、ケロリン桶…。懐かしい昭和のモノたちにまつわるクイズ、間違い探しを収録。当時の記憶を呼び覚ますコラムも掲載。“あの頃”にどっぷり浸ってみよう。

東京・中日新聞 2023/07/29

2023:7./ 127p
978-4-8083-1087-5
¥1,320〔税込〕

**近代日本メディア議員列伝<6> 池崎忠孝の明暗**

佐藤 卓己 著

創元社

明治から戦後にかけて<政治のメディア化>を体現したメディア議員を深掘りする。6は、政治家を目指して漱石門下となった文筆家・赤木桁平こと池崎忠孝を取り上げ、近代日本を生きた教養主義者の可能性と限界性を描出する。

東京・中日新聞 2023/07/30

2023:6./ 547p
978-4-422-30106-8
¥2,970〔税込〕

**水を縫う(集英社文庫　て 6-2)**

寺地 はるな 著

集英社

男なのに刺繍が好きな高1の清澄。姉の水青は、かわいいものや華やかな場が苦手。そんな彼女のために、清澄はウェディングドレスを手作りすると宣言するが、母から反対され…。世の中の普通や当たり前を問い直す家族小説。

読売新聞 2023/07/02

2023:5./ 260p
978-4-08-744521-3
¥693〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**アロハ 90 歳の僕～ゆっくり、のんびり生きましょう～**

高木 ブー 著

小学館

ザ・ドリフターズ、ウクレレ、家族愛…。90 歳になった今も現役で活躍する高木ブーが、秘蔵写真とともにたっぷり語りおろす自叙伝。加藤茶、関口和之、大槻ケンジなどが語る「ブーさんと私」も収録する。

読売新聞 2023/07/02

2023:4./ 231p 図版 8 枚

978-4-09-389102-8

¥2,420〔税込〕

**花に埋もれる**

彩瀬 まる 著

新潮社

憧れ、執着、およそ恋に似た感情が幻想を呼び起こし、世界の色さえ変えていく-。女による女のための R-18 文学賞受賞作「花に眩む」も収録した、ベストアルバム的短編集。

読売新聞 2023/07/02

2023:3./ 193p

978-4-10-331965-8

¥1,760〔税込〕

**インディヴィジュアル・プロジェクション**

阿部　和重 著

新潮社

元諜報員の映写技師が巻き込まれた、プルトニウム 239 と謎の映画フィルムをめぐるヤクザや旧同志との苛烈な心理戦、肉弾戦。刻一刻とテンションを増す日々をオヌマは生き残ることができるか。知的スリルに満ちた気鋭の長編。

読売新聞 2023/07/02

1997:5./ 195p

978-4-10-418001-1

¥1,430〔税込〕

**持続可能な魂の利用(中公文庫　ま 51-3)**

松田青子 著

中央公論新社

無職になった 30 代の敬子は、男社会の闇を味わうも、心は裏腹に男が演出する女性アイドルにはまっていく。敬子は思いがけずこの国の“地獄”を変える“賭け”に挑むことに-。

読売新聞 2023/07/02

2023:5./ 273p

978-4-12-207369-2

¥836〔税込〕

**「集団の思い込み」を打ち砕く技術～なぜ皆が同じ間違いをおかすのか～**

トッド・ローズ 著

ＮＨＫ出版

ありもしないことを皆で信じる「集合的幻想」は、社会や組織、個人にいたるまで大きな弊害をもたらす。脳科学・心理学の知見と多くの事例をもとに、幻想にとらわれる過程、打破する方法を解説する。

読売新聞 2023/07/02

2023:5./ 350p

978-4-14-081939-5

¥2,640〔税込〕

**藩邸差配役日日控**

砂原 浩太朗 著

文藝春秋

江戸藩邸のなんでも屋と揶揄される差配役・里村五郎兵衛のもとには日々、大小問わず厄介事が持ち込まれる。そんななか、若君が消えたとの報が。すぐさま探索に向かおうとする里村だったが…。『オール讀物』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/07/02

2023:4./ 250p
978-4-16-391689-7
¥1,925〔税込〕

**ウクライナ戦争はなぜ終わらないのか～デジタル時代の総力戦～(文春新書 1404)**

高橋杉雄編著 著

文藝春秋

ウクライナ戦争以後、戦争はどう変わったのか? 核は使われるのか? 米中という「大国間競争」の時代に、抑止の破綻として引き起こされた戦争の内実を多角的に分析し、戦争終結に向かうシナリオを示す。

読売新聞 2023/07/02

2023:6./ 253p
978-4-16-661404-2
¥1,045〔税込〕

**砂漠の教室～イスラエル通信～(河出文庫　ふ 20-1)**

藤本 和子 著

河出書房新社

1977 年、ヘブライ語を学ぶため、ユダヤ人の夫と共にイスラエルの語学学校へ。同級生は各国から集まった 8 歳～70 歳。未知の風土、生活、食べ物、そして歴史に向き合い、他者を語ることに挑んだ自由で真摯な旅の記録。

読売新聞 2023/07/02

2023:6./ 250p
978-4-309-41960-2
¥968〔税込〕

**編集者の読書論～面白い本の見つけ方、教えます～(光文社新書　1256)**

駒井稔 著

光文社

革命家はどんな本を読んでいたのか? 「短編」「自伝」「児童文学」から始める読書とは? 週刊誌、翻訳書編集に従事し、その後、光文社古典新訳文庫を創刊した著者がエッセイ風に綴る、気取らぬ読書論。

読売新聞 2023/07/02

2023:5./ 339p
978-4-334-04663-7
¥1,034〔税込〕

**イラストで学ぶ世界を変えたコンピュータの歴史**

レイチェル・イグノトフスキー 著

創元社

計算機の進化が、未来を切り拓いてきた! 数字が発明された古代から現代のデジタル社会にいたるまでの「コンピュータ」の進化を、各時代の新発明と発展に貢献した人々に注目しながらイラストで紹介する。

読売新聞 2023/07/02

2023:4./ 126p
978-4-422-41449-2
¥3,520〔税込〕

**死の舞踏～恐怖についての 10 章～(ちくま文庫　き 39-1)**

スティーヴン・キング 著
筑摩書房
モダン・ホラー界の帝王キングが、本や映画などあらゆるメディアのホラー作品を縦横無尽に渡り歩き、同時代アメリカへの鋭い批評や自分史も交えながら、饒舌に語りつくす。エッセイを増補した決定版。

読売新聞 2023/07/02

2017:9./ 732p,27p
978-4-480-43332-9
¥1,650〔税込〕

**スカートと女性の歴史～ファッションと女らしさの二〇世紀の物語～**

キンバリー・クリスマン=キャンベル 著
原書房
新しい時代の女らしさを再定義してゆくスカート。デルフォスからボディコン・ドレスまで、20 世紀に生まれた 10 の有名なスタイルを取り上げ、ジェンダー、価値観、アイデンティティーの変遷を読み解く。

読売新聞 2023/07/02

2023:4./ 301p,11p
978-4-562-07271-2
¥3,850〔税込〕

**中国拘束 2279 日～スパイにされた親中派日本人の記録～**

鈴木 英司 著
毎日新聞出版
24 時間監視下で 7 カ月の監禁生活、取り調べ、逮捕、裁判、収監…。身に覚えのないスパイ容疑で中国当局に 6 年間拘束され、2022 年 10 月に帰国した日中青年交流協会・元理事長による、迫真の手記。

読売新聞 2023/07/02

2023:4./ 213p
978-4-620-32774-7
¥1,760〔税込〕

**杉浦康平と写植の時代～光学技術と日本語のデザイン～**

阿部卓也 著
慶應義塾大学出版会
戦後日本のグラフィックデザインを牽引したデザイナー・杉浦康平は、写植という新たな技術といかに向き合い、日本語のデザインといかに格闘したのか。彼が日本語のレイアウトやブックデザインに与えた影響を明らかにする。

読売新聞 2023/07/02

2023:4./ 481p
978-4-7664-2880-3
¥4,400〔税込〕

**現代の皮膚感覚をさぐる～言葉、表象、身体～**

平芳幸浩 編
春風社
デジタル・デバイスが浸透し、ヴァーチャルな空間での活動が増加する現代社会においてもなお/であるからこそ、皮膚はファジーで錯綜的、非局所的な身体感覚のトポス(在処)としてある。 現代の表現行為や日々の営為における皮膚感覚、その意義と可能性に触れなおす。

読売新聞 2023/07/02

2023:3./ 249p,13p
978-4-86110-849-5
¥4,070〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**ぼく モグラ キツネ 馬～アニメーション・ストーリー～**

チャーリー・マッケジー 著
飛鳥新社
じぶんにやさしくすることが、いちばんのやさしさなんだ。やさしくされるのをまつんじゃなくて、じぶんにやさしくなればいいのさ-。心に入り込み、力をくれる人生寓話の美しい手描きアニメーション版を書籍化。

読売新聞 2023/07/02

2023:5./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-86410-946-8
¥2,640〔税込〕

**どれほど似ているか**

キム・ボヨン 著
河出書房新社
衛星の避難民を救う任務を追う宇宙船で、人間の姿で目覚めた AI の「私」。人間とは何か。機械に感情はあるか。繋がりの可能性を追求する決死の旅に…。表題作をはじめ全 10 編を収めた韓国 SF トップランナーの決定版作品集。

読売新聞 2023/07/02、朝日新聞 2023/07/15

2023:5./ 370p
978-4-309-20883-1
¥2,530〔税込〕

**おれに聞くの?～異端文学者による人生相談～**

山下　澄人 著
平凡社
モチベーションを保つには。人が読みたくなる文章とは。他者と共に生きるとは…。芥川賞作家・山下澄人が、生き方、書くこと、人間関係にまつわる悩みに答える。Mond 掲載に加筆修正し書籍化。

読売新聞 2023/07/02、毎日新聞 2023/07/29

2023:5./ 190p
978-4-582-83925-8
¥1,980〔税込〕

**ポテトチップスと日本人～人生に寄り添う国民食の誕生～(朝日新書　905)**

稲田豊史 著
朝日新聞出版
日本社会が変わるとき、そこにはポテトチップスがあった。「国策」が生み、「団塊ジュニア」が育て、「下流社会」が発展させたポテトチップスを軸に語る、戦後食文化史×日本人論。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 345p
978-4-02-295211-0
¥1,045〔税込〕

**先住民から見た世界史～コロンブスの「新大陸発見」～(角川ソフィア文庫 I421-1)**

山本　紀夫 著
KADOKAWA
ヨーロッパに与えたもの、先住民にもたらされた災厄。「コロンブスの交換」と呼ばれる先住民の悲劇とグローバル化のはじまりを、南米アンデスをフィールドに農学と人類学を研究する著者が描く。

読売新聞 2023/07/09

2023:5./ 290p,17p
978-4-04-400757-7
¥1,276〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**街とその不確かな壁**

村上 春樹 著
新潮社
その街に行かなくてはならない。なにがあろうと-。<古い夢>が奥まった書庫でひもとかれ、呼び覚まされるように、封印された“物語”が深く静かに動きだす。魂を揺さぶる書下ろし長編。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 661p
978-4-10-353437-2
¥2,970〔税込〕

**上京小説傑作選(中公文庫　お 88-2)**

岡崎武志 編
中央公論新社
青春・貧乏・出会いと別れ。上京には、それぞれのドラマがある-。林芙美子「耳輪のついた馬」、重松清「東京に門前払いをくらった彼女のために」、梶井基次郎「橡の花」など、上京者によって紡がれる全 11 篇を収録する。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 365p
978-4-12-207351-7
¥1,100〔税込〕

**沖縄有事～ウクライナ、台湾、そして日本-戦争の世界地図を読み解く～**

牧野 愛博 著
文藝春秋
起こらないはずの戦争が起こる時代。習近平の中国がやって来た時、日本はどうしたら良いのか。ウクライナで起きた事態、台湾を巡る現状、沖縄を含む南西諸島で 80 年前に起きた悲劇と現在。様々な事例を紹介しながら考察する。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 262p
978-4-16-391685-9
¥1,760〔税込〕

**コンビニ人間(文春文庫　む 16-1)**

村田 沙耶香 著
文藝春秋
36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってきて、そんなコンビニ的生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

読売新聞 2023/07/09

2018:9./ 168p
978-4-16-791130-0
¥660〔税込〕

**少年と犬(文春文庫　は 25-10)**

馳 星周 著
文藝春秋
家族のために犯罪に手を染めた男が拾った犬。守り神になったその犬はある意志を秘めていた-。「男と犬」「夫婦と犬」「少女と犬」など、人生の無常と犬の神秘性を描いた全 7 編を収録。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 379p
978-4-16-792021-0
¥858〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**老いてはネコに従え(宝島社新書 682)**

養老 孟司、下重 暁子 著
宝島社
無駄な抵抗はしない、迷惑かけてナンボ、「雑音」は聞き流す、ものいわぬ猫たちの魅力、生き物としてお粗末な人間…。85 歳の養老孟司と 86 歳の下重暁子が、猫との暮らしや「自分勝手」の極意を語る。

読売新聞 2023/07/09

2023:5./ 222p
978-4-299-04143-2
¥1,100〔税込〕

**不穏な熱帯～人間<以前>と<以後>の人類学～**

里見 龍樹 著
河出書房新社
近代人類学の誕生から 100 年。人類学はどこへ向かうのか? 南太平洋でのフィールドワークと哲学/思想や文学を峻烈に交差させ、南西太平洋の「海の民」の思考から人新世の時代に必要な「自然」の概念を導く。

読売新聞 2023/07/09

2022:12./ 442p,5p
978-4-309-23121-1
¥2,970〔税込〕

**コミュ力は「副詞」で決まる(光文社新書 1253)**

石黒圭 著
光文社
「やっぱり」「せっかく」「おかげさまで」…。気持ちを効果的に伝える最強の助っ人「副詞」。コミュニケーション向上の鍵となる副詞について、その分類と機能から、使い方の勘所までを、社会・文化的背景も交えて解説する。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 350p
978-4-334-04660-6
¥990〔税込〕

**魔術師列伝～魔術師 G.デッラ・ポルタから錬金術師ニュートンまで～**

澤井 繁男 著
平凡社
中世と近代のはざまに躍動した魔術師と錬金術師たちを紹介しながら、複雑で難解とされてきたその魔術的世界観と錬金術的宇宙観を、100 点を超える図版とともに解説する。『web 太陽』連載を書籍化。

読売新聞 2023/07/09

2023:3./ 205p
978-4-582-70367-2
¥3,080〔税込〕

**第三の極地～エヴェレスト、その夢と死と謎～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-7)**

マーク・シノット 著
亜紀書房
世界一の頂、エヴェレスト。100 年来の謎を説き明かすため、ベテランクライマーは、かの地へ向かう。そこで目にしたのは、この山に魅せられた人々の人生の物語だった-。山岳ノンフィクション。

読売新聞 2023/07/09

2023:2./ 599p 図版 16p
978-4-7505-1779-7
¥3,520〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

## 羊と日本人～波乱に満ちたもう一つの近現代史～

山本 佳典 著
彩流社
文明開化以降の日本には、いつも羊がいた-。在野の研究者が忘れられた日本の緬羊史を独自の視点でとらえ、膨大で緻密な調査と関係者への聞き取りを行い、たゆまぬ努力を続けた羊をめぐる人々の生き様を浮かび上がらせる。

読売新聞 2023/07/09

2023:3./ 401p
978-4-7791-2863-9
¥3,850〔税込〕

## トゥアレグ～自由への帰路～

デコート豊崎アリサ 著
イースト・プレス
自らを「自由な人々」と自負する、サハラ砂漠の遊牧民トゥアレグ。彼らの生き方に惹かれ、日本、フランス、アフリカを行き来しながら長年取材をして見えてきた、トゥアレグの実態と魅力を綴る。写真も多数掲載。

読売新聞 2023/07/09

2022:3./ 422p 図版 16枚
978-4-7816-2067-1
¥2,420〔税込〕

## まっとうな政治を求めて～「リベラルな」という形容詞～

マイケル・ウォルツァー 著
風行社
社会主義者を自認する思想家マイケル・ウォルツァーが、これまで様々な著作のなかで展開してきた彼自身のアイデンティティ・ポリテックスになぜ自分が寄り添うことになったのかを、自身の政治生活を振り返りつつ語る。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 258p,13p
978-4-86258-146-4
¥2,970〔税込〕

## 美ら海トワイライトゾーン～知られざる深海生物のワンダーランド～

佐藤 圭一／沖縄美ら海水族館深海展示チーム 著
産業編集センター
わずかな太陽光しか届かない中深層世界に息づく奇妙で美しい生き物たち。水深約100～500m超に生息する動物たちの形態や生き様を、沖縄美ら海水族館の飼育員でなければ撮影できない視点でとらえた画像とともに紹介する。

読売新聞 2023/07/09

2023:5./ 271p
978-4-86311-366-4
¥3,080〔税込〕

## ブラームス・ヴァリエーション

新保 祐司 著
藤原書店
コロナ禍にブラームスの作品を1日1曲、ほぼ全て聴き尽くした著者が、音楽の主題から、文学・思想・人間・世界・文明へと自在に「変奏」を展開し、現代への視座を見出した批評集。

読売新聞 2023/07/09

2023:4./ 329p
978-4-86578-384-1
¥2,860〔税込〕

## 旅するわたしたち～On the Move～

ロマナ・ロマニーシン、アンドリー・レシヴ 著
ブロンズ新社
一歩、また一歩、わたしたちは、何万年も旅してきた-。歩く、移動する、旅する、冒険する。動かずにはいられない衝動は、万物の行動原理だ。人、車輪、航海、飛行…。ウクライナの作家ユニットが万物の移動をカラフルに描く。

読売新聞 2023/07/09

2023:5./ 64p
978-4-89309-719-4
¥2,420〔税込〕

## かがくいひろしの世界

ブロンズ新社
絵本「だるまさん」シリーズの作者・かがくいひろし。特別支援学校の教員時代の手作り教材、人形劇、「だるまさん」シリーズのラフ、アイデアノートなどを公開。イルフ童画館ほかで開催の展覧会の公式図録。

読売新聞 2023/07/09

2023:6./ 255p
978-4-89309-721-7
¥2,750〔税込〕

## わたしは、不法移民～ヒスパニックのアメリカ～

カーラ・コルネホ・ヴィラヴィセンシオ 著
慶應義塾大学出版会
不当な労働によって搾取され、虐げられ、精神を病む不法移民たち。自らも不法移民である著者が、彼らを取り巻く状況やそのメンタリティを克明に描く。人種主義的・反移民的な思想を抱く人びとへの静かで強力な反論。

読売新聞 2023/07/09、朝日新聞 2023/07/29

2023:6./ 229p,7p
978-4-7664-2896-4
¥2,640〔税込〕

## 日台万華鏡～台湾と日本のあいだで考えた～

栖来ひかり 著
書肆侃侃房
台湾在住で日本人の著者が、“日台のあわい”で書き続けたエッセー。台湾社会や日台の文化比較、歴史的交錯から、映画やアート、LGBTQ にまつわる話題まで広く言及し、リアルな台湾をあわいの視点からあぶりだす。

読売新聞 2023/07/09、毎日新聞 2023/07/22

2023:5./ 255p
978-4-86385-572-4
¥1,760〔税込〕

## 音楽と生命

坂本 龍一、福岡 伸一 著
集英社
残された時間、私たちの生を輝かせるために今、何に目を向けるべきか? がん闘病の中で活動を続ける音楽家と生物学者が、世界のひずみに目を向け、新たな思想を求めて行った対話の記録。NHK E テレ放送分に大幅加筆。

読売新聞 2023/07/16

2023:3./ 189p
978-4-08-789016-7
¥2,200〔税込〕

**悪人正機(新潮文庫)**

吉本　隆明、糸井　重里 著
新潮社
「ほとんどの人が本当は友達ゼロ」「役に立たない旅でいいじゃないか」こんな先生が欲しかった!－絶妙の掛け合いから生まれた逆説的人生論。

読売新聞 2023/07/16

2004:11./ 340p
978-4-10-128922-9
¥605〔税込〕

**幸せの条件　改版新装版(中公文庫　ほ 17-20)**

誉田哲也 著
中央公論新社
「新燃料・バイオエタノール用にコメを作れる農家を探してこい!」 突然の社長命令を受け、片山製作所・伝票整理担当で農業知識ゼロの梢恵は単身農村へ。なりゆきで農業見習いを始めた 24 歳に勝算はあるか!?

読売新聞 2023/07/16

2023:5./ 459p
978-4-12-207368-5
¥836〔税込〕

**なぜ少子化は止められないのか(日経プレミアシリーズ　495)**

藤波　匠 著
日経ＢＰ社
なぜ少子化は止まらないのか。どのような手を打てばよいのか。若者の意識の変化や経済環境の悪化、現金給付の効果など、人口問題の専門家が様々なデータを基に分析、会話形式でわかりやすく解説する。

読売新聞 2023/07/16

2023:5./ 265p
978-4-296-11762-8
¥990〔税込〕

**爆ぜる怪人 殺人鬼はご当地ヒーロー(宝島社文庫　このミス大賞 C お-10-1)**

おぎぬま X 著
宝島社
東京・町田のご当地ヒーロー、マチダーマン。その運営会社で働く志村はニュースを見て衝撃を受ける。誘拐犯を殺害して少年を救出した「正義のヒーロー」が、かつて志村がデザインし、お蔵入りになったヒーロースーツで…。

読売新聞 2023/07/16

2023:6./ 381p
978-4-299-04396-2
¥819〔税込〕

**人口減少時代の農業と食(ちくま新書　1729)**

窪田　新之助、山口　亮子 著
筑摩書房
人口減少で日本の農業はどうなるか。農業の現状と将来展望を、図表を交えてわかりやすく紹介し、物流、規模拡大、労働力不足といったテーマごとに、現状と、将来の人口減少を見据えた対策を示す。

読売新聞 2023/07/16

2023:5./ 293p
978-4-480-07554-3
¥1,012〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**がんばった 15 人の徳川将軍～読んだらきっと推したくなる!～**

房野 史典 著
日本実業出版社
幼くして就任した将軍、身体に悩みを抱えた将軍、能力は高いのに周囲からとことん嫌われた将軍…。15 人の個性豊かな徳川将軍たちと、その時代背景をわかりやすく紹介する。

読売新聞 2023/07/16

2023:4./ 382p
978-4-534-06005-1
¥1,595〔税込〕

**過去を売る男(エクス・リブリス)**

ジョゼ・エドゥアルド・アグアルーザ 著
白水社
長年にわたる激しい内戦が終わったアンゴラ。フェリックスは、新興の富裕層に新しい家系図と「過去」を作成して生計を立てている。ある日、身元不詳の外国人が来て…。戦争に踏みにじられた人生と奪われた記憶を鮮烈に綴る。

読売新聞 2023/07/16

2023:5./ 203p
978-4-560-09082-4
¥2,750〔税込〕

**日本のブックデザイン一五〇年～装丁とその時代～(別冊太陽)**

別冊太陽編集部 編
平凡社
世界でも類がない、豊かな装丁文化が花開いた日本。日本近現代の装幀史を、厳選した 100 冊からひもとく。原弘をはじめとする巨匠たちのブックデザインや、ゲルハルト・プルヴェラーによる和本コレクションなども収録。

読売新聞 2023/07/16

2023:6./ 143p
978-4-582-94621-5
¥1,980〔税込〕

**おいしい朝の記憶**

飛田和緒 著
扶桑社
料理家・飛田和緒が Instagram に投稿した、娘のお弁当や車内で食べる朝ごはんの写真を、簡単レシピ&解説の文章とともに収録する。慌ただしい朝のおいしいごはんから、食いしん坊家族の暮らしが伝わる一冊。

読売新聞 2023/07/16

2023:3./ 190p
978-4-594-09412-6
¥1,760〔税込〕

**世界の朝ごはん～66 カ国の伝統メニュー～**

パイ インターナショナル 編
パイインターナショナル
フランスのクロワッサン、アメリカのエッグベネディクト、中国の白粥…。朝ごはんには文化や歴史がつまってる! 世界 66 カ国 167 種類の伝統メニューを、各国の朝の風景とともに紹介する。

読売新聞 2023/07/16

2023:3./ 191p
978-4-7562-5595-2
¥2,035〔税込〕

**江戸の花道～西鶴・芭蕉・近松と読む軍記物語～**

佐谷 眞木人 著
慶應義塾大学出版会
西鶴・芭蕉・近松の諸作品から幕末の河竹黙阿弥の歌舞伎に至るまで、軍記物語の特徴的な作品を幅広く取り上げ、その影響を詳細に検討。江戸文芸の「花道」にあらわれた近世の世界認識を提示する。

読売新聞 2023/07/16

2023:4./ 254p,11p
978-4-7664-2890-2
¥3,520〔税込〕

**甦る戦災樹木～カラー版～**

菅野博貢 著
さくら舎
燃える町、逃げ惑う人々…。あの日、樹々は何を見たのか。2014 年から 2023 年にかけて行った、空襲の生々しい損傷を残す全国の戦災樹木への調査・探索・研究をもとに、戦争と戦後を考える。

読売新聞 2023/07/16

2023:5./ 363p
978-4-86581-385-2
¥3,960〔税込〕

**最強のケアチームをつくる～いろ葉の介護は 365 日が宝探し～**

中迎聡子 著
円窓社
若者中心のケア集団が、なぜここまで成長できたのか? 2003 年に創業した介護事業所「いろ葉」のユニークな人材育成術と、老いを丸ごと地域で支える仕組みづくりを公開する。

読売新聞 2023/07/16

2023:6./ 253p
978-4-910822-04-4
¥1,980〔税込〕

**イジー・コラーシュの詩学**

阿部　賢一 著
成文社
チェコやフランスの一級資料を駆使した、「コラージュ」の詩人イジー・コラーシュ研究の白眉。ファシズムとスターリニズムの時代を生きねばならなかった芸術家の詩学の全貌、20 世紀芸術における意義を探る。

読売新聞 2023/07/16

2006:1./ 414p 図版 36p
978-4-915730-51-1
¥9,240〔税込〕

**非有機的生(講談社選書メチエ　783)**

宇野 邦一 著
講談社
単純な二項対立に収まらない有機性と非有機性という問題系は、技術や政治、思想や文学、芸術などに及ぶ巨大な射程をそなえる。身体、知覚、イメージといった問題を中心に思索を紡いできた著者の集大成。

読売新聞 2023/07/16、毎日新聞 2023/07/29

2023:4./ 422p
978-4-06-531587-3
¥2,475〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**ドリトル先生アフリカゆき　新版(岩波少年文庫　21)**

ヒュー・ロフティング 著
岩波書店
動物と話のできる名医ジョン・ドリトル先生は、サルたちを恐ろしい疫病から救うために、アヒルのダブダブや犬のジップ、ブタのガブガブらを引き連れてアフリカに向かいます。78 年刊に次ぐ新版。

読売新聞 2023/07/23

2000:6./ 252p
978-4-00-114021-7
¥792〔税込〕

---

**山椒魚/遥拝隊長～他七篇～　改版(岩波文庫　緑 77-1)**

井伏　鱒二 著
岩波書店
内外の文学を通じて比類のないユニークな作風をもって文壇に登場した作者の初期作品を中心とする短篇集。岩窟にまぎれこんだまま成長して出られなくなった「山椒魚」の悲喜劇、都会的哀愁の漂う「鯉」など、9 篇を収める。

読売新聞 2023/07/23

1969:12./ 158p
978-4-00-310771-3
¥528〔税込〕

---

**富岳百景・走れメロス～他八篇～　改版(岩波文庫　緑 90-1)**

太宰　治 著
岩波書店
太宰治が短篇の名手であることはひろく知られているが、ここに収めた作品は、いずれも様々な題材を、それぞれ素材に適わしい手法で描いていて、その手腕の確かさを今更のように思い起こさせる。

読売新聞 2023/07/23

1968:5./ 254p
978-4-00-310901-4
¥704〔税込〕

---

**徹底検証沖縄密約～新文書から浮かぶ実像～(朝日選書　1034)**

藤田直央 著
朝日新聞出版
沖縄が日本に返還された際、緊急時に米国の核兵器を沖縄に持ち込むことを認めた密約に関する「若泉シナリオ」。その全文を示し、徹底検証。「費用肩代わり問題」を追及した新聞記者・西山太吉のインタビューも収録する。

読売新聞 2023/07/23

2023:6./ 232p
978-4-02-263126-8
¥1,650〔税込〕

---

**女生徒　改版(角川文庫)**

太宰　治 著
角川書店
「幸福は一夜おくれて来る。幸福は－」多感な女子生徒の一日を描いた「女生徒」、情死した夫を引き取りに行く妻を描いた「おさん」など、女性の告白体小説の手法で書かれた 14 篇を収録。

読売新聞 2023/07/23

2009:5./ 279p
978-4-04-109915-5
¥484〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**厄除け詩集(講談社文芸文庫)**

井伏 鱒二 著
講談社
深遠な詩魂溢れる「黒い蝶」「蟻地獄(コンコンの唄)」等、魅了してやまぬ井伏鱒二の詩精神。4 部構成の初の文庫版『厄除け詩集』。

読売新聞 2023/07/23

1994:4./ 168p
978-4-06-196267-5
¥1,210〔税込〕

**マスク越しのおはよう**

山本 悦子 著
講談社
小山さんにマスクの性能を疑われてから、マスクが気になってしょうがない。だいたい、あたしと妹は 3 枚しかマスクを持っていない-。「ヒョウ柄マスクのプリンセス」など、コロナ禍の子ども達の心をリアルを描いた 5 編を収録。

読売新聞 2023/07/23

2022:9./ 300p
978-4-06-528367-7
¥1,760〔税込〕

**演芸場で会いましょう～本日の高座 その 2～**

橘 蓮二 著
講談社
桂二葉、春風亭一之輔、柳家三三…。縁あって出会った芸人さんの魅力を伝えるために全力を尽くす-。演芸写真家・橘蓮二が、さまざまな芸人が「笑い」を届けようと奮闘する姿を写真と文で切り取る。

読売新聞 2023/07/23

2023:4./ 252p
978-4-06-531311-4
¥2,090〔税込〕

**ルポ国際ロマンス詐欺(小学館新書 452)**

水谷 竹秀 著
小学館
SNS やマッチングアプリで恋愛感情を抱かせ、金銭を騙し取る「国際ロマンス詐欺」。なぜ被害者は、会ったこともない犯人に騙されてしまうのか。ナイジェリアで詐欺犯たちに直撃取材し、詐欺被害者と詐欺犯の双方に迫るルポ。

読売新聞 2023/07/23

2023:6./ 253p
978-4-09-825452-1
¥1,100〔税込〕

**斜陽　改版(新潮文庫)**

太宰　治 著
新潮社
読売新聞 2023/07/23

2003:5./ 244p
978-4-10-100602-4
¥374〔税込〕

**津軽　改版(新潮文庫)**

太宰　治 著
新潮社
読売新聞 2023/07/23

2004:6./ 255p
978-4-10-100604-8
¥473〔税込〕

**走れメロス　改版(新潮文庫)**

太宰　治 著
新潮社
読売新聞 2023/07/23

2005:2./ 300p
978-4-10-100606-2
¥440〔税込〕

**黒い雨　改版(新潮文庫)**

井伏 鱒二 著
新潮社
読売新聞 2023/07/23

2003:5./ 403p
978-4-10-103406-5
¥880〔税込〕

**荻窪風土記 改版(新潮文庫 い-4-8)**

井伏 鱒二 著
新潮社
満州事変、二・二六事件、太平洋戦争…。時世の大きなうねりの中に、荻窪の風土と市井の変遷を捉え、親交を結んだ土地っ子や隣人、文学青年窶れした知友たちの人生を軽妙な筆で描き出す。自伝的長編。

読売新聞 2023/07/23

2014:11./ 302p
978-4-10-103408-9
¥605〔税込〕

**こどもホスピスの奇跡(新潮文庫　い-99-10)**

石井 光太 著
新潮社
余命少ない子供が治療から離れ、家族と生涯忘れえぬ思い出を作れる場を、との願いから大阪に誕生した日本初の民間小児ホスピス「TSURUMI こどもホスピス」。実現に向け立ち上がった人たちのこれまでとこれからを綴る。

読売新聞 2023/07/23

2023:5./ 329p
978-4-10-132540-8
¥737〔税込〕

**太宰治(中公文庫　い 38-4)**

井伏　鱒二 著
中央公論新社
太宰治の師として友として、親しくつきあってきた井伏鱒二。井伏による 20 年ちかくにわたる交遊の思い出や、太宰の作品解説を精選集成する。井伏の没後に節代夫人が語った「太宰さんのこと」を増補。

読売新聞 2023/07/23

2018:7./ 281p
978-4-12-206607-6
¥990〔税込〕

**世界でいちばん殺された男～ダニー・トレホ自伝～**

ダニー・トレホ／ドナル・ローグ 著
早川書房
死ぬ役か悪役では彼の右に出る者はいないと言われる俳優ダニー・トレホ。10 代の頃から薬物中毒であった彼はいかにして立ち直り、映画俳優となって「マチェーテ」で主役の座をつかんだのか。自らの半生を振り返る。

読売新聞 2023/07/23

2023:5./ 458p
978-4-15-210242-3
¥3,960〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**人気 No.1 にダマされないための本**

小林 直樹 著

日経ＢＰ社

初耳、無名の業者が人気 1 位のナゾ、アパホテル満足度が 1 位と最下位に評価が分かれる真相、日本人は世界一「夢がない」「意欲ない」比較調査のワナ…。ランキング・データの正しい読み解き方を具体的に解説する。

読売新聞 2023/07/23

2023:6./ 199p
978-4-296-20259-1
¥1,760〔税込〕

**俺達の日常にはバッセンが足りない(双葉文庫 み-25-03)**

三羽省吾 著

双葉社

家族で土建業を営むシンジのもとに、中学の同級生・エージが転がり込んできた。ある日エージはバッセン(バッティングセンター)を作ろうと言い出す。お金を稼ぐよりも名誉を得るよりも大切な「バッセン」とは…。

読売新聞 2023/07/23

2023:6./ 356p
978-4-575-52671-4
¥880〔税込〕

**ひげよ、さらば<上>**

上野瞭 著

理論社

記憶喪失の猫、ヨゴロウザが行き着いたのは、猫たちが住むナナツカマツカの丘。あまたの敵から身を守るべく、群れない猫をまとめる理想に向かう片目に出会い…。町田尚子の絵で生まれ変わった名作長編 3 分冊の上巻。

読売新聞 2023/07/23

2023:4./ 363p
978-4-652-20545-7
¥1,760〔税込〕

**ひげよ、さらば<中>**

上野瞭 著

理論社

犬たちの縄張りで思いがけない提案を受けた帰り道。気がつけばヨゴロウザの前には兄貴と慕うさがし猫がいた。彼を連れ、ヨゴロウザの中の何かが目覚める…。町田尚子の絵で生まれ変わった名作長編 3 分冊の中巻。

読売新聞 2023/07/23

2023:4./ 379p
978-4-652-20546-4
¥1,760〔税込〕

**ひげよ、さらば<下>**

上野瞭 著

理論社

リーダーとして揺れ続けたヨゴロウザに犬たちとの最後の決戦が迫る。本当の戦いとは? 相棒の片目が向かったものは、夢だったのか現実だったのか…。町田尚子の絵で生まれ変わった名作長編 3 分冊の下巻。

読売新聞 2023/07/23

2023:4./ 371p
978-4-652-20547-1
¥1,760〔税込〕

**40℃超えの日本列島でヒトは生きていけるのか～体温の科学から学ぶ猛暑のサバイバル術～(DOJIN 文庫 014)**

永島　計 著
化学同人
夏が暑いのは当たり前。だが、体温以上の「命に関わる危険な暑さ」に人体は対応していけるのか? 「人間の体温調節」のしくみに焦点を当て、さまざまな側面からその精緻なメカニズムを解き明かす。猛暑を乗り切る知恵が満載。

読売新聞 2023/07/23

2023:7./ 206p
978-4-7598-2514-5
¥990〔税込〕

**自動運転レベル 4～どうしたら社会に受け入れられるか～**

樋笠 尭士 著
学芸出版社
自動運転「レベル 4(ドライバーフリー)」を許可する道路交通法が 2023 年 4 月から施行された。世界の動向も踏まえ、自動運転の倫理、法、人々の安全性への期待度から、社会に受容されるための方策を考える。

読売新聞 2023/07/23

2023:3./ 170p
978-4-7615-2847-8
¥2,310〔税込〕

**俳句が伝える戦時下のウクライナ～ウクライナの市民、7 人へのインタビュー～**

馬場朝子 編
現代書館
満月や鷺の孤独な声ひとつ ウクライナの俳人たちが、戦争の日々を俳句に詠み、インタビューで語る。NHK ETV 特集「戦禍の中の HAIKU」で紹介できなかった俳句やインタビューを収録。テキストデータ請求券付き。

読売新聞 2023/07/23

2023:7./ 221p
978-4-7684-5943-0
¥2,200〔税込〕

**唯識～これだけは知りたい～**

船山 徹／石垣 明貴杞 著
法蔵館
「これだけは知っておきたい」唯識の基本を凝縮。唯識の歴史、「アーラヤ識」をはじめとするその基本用語を中心とした思想を概説する。挿画として、現代を代表する美術工芸家が寄せた作品をカラーで掲載。

読売新聞 2023/07/23

2023:4./ 18p,315p
978-4-8318-7771-0
¥1,650〔税込〕

**物ぐさ道草～多田道太郎のこと～**

荒井　とみよ 著
編集工房ノア
私の話はすべて唐突、突飛である-。斬新な発想で、社会学、風俗学を拓き、俳句に至る表層主義の世界観。転々多田道太郎の不思議と魅力を、長年身近で師と仰いだ著者が読み解く。同人誌『水路』連載を書籍化。

読売新聞 2023/07/23

2023:3./ 252p
978-4-89271-366-8
¥2,420〔税込〕

**在来植物の多様性がカギになる～日本らしい自然を守りたい～(岩波ジュニア新書 969)**

根本 正之 著
岩波書店
カワラナデシコ、キキョウ、フジバカマ…。日本を代表する、姿を消した野草たちを都会に呼び戻すことはできるか。各地の保全活動とともに、絶滅の危機にある在来植物、外来植物が増える理由、日本らしさの特性などを解説する。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 12p,178p
978-4-00-500969-5
¥968〔税込〕

**密約～外務省機密漏洩事件～(岩波現代文庫　社会 136)**

澤地　久枝 著
岩波書店
沖縄返還交渉の際、アメリカが支払うとされた400万ドルは日本が肩代わりするという裏取引－。政府は何を隠蔽し、国民は何を追究しきれなかったのか。現在に続く沖縄問題の原点の記録。

読売新聞 2023/07/30

2006:8./ 330p
978-4-00-603136-7
¥1,210〔税込〕

**地上生活者<第 1 部>　北方からきた愚者**

李 恢成 著
講談社
日本の植民地時代、樺太・真岡町まで流転していった一朝鮮人家族。歴史の表面から消された樺太と、サハリンにおけるスターリン時代の朝鮮人の実存を、嘘泣き少年・愚哲の目をとおして奔出させた面白くて滑稽な現代小説。

読売新聞 2023/07/30

2005:6./ 589p
978-4-06-212748-6
¥2,750〔税込〕

**高瀬庄左衛門御留書(講談社文庫 す 49-2)**

砂原 浩太朗 著
講談社
神山藩で、郡方を務める高瀬庄左衛門。50を前にして妻子を失い、息子の嫁とともに、寂寥と悔恨の中に生きていた。しかし、藩の政争の嵐が庄左衛門を襲い…。人生の苦渋と生きる喜びを丁寧に描く。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 399p
978-4-06-529629-5
¥913〔税込〕

**口訳古事記**

町田 康 著
講談社
イザナキとイザナミの国生み、アマテラスの「天の岩屋」ひきこもり、何度も殺されては甦ったオオクニヌシの国作り…。奔放なる愛と野望、裏切りと謀略にみちた日本最古のドラマの画期的な大阪弁訳。『群像』掲載を書籍化。

読売新聞 2023/07/30

2023:4./ 474p
978-4-06-531204-9
¥2,640〔税込〕

**戦争とデータ～死者はいかに数値となったか～(中公選書 139)**

五十嵐元道 著
中央公論新社
惨劇の実態を、どのように把握するのか。200 年に及ぶ戦争の歴史を辿り、主権国家や国際的ネットワークが統計学や法医学の知見から算出する世界を描く、もうひとつの戦争史。

読売新聞 2023/07/30

2023:7./ 6p,268p
978-4-12-110140-2
¥1,925〔税込〕

**妻たちの二・二六事件　新装版(中公文庫　さ 27-3)**

澤地　久枝 著
中央公論新社
二・二六事件で“至誠”に殉じた熱血の青年将校たち。遺された妻たちは事件後、どのような人生を歩んでいったのか。困難な取材をねばり強く重ね、文字通り足で歩いて検証した、ノンフィクションの金字塔。

読売新聞 2023/07/30

2017:12./ 283p
978-4-12-206499-7
¥880〔税込〕

**海神の島(中公文庫　い 140-1)**

池上永一 著
中央公論新社
オバァの願いは花城三姉妹の誰かに、米軍基地内にある海神の墓を守って欲しいということ。拒否した三人だったが、20 年後、それぞれの立場で海神の謎を追うことに…。三姉妹の欲望と日米中の思惑が錯綜する冒険小説。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 525p
978-4-12-207376-0
¥1,320〔税込〕

**異能機関<上>**

スティーヴン・キング 著
文藝春秋
異能の少年少女を拉致する謎の機関<研究所>。彼らは子供たちの超能力を利用して何を企図しているのか。抜群の頭脳を持つ 12 歳の少年ルークは知恵をめぐらせ、不穏な施設からの逃亡計画を温めはじめる…。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 361p
978-4-16-391717-7
¥2,970〔税込〕

**異能機関<下>**

スティーヴン・キング 著
文藝春秋
<研究所>を脱走したルーク。女所長は激怒し、自ら手下を率いて追跡する。一方<研究所>ではカリーシャ、ニックらがついにその企みの全貌を目にする。立ち上がった少年少女たちと、非情なスタッフたちとの戦いがはじまり…。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 366p
978-4-16-391718-4
¥2,970〔税込〕

**静夫さんと僕**

塙宣之 著
徳間書店
「ギギギギ」と笑い、布団の上で飯を食い、注射と聞くと部屋に篭城…。昭和 20 年生まれの“変なおじいさん”の義父と二世帯暮らしをするナイツ塙が、義父とのちょっとおかしな日々を綴る。

読売新聞 2023/07/30

2023:5./ 166p
978-4-19-865635-5
¥1,760〔税込〕

**河合隼雄の幸福論(PHP 文庫　か 1-3)**

河合 隼雄 著
ＰＨＰ研究所
少し見方を変えることによって、幸福が身近になる。人間関係について、悲しみについて、成功について、人生について…。自身の様々な経験を切り口にして、幸福について考える。生き方のヒントとなる 60 のエッセイ。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 253p
978-4-569-90327-9
¥880〔税込〕

**参謀の教科書～才能はいらない。あなたにもできる会社も上司も動かす仕事術～**

伊藤　俊幸 著
双葉社
組織改革は 8 割を占めるフォロワー(部下)がカギを握る! 「伝説の海将」と謳われた元・海上自衛隊海将が、上司や組織を動かし変えていくメソッドや、組織が絶対手放せない人材になるためのスキルを伝授する。

読売新聞 2023/07/30

2023:4./ 292p
978-4-575-31794-7
¥1,870〔税込〕

**もしニーチェがイッカクだったなら?～動物の知能から考えた人間の愚かさ～**

ジャスティン グレッグ 著
柏書房
ヒトと動物の認知能力の複雑さには量的な違いが歴然と存在する。そのせいでヒトが抱えることになった非効率性や脆弱性、歴史上経験してきた苦痛を引き合いに、知性はよいものか悪いものかを考察する。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 282p
978-4-7601-5528-6
¥2,420〔税込〕

**気ながれる身体の考古学～近世日本における養生～**

片渕　美穂子 著
晃洋書房
様々なものとの関係性の中で捉えられ、認識される身体。近世日本の養生論が説く、気を充たし巡らす身体についての言説を分析し、家、身分、老い、貨幣経済、自然環境など、多様な関係性の結節点としての身体を描きだす。

読売新聞 2023/07/30

2023:3./ 9p,280p,3p
978-4-7710-3705-2
¥4,950〔税込〕

**朝鮮国民女優・文藝峰の誕生～日本植民地下の女優形成史～**

李瑛恩 著

青弓社

植民地下で、日本への抵抗と協力の板挟みにあった朝鮮人映画女優文藝峰(ムンイェボン)。時代に翻弄され続けた彼女の人生を、植民地下の映画政策と朝鮮映画の表現を精緻に読み解きながら辿り、国民的女優の葛藤を描く。

読売新聞 2023/07/30

2023:4./ 311p
978-4-7872-7454-0
¥4,400〔税込〕

**とまる、はずす、きえる～ケアとトラウマと時間について～**

宮地尚子／村上靖彦 著

青土社

トラウマ研究と、医療・福祉の現象学の第一人者が、具体と抽象を行き来しながら紡ぎ出す、比類なき対談集。「それる」「もどる」「とまる」といった動詞を軸とした対話を収録する。トークイベントなどをもとに書籍化。

読売新聞 2023/07/30

2023:4./ 249p
978-4-7917-7549-1
¥2,200〔税込〕

**水族館飼育員のキッカイな日常**

なんかの菌 著

さくら舎

文系人間がなぜか水族館飼育員に!? 待っていたのは超個性的な生きもの…と、負けず劣らず個性的でエネルギーほとばしる飼育員たち。非日常のような日常を綴ったコミックエッセイ。『マイナビニュース』連載を加筆・再構成。

読売新聞 2023/07/30

2023:7./ 120p
978-4-86581-392-0
¥1,540〔税込〕

**戦略物資の未来地図～地政学から読み解く!～**

小山堅 著

あさ出版

脱ロシアと LNG 争奪戦、中東の脱・石油依存…。大国による資源確保の動きが新たな局面を迎えるなか、国家の盛衰を懸けて各国の思惑が激しく交錯する。分断する世界の未来を、“最新の資源情勢”から読み解く。

読売新聞 2023/07/30

2023:6./ 295p
978-4-86667-498-8
¥1,760〔税込〕

**君の六月は凍る**

王谷晶 著

朝日新聞出版

30 年前に別れた君が凍死体で発見されたと聞き、わたしはあの町での君との記憶を呼び覚ます。鶏小屋の前で、私たちは会っていた-。半私小説的作品「ベイビー、イッツ・お東京さま」を併録。『小説トリッパー』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:6./ 181p
978-4-02-251908-5
¥1,650〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**ハリウッド映画の終焉(集英社新書　1167)**

宇野 維正 著
集英社
確実に終焉へと向かいつつあるハリウッド映画。「ブラック・ウィドウ」「トップガンマーヴェリック」など、2020 年以降に公開された 16 本の作品を通して、今、映画界で何が起こっているかを詳らかにする。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:6./ 237p
978-4-08-721267-9
¥1,056〔税込〕

**黄金の刻(とき)～小説服部金太郎～**

楡 周平 著
集英社
明治 7 年。服部金太郎は丁稚として働いていた。金太郎は高価ゆえに持つ人の限られていた「時計」に目をつけ、いずれは時計商になりたいという熱い想いを抱き…。「セイコー」創業者の一代記。『小説すばる』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/07/01

2021:11./ 385p
978-4-08-771772-3
¥2,200〔税込〕

**沈黙の勇者たち～ユダヤ人を救ったドイツ市民の戦い～(新潮選書)**

岡 典子 著
新潮社
収容所送りを逃れて潜伏したユダヤ人のうち、約半数の 5000 人が生きて終戦を迎えられたのはなぜか。反ナチ抵抗組織だけでなく、娼婦や農場主といった無名のドイツ市民による救援活動の驚くべき実態を描き出す。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:5./ 283p
978-4-10-603899-0
¥1,925〔税込〕

**忘れられた BC 級戦犯～ランソン事件秘録～**

玉居子精宏 著
中央公論新社
1945 年 3 月、日本軍が仏領インドシナ北部の町で多数の捕虜を殺害した、知られざる「ランソン事件」。戦後、その裁きを受けた将校たちの思索を手掛かりに、戦争の不条理に今あらためて向き合う歴史ノンフィクション。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:6./ 258p
978-4-12-005665-9
¥2,200〔税込〕

**BUILD～真に価値あるものをつくる型破りなガイドブック～**

トニー・ファデル 著
早川書房
「何を」「誰と」つくるか。それがすべてだ-。アップルで iPod と iPhone の開発チームを率いた伝説のエンジニアが、最高のチームを築きイノベーションを起こす極意を明かす。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:5./ 495p
978-4-15-210241-6
¥2,860〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**希望の歴史～人類が善き未来をつくるための 18 章～<上>**

ルトガー・ブレグマン 著

文藝春秋

近現代の社会思想は“性悪説”で動き、それを裏付けるような心理学実験や人類学の調査がなされてきた。だが、これらは本当か。著者は定説の真偽を確かめるべく世界中を飛び回り…。西洋思想を貫く「暗い思想」に挑む。

日本経済新聞 2023/07/01

2021:7./ 269p
978-4-16-391407-7
¥1,980〔税込〕

**希望の歴史～人類が善き未来をつくるための 18 章～<下>**

ルトガー・ブレグマン 著

文藝春秋

「人間の本質は善である」ことを人類史、心理学、思想史、経済史を横断して論じる。そして善人が悪人になってしまう理由とは何か、なぜ人類は生き残れたのか、これから生き延びるためにどうすればよいかを綴った「希望の書」。

日本経済新聞 2023/07/01

2021:7./ 269p
978-4-16-391408-4
¥1,980〔税込〕

**国家の債務を擁護する～公的債務の世界史～**

バリー・アイケングリーン／アスマー・エル＝ガナイニー／ルイ・エステベス／クリス・ジェイムズ・ミッチェナー 著

日経ＢＰ社

巨大債務をかかえる日本は、どのようにして経済成長を実現しつつ、債務問題を管理すべきか。国家債務の歴史をたどり、その有用性を論じ、いかにして国々は債務危機から脱出したかを解明し、危機対応へのヒントを示す。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:5./ 491p
978-4-296-11707-9
¥3,850〔税込〕

**偽情報と独裁者～SNS 時代の危機に立ち向かう～**

マリア・レッサ 著

河出書房新社

独裁体制強化のため、フェイスブックを巧みに利用した元フィリピン大統領ドゥテルテ。フィリピンのジャーナリストが、一般市民に力を与えるはずのソーシャルメディアが独裁者の武器に変わっていった過程を克明に描き出す。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:4./ 337p,27p
978-4-309-23129-7
¥2,420〔税込〕

**会社のなかの「仕事」社会のなかの「仕事」～資本主義経済下の職業の考え方～(光文社新書 1250)**

阿部真大 著

光文社

際限のない「超」長時間労働、蔓延するやりがい搾取、働き手を蝕む過剰サービス。日本人の働き方は、どうすれば変えられるのか。仕事を、組織ではなく社会のなかにおける各々の役割=「職業」として位置づける重要性を論じる。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:4./ 218p
978-4-334-04657-6
¥924〔税込〕

**終わりのない日々(エクス・リブリス)**

セバスチャン・バリー 著
白水社
19 世紀半ばの大飢饉に陥ったアイルランドで家族を失い、命からがらアメリカ大陸に渡ってきたトマス。女としてのアイデンティティーに目覚める中、恋人ジョンとともにインディアン戦争、南北戦争を戦っていき…。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:6./ 278p
978-4-560-09084-8
¥3,740〔税込〕

**上杉鷹山～完全版～**

童門 冬二 著
ＰＨＰエディターズ・グループ
経済破綻した米沢藩を立て直した名藩主・上杉鷹山。『山形新聞』連載当時の「小説上杉鷹山」を収録するほか、著者の上杉鷹山に関する初めての著作「上杉鷹山の経営学」および「再考・上杉鷹山」を掲載する。

日本経済新聞 2023/07/01

2019:6./ 652p
978-4-569-84308-7
¥4,180〔税込〕

**サーバント・リーダーシップ入門～引っ張るリーダーから支えるリーダーへ～**

池田　守男、金井　寿宏 著
かんき出版
人に尽くす人こそがよいリーダーになる…。元 AT&T のロバート・グリーンリーフが提唱するサーバント・リーダーシップの考え方を解説し、資生堂の経営改革にサーバント・リーダーとして取り組んだ経緯などを紹介する。

日本経済新聞 2023/07/01

2007:11./ 253p
978-4-7612-6473-4
¥1,650〔税込〕

**キスなんてだいきらい**

トミー・ウンゲラー 著
好学社
いつまでも小さい子どものように接してくる母さんにうんざりする猫のパイパー。ある日、学校で友だちとけんかしてケガをしたパイパーを見た母さんは…。思春期・反抗期の男の子の心情と成長を描いたロングセラー作品を復刊。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:2./ 40p
978-4-7690-2275-6
¥1,870〔税込〕

**奴隷と家畜～物語を食べる～**

赤坂憲雄 著
青土社
生きるために、捕って、殺して、わたしたちは食べる。誰ものぞこうとしなかった意識の森深くへと、異端の民俗学者が下りてゆく…。「性食考」以後に生まれた考えをエッセイ風に綴る。『ユリイカ』連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:4./ 369p
978-4-7917-7546-0
¥2,640〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**文字に聞く(草思社文庫 み 2-1)**

南 鶴溪 著
草思社
何千年もの間受け継がれてきた漢字には、人類の知恵が秘められている。日本近代書道の父・日下部鳴鶴の伝統を継ぐ鳴鶴流第 4 代の書家・南鶴溪が、様々な漢字の成り立ちを丁寧に紹介しながら、文字の魅力や書への思いを綴る。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:6./ 264p
978-4-7942-2658-7
¥990〔税込〕

**魚と人の知恵比べ～フライフィッシングの世界～**

マーク・カーランスキー 著
築地書館
疑似餌(フライ)を使って魚と向き合うフライフィッシング。その歴史から、竿やフライの進化、文学者が好んで描いた釣り、魚に与えるストレスの問題まで、フライフィッシングの奥深い世界に浸り、自然と深く関わる方法を探る。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:5./ 291p
978-4-8067-1650-1
¥2,970〔税込〕

**小林陽太郎～「性善説」の経営者～**

樺島　弘文 著
プレジデント社
30 年以上の長きにわたり富士ゼロックスの経営トップを務めてきた小林陽太郎の初めての評伝。「信頼」を武器にリーダーシップを発揮してきた彼の足跡を辿り、その人間性に迫る。

日本経済新聞 2023/07/01

2012:4./ 447p
978-4-8334-2006-8
¥1,980〔税込〕

**THE HEART OF BUSINESS～「人とパーパス」を本気で大切にする新時代のリーダーシップ～**

ユベール・ジョリー／キャロライン・ランバート／ビル・ジョージ／平井一夫 著
英治出版
巨大企業ベスト・バイはどん底の最中、リストラでも事業縮小でもインセンティブでもなく、従業員、顧客、取引先、そして株主とパーパスでつながることを選んだ-。奇跡の V 字回復を実現した経営者が「魔法」の起こし方を語る。

日本経済新聞 2023/07/01

2022:7./ 389p
978-4-86276-322-8
¥2,420〔税込〕

**おたやんのつぶやき～法善寺と富山、奇なる縒り糸～**

東龍造 著
幻戯書房
雄二は古美術専門美術館でお多福人形と出会う。あろうことか、それはおもむろに口を開け、ぽつりぽつりと喋りはじめ…。法善寺横丁のぜんざい屋「めをとぜんざい」を軸に家族の“時”が結ばれる表題作など、全 3 編を収録。

日本経済新聞 2023/07/01

2023:6./ 173p
978-4-86488-275-0
¥1,980〔税込〕

**トラスト～絆/わが人生/追憶の記/未来～**

エルナン・ディアズ 著

早川書房

1930 年代、頂点を極めた金融界の寵児は自分をモデルにした小説「絆」の出版に猛反発し、自伝を秘書に代筆させる。その後秘書は当時の回想録を記し、数十年後妻の日記を発見するが…。視点の異なる 4 篇からなる実験的小説。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:5./ 479p
978-4-15-210236-2
¥3,960〔税込〕

**半導体有事(文春新書　1345)**

湯之上 隆 著

文藝春秋

世界中で半導体の製造能力をめぐる激烈な競争が起きている。米国が発表した中国への規制とそれにより現実味を帯びてきた台湾有事などを論じ、半導体製造の危機を乗り越えるためにグローバルに協力し合うべきであることを示す。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:4./ 255p
978-4-16-661345-8
¥1,045〔税込〕

**読んで旅する海外文学～24 の国と地域の旅行記×77 冊の読書ノート～**

重松　理恵 著

大月書店

海外旅行好きであり大学生協職員として多数の本に触れてきた著者の、10 年以上にわたる旅行記と、訪れた国にまつわる文芸・エッセイ・レシピ本などを紹介するブックガイドを収録。翻訳家・作家の金原瑞人との対談も掲載。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:5./ 314p
978-4-272-61245-1
¥2,200〔税込〕

**半導体超進化論～世界を制する技術の未来～(日経プレミアシリーズ　496)**

黒田 忠広 著

日経ＢＰ社

この 30 年間に世界の半導体は高度成長を続けたのに、1988 年に 50%あった日本企業の世界シェアは 10%まで落ち込んだ。日本は何をすべきなのか。激変する半導体の世界と、日本に必要な戦略を明かす。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:5./ 244p
978-4-296-11781-9
¥1,100〔税込〕

**中国人が日本を買う理由(日経プレミアシリーズ　497)**

中島恵 著

日経ＢＰ社

コロナ禍以降、母国の将来に不安を抱く中国の人たちは、日本をどう見ているのか。豊富な取材をもとに、彼らが自国と比較して、日本の社会、暮らしをどう評価しているのかを明らかにする。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:5./ 220p
978-4-296-11806-9
¥990〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**かっかどるどるどぅ**

若竹 千佐子 著
河出書房新社
心もとない毎日を送る 4 人は、引きつけられるように古いアパートの一室を訪れるようになる。そこでは不思議な女性が、訪れる人たちに食事をふるまっていて…。『文藝』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:5./ 223p
978-4-309-03079-1
¥1,650〔税込〕

**台湾の企業戦略～経済発展の担い手と多国籍企業化への道～**

朝元 照雄 著
勁草書房
“頭脳流出”から“頭脳還流”へと転換した台湾。多国籍企業へと大きく変貌した、TSMC、メディアテック、鴻海、群創光電といった台湾ハイテク企業の成長過程を解明する。

日本経済新聞 2023/07/08

2014:7./ 10p,248p
978-4-326-50399-5
¥3,740〔税込〕

**半導体戦争～世界最重要テクノロジーをめぐる国家間の攻防～**

クリス・ミラー 著
ダイヤモンド社
半導体は石油以上の「戦略的資源」だった-。いびつな業界構造、発展の歴史、入り組んだ国家間の思惑を、多くの科学者、技術者、CEO、政府官僚へのインタビューに基づき、鮮やかに解説する。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:2./ 551p
978-4-478-11546-6
¥2,970〔税込〕

**半導体産業のすべて～世界の先端企業から日本メーカーの展望まで～**

菊地 正典 著
ダイヤモンド社
複雑な半導体産業の産業構造と関連する企業群を整理し、半導体の製造工程に沿って、どの業界がどう係わりどんな業務を受け持っているのかを解説。また業種ごとの代表的なメーカー、売上、注目企業なども紹介する。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:2./ 233p,24p
978-4-478-11711-8
¥2,200〔税込〕

**自衛隊海外派遣(ちくま新書　1726)**

加藤 博章 著
筑摩書房
緊迫する国際情勢に対し、日本の自衛隊は何ができ、何ができないのか。日本が国際社会といかに向き合おうとしたのかを自衛隊海外派遣を通じて論じ、日本のとるべき道を考える。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:5./ 250p
978-4-480-07556-7
¥946〔税込〕

**不本意な敗戦～エルピーダの戦い～**

坂本　幸雄 著

日本経済新聞出版社

倒産から 1 年半。社員をひとりも切らずに再生したエルピーダ。沈黙を続けてきた元社長が、社長として働いた 10 年 9 カ月の間に何が起きたのか、再起不能ともいわれた会社がなぜ立ち直ることができたのかを綴る。

日本経済新聞 2023/07/08

2013:10./ 205p
978-4-532-31899-4
¥1,760〔税込〕

**シンギュラリティの衝撃～人工知能が人間を超える～**

小池　淳義 著

ＰＨＰ研究所

30 年後、人類は機械に取って代わられる!? 世界的半導体メーカーのトップが、AI が進化した社会で「人間が機械に支配されない」ための思考法と行動のヒントを提示する。

日本経済新聞 2023/07/08

2017:6./ 222p
978-4-569-83600-3
¥1,760〔税込〕

**わたしの香港～消滅の瀬戸際で～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-10)**

カレン・チャン 著

亜紀書房

中国本土に呑み込まれていく香港。デモでたたかう若者たちは何を守りたかったのか? 旧植民地の矛盾や葛藤を抱えて生きる人々の日常、そして失われゆく都市の姿と魅力を、柔らかく繊細な感性で綴ったノンフィクション。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:5./ 415p
978-4-7505-1791-9
¥2,750〔税込〕

**性差別の損失～なぜ経済は男性に支配され、女性は排除されるのか～**

リンダ スコット 著

柏書房

歴史的に女性の労働が無償のものとして扱われてきたために、女性の経済活動が経済学と経済政策に組み入れられていないという問題を提起。歴史と地理という縦横の切り口からその問題の構造を解き明かす。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:4./ 439p
978-4-7601-5513-2
¥3,080〔税込〕

**持ち重り**

鎌田尚美 著

思潮社

肌も合わなければ気も合わないといわれて とうに別れたおとこを追いぬいた気がして すべりこんできた電車にそのままのった(「じぶんだけのバッグ」より) 鋭く日常を切りとる 23 の詩篇を収録した第 1 詩集。

日本経済新聞 2023/07/08

2022:10./ 124p
978-4-7837-4508-2
¥2,640〔税込〕

**ブックオフから考える～「なんとなく」から生まれた文化のインフラ～**

谷頭 和希 著
青弓社
1990 年代以降の「ブックオフ論」をたどり、実際に店舗を観察して、「なんとなく性」という切り口から、ブックオフの魅力や現代社会での役割を照らし出す。『マガジン航』等掲載に加筆、書き下ろしを加え書籍化。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:6./ 246p
978-4-7872-3520-6
¥1,980〔税込〕

**江戸の実用書～ペット・園芸・くらしの本～**

近衛 典子／福田 安典／宮本 祐規子 著
ぺりかん社
江戸期の出版はその成熟とともに隆盛を極め、文系・理系や文学書・実用書など多種多様な分野の実用書が多く刊行された。そのような実用書を「ペット」「園芸」「くらし」といった分野から読み、当時の生活の視点を考察する。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:6./ 238p
978-4-8315-1641-1
¥3,300〔税込〕

**聴かずぎらいのための吹奏楽入門(いりぐちアルテス 011)**

漆畑奈月／小室敬幸 著
アルテスパブリッシング
吹奏楽の魅力と歴史をレクチャーする入門書。吹奏楽の世界で愛されている名曲をたどりながら、吹奏楽というジャンルが日本でこれほど盛り上がるようになった理由がわかるよう、その秘密を解き明かす。

日本経済新聞 2023/07/08

2023:6./ 318p
978-4-86559-279-5
¥2,090〔税込〕

**敵対的買収とアクティビスト(岩波新書 新赤版 1973)**

太田 洋 著
岩波書店
物言う株主「アクティビスト」とは何者か。数々のアクティビストと対峙してきたビジネス弁護士が、彼らとの攻防をふり返りながら、その実像と対応策をわかりやすく解説する。米国や欧州の例も掲載。

日本経済新聞 2023/07/08、朝日新聞 2023/07/29

2023:5./ 8p,259p
978-4-00-431973-3
¥1,100〔税込〕

**たまたま生まれてフィメール**

小川　たまか 著
平凡社
結婚と夫婦別姓、政治とジェンダー、透明化される性犯罪被害者の声…。この国で生きる女性やマイノリティが直面する困難を問い直す、フェミニズム・エッセイ。

日本経済新聞 2023/07/08、朝日新聞 2023/07/29

2023:5./ 197p
978-4-582-83923-4
¥1,980〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**万事快調(文春文庫　な 87-1)**

波木 銅 著
文藝春秋
クソ田舎の底辺高に通う 2 年生、朴秀美。最悪な出来事を機に大麻の種を手にした彼女は、仲間と学校で大麻を育て売り捌こうと思いつく。彼女たちのビジネスは、はじめは順調に思えたが、危険は静かに迫り…。

日本経済新聞 2023/07/08、読売新聞 2023/07/16

2023:6./ 334p
978-4-16-792055-5
¥902〔税込〕

**立原道造詩集(岩波文庫　緑 121-1)**

杉浦　明平 編
岩波書店
孤影の色濃い詩の中に青年の情感をみずみずしく盛り込み、半世紀を経た今なお人の心を打つ。若き日を共にした編者が、夭折した詩人への鎮魂の意をこめて編集。

日本経済新聞 2023/07/15

1988:3./ 453p
978-4-00-311211-3
¥1,100〔税込〕

**新島襄教育宗教論集(岩波文庫　青 106-2)**

同志社 編
新島　襄 著
岩波書店
キリスト教をベースとする教育と教会という二つの要素を起爆剤として、封建日本を打破し精神的な近代化を成し遂げようとした新島独自の教育および宗教思想を知るうえで不可欠の資料 42 点。

日本経済新聞 2023/07/15

2010:10./ 330p
978-4-00-331062-5
¥924〔税込〕

**ファーブル昆虫記～完訳～<1>(岩波文庫　青 919-1)**

ファーブル 著
岩波書店
たゆまぬ努力と忍耐、そして何よりも深い愛情をこめて虫を観察し、推理と実験を重ねて昆虫の本能と習性をつきとめていったファーブル(1823-1915)。詩情あふれるその筆致は、数知れぬ熱烈な『昆虫記』ファンを生んできた。

日本経済新聞 2023/07/15

1993:6./ 406p
978-4-00-339191-4
¥990〔税込〕

**新編日本古典文学全集<20>　源氏物語(1)**

阿部 秋生、秋山 虔、今井 源衛、鈴木 日出男 著
小学館
「原文・注・現代語訳」を同一ページに 3 段組みで配置して、原文を読みながら内容もすぐ確認できる新編集の古典文学全集の第 1 配本。本書には桐壺～花宴までを収録

日本経済新聞 2023/07/15

1994:3./ 476p
978-4-09-658020-2
¥4,483〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**新編日本古典文学全集<42>　神楽歌**

臼田 甚五郎、新間 進一、外村 南都子 著

小学館

神々との交歓の、日々の労働の、そして享楽の歌。代表的歌謡集を収録。また、今様修行にひたすら打ち込む後白河院の自叙伝とも言える『梁塵秘抄口伝集』も収録しました。

日本経済新聞 2023/07/15

2000:11./ 542p
978-4-09-658042-4
¥4,902〔税込〕

**近代能楽集　改版(新潮文庫)**

三島 由紀夫 著

新潮社

日本経済新聞 2023/07/15

2004:5./ 264p
978-4-10-105014-0
¥605〔税込〕

**とわの庭(新潮文庫　お-86-3)**

小川 糸 著

新潮社

ある日、母がいなくなり、壮絶な孤独の闇を抜け、盲目の女の子とわは自分の人生を歩き出す。おいしいご飯、沢山の本、大切な友人、一夏の恋、そしてあの家の庭。盲導犬ジョイと切り拓いた世界は眩い光と愛に満ちていた-。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:7./ 302p
978-4-10-138343-9
¥693〔税込〕

**モンスーンの世界～日本、アジア、地球の風土の未来可能性～(中公新書 2755)**

安成哲三 著

中央公論新社

モンスーンによって豊かな自然と独自の風土を育んだ「モンスーンアジア」は、一方では、人類活動により環境危機も招いている。モンスーンのしくみや地球気候における役割、モンスーンアジアの未来の可能性などを解説する。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:5./ 4p,305p
978-4-12-102755-9
¥1,265〔税込〕

**花さき山(花の咲く童話集 1)**

斎藤　隆介 著

岩崎書店

児童文学の中から「花」をテーマにした名作童話を集めたシリーズ。斎藤隆介「花さき山」、清水達也「ゆりの花と大やまめ」、安房直子「やさしいたんぽぽ」など 7 編と、「花は咲く」の歌詞を掲載する。

日本経済新聞 2023/07/15

2015:2./ 93p
978-4-265-08381-7
¥1,980〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**企業進化を加速する「ポリネーター」の行動原則～スタートアップ×伝統企業～**

中垣 徹二郎／加藤 雅則 著
日経ＢＰ社
「スタートアップ×伝統企業」の連携によって、オープンイノベーションを推進していく実践的ポイントを、両者の持ち味をうまくかみ合わせる「ポリネーター」の行動原則や育て方・活かし方とともに解説する。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:6./ 380p
978-4-296-00145-3
¥2,420〔税込〕

**無意識のバイアスを克服する～個人・組織・社会を変えるアプローチ～**

ジェシカ・ノーデル 著
河出書房新社
意図しない偏見や差別はどうやって生まれ、行動を左右し、どんな影響を及ぼすのか。最新の科学的研究と具体例からそのしくみを解明し、個人・組織・社会の変容を促すための多彩な取り組みを紹介する。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:5./ 357p
978-4-309-23133-4
¥2,970〔税込〕

**そして私たちの物語は世界の物語の一部となる～インド北東部女性作家アンソロジー～**

ウルワシ・ブタリア 編
国書刊行会
バングラデシュ、ブータン、中国、ミャンマーに囲まれ、さまざまな文化や慣習が隣り合うヒマラヤの辺境。きわ立ってユニークなインド北東部の女性作家たちによるアンソロジー。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:5./ 286p
978-4-336-07441-6
¥2,640〔税込〕

**泉鏡花集成<1>(ちくま文庫)**

泉鏡花、種村季弘 著
筑摩書房
日本経済新聞 2023/07/15

1996:8./ 515p
978-4-480-03171-6
¥1,210〔税込〕

**風邪の効用(ちくま文庫)**

野口 晴哉 著
筑摩書房
本書は、「闘病」という言葉に象徴される現代の病気に対する考え方を一変させる。風邪を通して、人間の心や生き方を見つめた野口晴哉の名著。

日本経済新聞 2023/07/15

2003:2./ 212p
978-4-480-03807-4
¥704〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**82 年生まれ、キム・ジヨン(ちくま文庫　ち 19-1)**

チョ・ナムジュ 著

筑摩書房

ある日突然、自分の母親や友人の人格が憑依したかのようなキム・ジヨン。誕生、学生時代、就職、結婚、育児…。彼女の人生を克明に振り返る中で、女性の人生に立ちはだかる困難と差別を描く。著者からのメッセージも収録。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:2./ 255p
978-4-480-43858-4
¥748〔税込〕

**1973 年に生まれて～団塊ジュニア世代の半世紀～**

速水 健朗 著

東京書籍

50 代に突入した 1973 年生まれの団塊ジュニア世代。彼らが生きてきた 1970 年代から 2020 年代にわたる、日本社会、メディア、生活の変遷を、圧巻の構想力と詳細なディテールで描く年代記。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:7./ 271p
978-4-487-81468-8
¥1,540〔税込〕

**幻のユキヒョウ～双子姉妹の標高 4000m 冒険記～**

ユキヒョウ姉妹（木下こづえ・木下さとみ） 著

扶桑社

絶滅の危機に瀕するユキヒョウとはどんな動物なのか? 生息地で暮らす人々にはどんな文化があるのか? 動物研究者の双子の姉とコピーライターの妹が、自身のユキヒョウの保全活動の取り組みを紹介する。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:4./ 190p
978-4-594-09401-0
¥1,760〔税込〕

**虫たちの日本中世史～『梁塵秘抄』からの風景～(叢書・知を究める　19)**

植木　朝子 著

ミネルヴァ書房

さまざまな文学・芸能・信仰などに現れる虫の姿に導かれながらたどる日本中世史。平安時代末の流行歌今様を出発点に、中世の人々と虫の関わりを追いかけ、小さな虫の世界から覗いた中世の風景の豊かな世界を切り取る。

日本経済新聞 2023/07/15

2021:3./ 6p,327p,11p
978-4-623-09058-7
¥3,300〔税込〕

**モデルナ～万年赤字企業が、世界を変えるまで～**

ピーター・ロフタス 著

草思社

治療薬の開発の野望を掲げ 2010 年に創業したモデルナは、実現しない治療薬開発の優先度を下げ、ワクチンで成果を出すことに方針を転換。新型コロナワクチンを開発したモデルナのビジネスマインドを徹底解明する。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:6./ 475p
978-4-7942-2656-3
¥2,530〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**洲浜論**

原瑠璃彦／原瑠璃彦 著
作品社
平安時代には盛んに用いられるも、時代が進むにつれて周縁的なものとなっていった<洲浜>というモティーフ。日本文化の至るところに継承される州浜の表象の多様な展開を跡付け日本文化史を新たな視点から読み直す。年表付き。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:6./ 463p
978-4-86182-978-9
¥3,960〔税込〕

**心霊スポット考～現代における怪異譚の実態～**

及川祥平 著
アーツアンドクラフツ
心霊スポットを、文化の問題として民俗学の立場から考察。ある場所を心霊スポットと呼びながら、そこに恐ろしげな物語を想像する人間の営み、またそうした場所への興味関心を包摂するこの世界・世相のあり方について論じる。

日本経済新聞 2023/07/15

2023:6./ 308p
978-4-908028-85-4
¥3,300〔税込〕

**明治大正昭和化け込み婦人記者奮闘記**

平山　亜佐子 著
左右社
日本の新聞黎明期。女だからと侮られ回ってくるのは雑用ばかり。そんな婦人記者たちは己の体一つで変装潜入ルポ(化け込み記事)へ向かい-。明治末期～昭和初期の婦人記者とそれぞれの企画を紹介し彼女らの本音と葛藤に迫る。

日本経済新聞 2023/07/15、朝日新聞 2023/07/22

2023:6./ 287p
978-4-86528-373-0
¥2,200〔税込〕

**持続可能な発展の話～「みんなのもの」の経済学～(岩波新書 新赤版 1974)**

宮永 健太郎 著
岩波書店
あふれるごみ、とまらない温暖化、生物多様性と水の危機…。一人ひとりでは解決できない環境問題を、<環境と経済>の視点から解きほぐし、SDGs へのさまざまな取り組みを意味あるものにする道を指し示す。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:5./ 14p,210p,6p
978-4-00-431974-0
¥1,034〔税込〕

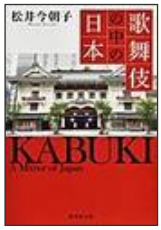
**人口亡国～移民で生まれ変わるニッポン～(朝日新書　910)**

毛受敏浩 著
朝日新聞出版
人口激減を迎え、移民問題を正面から議論することができないまま、在留外国人なしには社会が回らなくなりつつある日本。なぜ日本では移民がタブーになったのか。現代日本が陥る「ジレンマ」から抜け出す方途を徹底検証する。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 254p
978-4-02-295224-0
¥935〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO



**歌舞伎の中の日本(集英社文庫　ま 14-7)**

松井 今朝子 著

集英社

歌舞伎はどんな芸能で、どのように鑑賞すればいいのか。主要な 10 演目を年代順に取り上げ、成立した時代背景や見どころ、作劇法などを紹介。「舞踊」も詳しく解説し、総合芸術である歌舞伎の実体を立体的に浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 285p
978-4-08-744540-4
¥880〔税込〕

**老人と海(新潮文庫　へ-2-4)**

アーネスト・ヘミングウェイ 著

新潮社

84 日間の不漁に見舞われた老漁師は、ひとり小舟で海へ出た。やがてその釣綱に、大物の手応えが。見たこともない巨大カジキとの死闘を繰り広げた老人に、海はさらなる試練を課すのだが…。世界文学の金字塔を新訳。

日本経済新聞 2023/07/22

2020:7./ 191p
978-4-10-210018-9
¥572〔税込〕

**狭間の者たちへ**

中西 智佐乃 著

新潮社

保険営業所に勤める藤原は、通勤電車で見かける少女に「元気」をもらっていたが-。痴漢加害者の心理を容赦なく晒す表題作と、新潮新人賞を受賞したデビュー作「尾を喰う蛇」を収録する。『新潮』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 247p
978-4-10-355111-9
¥1,980〔税込〕

**諜報国家ロシア～ソ連 KGB からプーチンの FSB 体制まで～(中公新書 2760)**

保坂三四郎 著

中央公論新社

国際法を無視したウクライナ侵攻の裏には何があるのか。ウクライナで近年公開された KGB の極秘文書、反体制派やハッカーによるリーク情報、最新のインテリジェンス研究から、「諜報国家」ロシアの社会構造と行動原理に迫る。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 8p,298p
978-4-12-102760-3
¥1,078〔税込〕

**亡霊の地**

陳　思宏 著

早川書房

ベルリンで同性の恋人を殺した天宏は刑期を終え、故郷の台湾の村に帰る。中元節を迎えていた村では死者の霊も舞い戻り…。生者と死者の語りで、天宏が恋人を殺した理由や、過ぎ去りし時代の恐怖と無情が明らかになっていく。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:5./ 422p
978-4-15-210239-3
¥3,850〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**経済兵器～現代戦の手段としての経済制裁～**

ニコラス・ミュルデル 著

日経ＢＰ社

第一次大戦後から第二次世界大戦勃発までの 30 年間に、どのように経済制裁が生まれ、現代のような形に発展してきたのか。英米仏の制裁主義者、国際主義者らの議論や各国の思惑を膨大な資料をもとに米国人歴史学者が描く。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 531p
978-4-296-00106-4
¥4,950〔税込〕

**吹雪**

ウラジーミル・ソローキン 著

河出書房新社

人間がゾンビ化する「黒い病」のワクチンを村に届けるため、インテリ地方医師は、御者が操るソリ車で旅に出る。吹き荒れる嵐のなか、二人はいつしか暗闇と吹雪の世界に迷いこみ…。奇妙奇天烈な近未来ロードノヴェル。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:5./ 231p
978-4-309-20881-7
¥3,190〔税込〕

**「ものづくり」のジェンダー格差～フェミナイズされた手仕事の言説をめぐって～**

山崎 明子 著

人文書院

手芸、内職、工芸…。近代以降の社会の中に点在してきた様々なものづくりを、その時代の枠組み、生み出された言説やイメージ、そしてそこに生きた人々のジェンダーや社会階層に注目しながら論じる。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:5./ 286p
978-4-409-24156-1
¥4,950〔税込〕

**中野好夫論～「全き人」の全仕事をめぐって～**

岡村 俊明 著

法政大学出版局

戦後日本を代表する翻訳者・文学者であり、いかなる権威にも媚びない在野的知識人であった中野好夫。その膨大な著作群をどう読むべきか。英文学研究から市民運動に及ぶその仕事の全体像を、彼自身の言葉を通して振り返る。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 22p,544p,12p
978-4-588-46021-0
¥5,170〔税込〕

**ルース・ベイダー・ギンズバーグ～信念は社会を変えた!～**

ジェフ・ブラックウェル／ルース・ホブディ 編

あすなろ書房

その揺るがぬ信念を支えるものとは? 女性弁護士が全米にまだ 3%しか存在しない時代に法曹界を志し、不屈の闘志で平等の実現に人生を捧げてきたルース・ベイダー・ギンズバーグのインタビューなどを収録する。

日本経済新聞 2023/07/22

2020:10./ 85p
978-4-7515-3003-0
¥1,100〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

## 信頼の経済学～人類の繁栄を支えるメカニズム～

ベンジャミン・ホー 著
慶應義塾大学出版会
少人数の集まりから巨大な社会を築く根底には「信頼」のメカニズムが働いており、市場・法の支配から科学・気候問題まで、信頼なくしては存立しない。気鋭の経済学者が人類はいかにして互いを信頼するようになったかを論じる。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 4p,332p
978-4-7664-2882-7
¥3,520〔税込〕

## スポーツと LGBTQ+～シスジェンダー男性優位文化の周縁～

岡田　桂／山口　理恵子／稲葉　佳奈子 著
晃洋書房
「ジェンダー平等」が原理的に困難なスポーツにおいて、ジェンダーの問題はどのようにあらわれ、特に性的マイノリティをめぐってどのように変化しているのか。スポーツ界のより本質的な多様さと共存に向けた可能性を考える。

日本経済新聞 2023/07/22

2022:9./ 9p,196p
978-4-7710-3651-2
¥2,530〔税込〕

## 国産 RPG クロニクル～ゲームはどう物語を描いてきたのか?～

渡辺範明 著
イースト・プレス
ゲームシステム・世界観・制作体制に注目し、国民的 RPG、ドラゴンクエストとファイナルファンタジーの功績をあらためて検証する。TBS ラジオ「アフター6 ジャンクション」の内容をもとに書籍化。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 335p
978-4-7816-2214-9
¥1,980〔税込〕

## ヒトは軍用 AI を使いこなせるか～新たな米中覇権戦争～

ジェームズ ジョンソン 著
並木書房
大国どうしの AI の軍備競争が本格化し、戦争の様相は大きく変わろうとしている。気鋭の戦略研究者が、AI 兵器が従来の核抑止論を根底から覆すメカニズムについて未来戦のシナリオを交えながら解き明かす。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:6./ 361p
978-4-89063-435-4
¥2,420〔税込〕

## カメラを止めて書きます

ヤン ヨンヒ 著
クオン
家族を撮り続けることは自分への問いかけ-。映画監督ヤンヨンヒが、自らの家族にカメラを向けた<家族ドキュメンタリー映画 3 部作>のビハインドストーリーや、撮り続けるなかで感じる想いを、率直な語り口で綴る。

日本経済新聞 2023/07/22

2023:4./ 248p
978-4-910214-49-8
¥2,200〔税込〕

**アナロジア～AI の次に来るもの～**

ジョージ・ダイソン 著

早川書房

0 と 1 で世界を記述することは本当に可能か。デジタルの限界が露わになる時、アナログの秘めたる力が回帰する-。科学史家が博覧強記を揮い、ライプニッツからポスト AI まで、自然・人間・機械のもつれあう運命を描く。

日本経済新聞 2023/07/29

2023:5./ 382p
978-4-15-210237-9
¥3,300〔税込〕

**ずかん世界のくつ・はきもの～見ながら学習調べてなっとく～**

監修／鈴木 絵美留 著

技術評論社

エジプトのパピルスサンダル、オランダのクロンペン、日本の下駄…。世界のくつ・はきものを鮮明な写真で紹介します。童話や伝説のくつ・はきものに関するコラムも掲載。スリッパ等の型紙がダウンロードできる QR コード付き。

日本経済新聞 2023/07/29

2021:9./ 127p
978-4-297-12281-2
¥2,948〔税込〕

**ヒゲの文化史～男性性/男らしさのシンボルはいかにして生まれたか～**

クリストファー・オールドストーン＝ムーア 著

ミネルヴァ書房

男性のヒゲは時代とともに様々な変化を遂げてきた。紀元前から現代に至るまで、歴史家ならではの長期的視野から西洋におけるヒゲの興隆と衰退のサイクルを描出し、男性性の歴史的変遷を明らかにする。

日本経済新聞 2023/07/29

2023:7./ 10p,283p,50p
978-4-623-09438-7
¥4,950〔税込〕

**未来を変えるコーチング(Discover コーチング選書)**

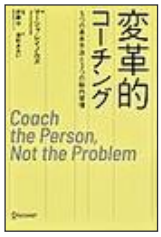
ヘスン・ムーン、伊藤　守、田村　加代 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

コーチングに留まらず、部下・同僚や顧客との対話、子供との対話にまで使える「対話」の教科書。過去を資産にし、望ましい未来を設計する対話によるストーリーづくりの基本を解説する。各章末に自己対話のためのヒントも掲載。

日本経済新聞 2023/07/29

2023:6./ 295p
978-4-7993-2943-6
¥2,530〔税込〕



**変革的コーチング～5 つの基本手法と 3 つの脳内習慣～(Discover コーチング選書)**

マーシャ・レイノルズ、伊藤　守、深町　あおい 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

コーチングとは質問をし続けることではなく、探究のプロセスのこと。世界のトップコーチ 30 の 1 人に選ばれた組織心理学博士が、<内省的探求>という方法を用いてクライアントに気づきと変革をもたらす対話の全技術を公開。

日本経済新聞 2023/07/29

2023:6./ 337p,5p
978-4-7993-2956-6
¥2,750〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**それでも、対話をはじめよう～対立する人たちと共に問題に取り組み、未来をつくりだす方法～**

アダム・カヘン 著
英治出版
私たちが複雑な問題について生産的に話し合えないのは、聞くことができないからだ-。世界的ファシリテーターが、自身の経験をもとに、行き詰まった問題を乗り越えて前へ進むための 4 つの話し方・聞き方を解き明かす。

日本経済新聞 2023/07/29

2023:7./ 229p
978-4-86276-319-8
¥2,310〔税込〕

**ガラスの天井を破る戦略人事～なぜジェンダー・ギャップは根強いのか、克服のための 3 つの視点～**

コリーン・アマーマン／ボリス・グロイスバーグ／藤原朝子 著
英治出版
職場におけるジェンダー・ギャップはなぜ根強いのか? ハーバード大学教授らが膨大な研究結果と事例を参照し、その背景をクリアに描き、問題を克服する実行可能な処方箋も提示する。人的資本経営、ESG 経営のための一冊。

日本経済新聞 2023/07/29

2023:6./ 381p
978-4-86276-330-3
¥2,420〔税込〕

**フィッティングルーム～<わたし>とファッションの社会的世界～**

小野瀬慶子 著
アダチプレス
<わたし>はファッションに何を求め、何をつくり出そうとしてきたのか。ファッションを支配するシステムへの葛藤と挑戦をつぶさに描き、個人的な経験を 43 の光景によって世界にひらく、オートエスノグラフィー。

日本経済新聞 2023/07/29

2023:6./ 342p
978-4-908251-17-7
¥2,420〔税込〕

**手ごわい問題は、対話で解決する～アパルトヘイトを解決に導いたファシリテーターの物語～**

アダム・カヘン、ヒューマンバリュー 著
ヒューマンバリュー
南アフリカのアパルトヘイト、コロンビアの内戦、パレスチナの紛争など、世界的な難題に取り組んできた著者が、失敗や成功の豊富な経験をもとに、「話し方」や「聴き方」といった対話の本質について語る。

日本経済新聞 2023/07/29

2008:10./ 226p
978-4-9903298-4-6
¥1,760〔税込〕

**大泉黒石～わが故郷は世界文学～**

四方田 犬彦 著
岩波書店
ロシア人を父に持ち、『中央公論』連載の「俺の自叙伝」で話題を呼ぶも、文壇から追放されて零落の晩年を過ごした大正時代のベストセラー作家、大泉黒石。その波瀾万丈の人生を綴った初の評伝。『図書』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/07/01

2023:4./ 6p,214p,7p
978-4-00-061593-8
¥2,750〔税込〕

**海のアルメニア商人～アジア離散交易の歴史～(集英社新書　1160)**

重松 伸司 著

集英社

ジェノサイドから逃れるために、世界各地に離散したアルメニア人は、近世では「陸の巡回商人」として活躍し、近代では「海の商人」に変貌した。アルメニア商人たちの姿をアジア交易の視点から鮮やかに描き出す。

毎日新聞 2023/07/01

2023:4./ 203p
978-4-08-721260-0
¥1,155〔税込〕

**徳川家康の名宝～国宝久能山東照宮所蔵～**

小学館

スペイン国王から贈られた洋時計、メガネ、鉛筆といった遺愛品や、古文書、筆づかい、愛刀、薬の調合などから、徳川家康の生涯、生き様に迫る。鼎談「「神君家康公」を語る なぜ、久能山に葬るように遺言したのか?」も収録。

毎日新聞 2023/07/01

2023:5./ 127p
978-4-09-682428-3
¥2,420〔税込〕

**今日もごちそうさまでした(新潮文庫　か-38-10)**

角田　光代 著

新潮社

自他共に認める肉好きの著者カクタさんに、食革命が起こった。苦手だった野菜が、きのこが、青魚が食べられる! 買って作って味わう毎日を楽しい発見で彩ります。読むほどに、次のごはんが待ち遠しくなる絶品食エッセイ。

毎日新聞 2023/07/01

2014:8./ 266p
978-4-10-105830-6
¥572〔税込〕

**文庫の読書(中公文庫　あ 96-2)**

荒川洋治 著

中央公論新社

いつもそばに文庫本があった-。文庫愛好歴 60 年の現代詩作家が、読んで書いた文庫をめぐるエッセイを自ら厳選。文庫愛読者のための文庫案内全 100 冊。

毎日新聞 2023/07/01

2023:4./ 313p
978-4-12-207348-7
¥990〔税込〕

**チャット GPT vs.人類(文春新書　1413)**

平 和博 著

文藝春秋

驚くほどの情報量を瞬時に処理し、「人間のような自然な応答」を返すチャットGPT。人びとの日常生活を根底から変えうるテクノロジーの「凄さ」と「怖さ」を伝える。著者ブログなどをもとに大幅に加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/07/01

2023:6./ 222p
978-4-16-661413-4
¥990〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**シンデレラの罠(創元推理文庫 M シ 2-1)**

セバスチアン・ジャプリゾ、平岡　敦 著
東京創元社
火事で顔も記憶も失ったわたしは、皆の言うように大金持ちの伯母から遺産を相続するミなのか? 焼死した娘がミで、わたしはドなのではないか? わたしは探偵で犯人で被害者で証人なのだ-。ミステリの傑作。

毎日新聞 2023/07/01

2012:2./ 283p
978-4-488-14206-3
¥814〔税込〕

**日本の水商売～法哲学者、夜の街を歩く～**

谷口 功一 著
ＰＨＰ研究所
すすきの、弘前、銀座、甲府、浜松、小倉、別府…。2021 年 10 月から 2022 年 12 月までの 1 年余り、コロナ禍の夜の街をめぐり歩いた法哲学者が、そこで営まれる水商売の姿を描き出す。『Voice』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/07/01

2023:4./ 221p
978-4-569-85445-8
¥1,760〔税込〕

**ブレん人**

呂布カルマ 著
コスミック出版
柄シャツにオールバックの強面。職業はラッパー。呂布カルマの言動の根っこには「努力の才能がない」「コスプレと本物」「目標を定めない」など独自の人生哲学があった。呂布カルマが自身の頭の中を惜しみなくさらけ出す。

毎日新聞 2023/07/01

2023:6./ 166p
978-4-7747-9287-3
¥1,540〔税込〕

**蚊が歴史をつくった～世界史で暗躍する人類最大の敵～**

ティモシー・ワインガード 著
青土社
世界には 110 兆匹の蚊が生息し、毎年 83 万人が蚊が媒介する病気により命を落としている。ローマ帝国の興亡、南北戦争、第 2 次世界大戦…。蚊が人類の歴史に与えたインパクトを明らかにする。

毎日新聞 2023/07/01

2023:5./ 578p,15p
978-4-7917-7548-4
¥3,960〔税込〕

**江戸の絵本読解マニュアル～子どもから大人まで楽しんだ草双紙の読み方～**

叢の会 編
文学通信
京都・大坂の上方を追いかけ、文化を発展させてきた江戸で、江戸独自の性格を持つ絵本「草双紙」が登場した。草双紙とはどのようなものか。どのような作品があり、そこから何が読み取れるのか…。草双紙の味わい方を伝える。

毎日新聞 2023/07/01

2023:4./ 302p
978-4-86766-007-2
¥2,310〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**世間と人間　復刻版**

本橋由紀、若林高子 編
三淵忠彦 著
鉄筆
初代最高裁判所長官・三淵忠彦が昭和 25 年に出版した随筆集を完全復刻。忠彦の孫(若林高子)とひ孫(本橋由紀)、2 人のジャーナリストによる研究論文を新たに書き下ろし収録。

毎日新聞 2023/07/01

2023:5./ 261p
978-4-907580-25-4
¥3,080〔税込〕

**ありふれた金庫(ネコノス文庫　シリーズ百字劇場 キ 1-1)**

北野勇作 著
ネコノス
たった百字で小説が書ける? <ほぼ百字小説>をライフワークとする SF 界のレジェンドが Twitter で毎日発表している 4 千を超える作品から、珠玉のマイクロノベルを収録する。

毎日新聞 2023/07/01

2023:3./ 207p
978-4-910710-08-2
¥1,210〔税込〕

**客観性の落とし穴(ちくまプリマー新書　427)**

村上 靖彦 著
筑摩書房
その考えは客観的なもの? エビデンスはある? こうした考え方が社会に広がった原因を考察。数字への素朴な信仰、数値化できないはずのものを数字へと置き換えようとする傾向を問い直し、失われたものを明らかにする。

毎日新聞 2023/07/01、朝日新聞 2023/07/22

2023:6./ 191p
978-4-480-68452-3
¥880〔税込〕

**私説ドナルド・キーン**

角地 幸男 著
文藝春秋
ドナルド・キーンが知りたければ、その作品と直に向きあうほかない-。40 年来の友人で、晩年の 20 年を翻訳者として伴走した著者が、評伝と作品論を綴る。『文學界』ほか掲載に講演や書下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2023/07/01、日本経済新聞 2023/07/29

2023:6./ 285p
978-4-16-391711-5
¥2,310〔税込〕

**密室ミステリガイド(星海社新書 263)**

飯城 勇三 著
星海社
「モルグ街の殺人」から始まる海外 20 作と、「本陣殺人事件」から始まる国内 30 作の密室ミステリのベスト 50 を厳選。問題篇ではネタバレなし・図版付きで紹介し、解決篇ではネタバラシしながら考察する。

毎日新聞 2023/07/02

2023:6./ 263p
978-4-06-532217-8
¥1,650〔税込〕

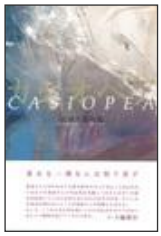

MARUZEN-YUSHODO

**流転の月～柳原白蓮ノート～**

中西　洋子 著
KADOKAWA
歌人・柳原白蓮の短歌の全貌と真諦に迫る。因襲にみちた再婚生活を脱ぎ捨て、遭遇する波乱多き生涯にわたり歌い続けた作品群。後半生に至り、自然の中に自分の存在を見出すまでに昇華してゆく歌風の変遷を論じる。

毎日新聞 2023/07/03

2023:5./ 264p
978-4-04-884524-3
¥3,300〔税込〕



**カシオペア～向瀬美音句集～**

向瀬美音 著
ふらんす堂
美しき星を探して春立つ日 寒戻る世界史をまた読み返し 並びたる銀輪滑る刈田道 大ぶりの真珠のピアス初句会 これまでに作った句を季節順に編纂した第 2 句集。

毎日新聞 2023/07/03

2022:12./ 228p
978-4-7814-1502-4
¥3,080〔税込〕

**落合直文の百首～短歌の最初の一滴～(歌人入門 7)**

梶原さい子 著
ふらんす堂
名もしれぬちひさき星をたづねゆきて住まばやと思ふ夜半もありけり おなじ世にたまたま君と生れきてともに歌よみともに萩見る 落合直文の短歌を百首取り上げ、一首ずつ丁寧に読みとく。巻末に解説も収録。

毎日新聞 2023/07/03

2023:5./ 203p
978-4-7814-1556-7
¥1,870〔税込〕

**ルンルンを買っておうちに帰ろう(角川文庫)**

林　真理子 著
角川書店
モテたいやせたい結婚したい。いつの時代にも変わらない女の欲、そしてヒガミ、ネタミ、ソネミ。口には出せない女の本音を代弁し、読み始めたら止まらないと大絶賛を浴びた、抱腹絶倒のデビューエッセイ集。

毎日新聞 2023/07/08

1985:11./ 238p
978-4-04-157904-6
¥484〔税込〕

**激ヤバ**

伊藤幸司 著
KADOKAWA
初めて綴る、最後の M-1、母、相方のこと…。お笑いコンビ「ランジャタイ」伊藤による自伝的エッセイ集。『JASON RODMAN』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2023/07/08

2023:5./ 237p
978-4-04-681542-2
¥1,760〔税込〕

**白い人/黄色い人(講談社文芸文庫)**

遠藤 周作 著
講談社
毎日新聞 2023/07/08

1996:4./ 261p
978-4-06-196365-8
¥1,320〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**日本エッセイ小史～人はなぜエッセイを書くのか～**

酒井 順子 著

講談社

「昭和軽薄体」のブーム、芸能人エッセイの人気、高齢者エッセイの百花繚乱ぶり…。時代を彩った 160 余作品をひもときながら、エッセイストがエッセイについて縦横無尽に語り尽くす。『小説現代』連載を改題、再構成。

毎日新聞 2023/07/08

2023:4./ 223p
978-4-06-531006-9
¥1,760〔税込〕

**テレワァク与太話(モーニング　KC)**

山田 金鉄 著

講談社

これは、一人の男がテレワークをきっかけに未来の妻と出会い、七転八倒を経て結婚するまでのお話。

毎日新聞 2023/07/08

2023:5./ 192p
978-4-06-531643-6
¥748〔税込〕

**夜と霧の隅で 改版(新潮文庫 き-4-1)**

北 杜夫 著

新潮社

ナチスの指令に抵抗する精神科医たちの苦悩と苦闘を描き、極限状況における人間の不安、矛盾を追究した表題作をはじめ、「岩尾根にて」「羽蟻のいる丘」など初期作品全 5 編を収録する。

毎日新聞 2023/07/08

2013:8./ 299p
978-4-10-113101-6
¥649〔税込〕

**ヨーロッパ退屈日記(新潮文庫)**

伊丹 十三 著

新潮社

1961 年、俳優としてヨーロッパに長期滞在した著者は、語学力と幅広い教養を武器に、当地での見聞を洒脱な文体で綴り始めた。上質のユーモアと、見識という名の背骨を通した文章は、戦後日本に初めて登場した本格的な「エッセイ」だった。

毎日新聞 2023/07/08

2005:3./ 304p
978-4-10-116731-2
¥649〔税込〕

**苦役列車(新潮文庫　に 23-4)**

西村 賢太 著

新潮社

友もなく、女もなく、1 杯のコップ酒を心の慰めに、その日暮らしの港湾労働で生計を立てている 19 歳の貫多。或る日、彼の生活に変化が訪れたが…。「落ちぶれて袖に涙のふりかかる」を併録。

毎日新聞 2023/07/08

2012:4./ 170p
978-4-10-131284-2
¥539〔税込〕



MARUZEN-YUSHODO

**リアリティ+〜バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦〜<上>**

デイヴィッド・Ｊ・チャーマーズ 著
ＮＨＫ出版
私たちがいるこの世界は本物なのだろうか? それが「確か」だとなぜわかるのか? シミュレーション仮説など様々な思考実験を元に新たな「現実」に迫り、根本から思考の転換をうながす哲学的議論。

毎日新聞 2023/07/08

2023:3./ 413p
978-4-14-081936-4
¥2,640〔税込〕

**リアリティ+〜バーチャル世界をめぐる哲学の挑戦〜<下>**

デイヴィッド・Ｊ・チャーマーズ 著
ＮＨＫ出版
バーチャル世界の中の人生に意味はあるのか? AR で拡張された心も「心」といえるのか? シミュレーション仮説など様々な思考実験を元に新たな「現実」に迫り、根本から思考の転換をうながす哲学的議論。

毎日新聞 2023/07/08

2023:3./ 333p
978-4-14-081937-1
¥2,530〔税込〕

**ひとりあそびの教科書(14 歳の世渡り術)**

宇野 常寛 著
河出書房新社
ランニング、虫採り、旅、ゲーム…。「ひとり」で「あそぶ」からこそ見えてくるもの、触れられるものは、たくさんある-。人気評論家が中学生に向け、あそびに夢中になれば、自分の世界はずっと深く楽しくなることを伝える。

毎日新聞 2023/07/08

2023:4./ 221p
978-4-309-61750-3
¥1,562〔税込〕

**徳川家康と武田勝頼(幻冬舎新書　ひ-10-1)**

平山 優 著
幻冬舎
徳川家康の生涯における最強の宿敵・武田勝頼。2 人の熾烈な対決は、実に 9 年にも及んだ。長篠合戦の勝敗を分けた「意外な要因」とは? 武田氏研究の第一人者が、家康と戦国最強軍団との死闘の真実に迫る。

毎日新聞 2023/07/08

2023:5./ 277p
978-4-344-98695-4
¥1,078〔税込〕

**日本とはなにか〜日本民族学の二〇世紀〜**

ヨーゼフ・クライナー 編
東京堂出版
20 世紀を通じた両みんぞく学のパラダイムとその変容を代表する 5 人の研究者、鳥居龍蔵、澁澤敬三、梅棹忠夫、金関丈夫、佐々木高明の業績をおう。平成 25 年 10 月の国際シンポジウムの報告をまとめる。

毎日新聞 2023/07/08

2014:3./ 390p
978-4-490-20860-3
¥8,250〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**アードルフ・ヒトラー～ある独裁者の伝記～**

ハンス＝ウルリヒ・ターマー 著

法政大学出版局

無職の青年は、どうやって大衆の指導者に上りつめたのか。なぜ政治的に未知数の人間が強大な権力を手にし、とてつもない破壊を引き起こしたのか。ヒトラーの生涯を、徹底した自己演出と巧みな政治スタイルに着目して描き出す。

毎日新聞 2023/07/08

2023:4./ 7p,331p,30p
978-4-588-36610-9
¥4,180〔税込〕

**応答、しつづけよ。**

ティム・インゴルド 著

亜紀書房

現代の人類学を牽引する思想家が、随筆、批評、寓話、詩など、さまざまな形式を駆使して、アート、建築、デザインを論じる。全 27 篇のエッセイを収録。モノとの「応答」を通じて物事を知ることを探るプロジェクトの成果。

毎日新聞 2023/07/08

2023:5./ 415p
978-4-7505-1764-3
¥3,080〔税込〕

**図解世界遺産ル・コルビュジエの小屋ができるまで～カップ・マルタンの休暇小屋、現地実測図面集～**

藤原 成暁／八代 克彦 著

エクスナレッジ

世界遺産にも指定されている、ル・コルビュジエの終の棲家カップ・マルタンの休暇小屋を、フランスでの実測から日本での建築までまとめる。詳細な設計図書を多数掲載し、この建物の魅力についても詳しく解説する。

毎日新聞 2023/07/08

2023:3./ 263p
978-4-7678-3051-3
¥2,860〔税込〕

**タイミングの社会学～ディテールを書くエスノグラフィー～**

石岡丈昇 著

青土社

マニラの貧困地区で、何が起こるかわからない明日を待ち、絶えざる今を生きのびるとはどういうことか。社会学者である著者がおこなってきたフィールドワークの成果を、時間論の観点からまとめる。

毎日新聞 2023/07/08

2023:5./ 395p,15p
978-4-7917-7556-9
¥3,080〔税込〕

**はーばーらいと**

吉本ばなな 著

晶文社

彼女を好きだったのかもしれない、と本気で思った。でも、彼女はもうこの町にいない-。信仰と自由、初恋と友情、訣別と回復。淡々と歌うように生きるさまが誰かを救う、書き下ろし小説。

毎日新聞 2023/07/08

2023:6./ 154p
978-4-7949-7367-2
¥1,650〔税込〕

**台湾原住民文学への扉～「サヨンの鐘」から原住民作家の誕生へ～**

下村 作次郎 著

田畑書店

1980 年代末に民主化運動の波のなかから生まれた台湾原住民文学。漢人と日本人からの支配によってゆがめられてきた原住民の悲しみと、秘められた豊かさに真正面から向き合い続けてきた第一人者による研究の成果をまとめる。

毎日新聞 2023/07/08

2023:4./ 588p
978-4-8038-0407-2
¥9,900〔税込〕

**山上徹也と日本の「失われた 30 年」**

五野井 郁夫／池田 香代子 著

集英社インターナショナル

山上徹也のものとされるツイートを精査し見えてくるのは、宗教 2 世の逆襲という表層的な理解にとどまらず、ロスジェネと呼ばれる世代の絶望感、悲壮感であった。彼の悲痛な叫びから、この 30 年の現代日本の問題をあぶり出す。

毎日新聞 2023/07/08、東京・中日新聞 2023/07/09

2023:3./ 174p
978-4-7976-7427-9
¥1,760〔税込〕

**アジアを生きる(集英社新書 1163)**

姜 尚中 著

集英社

朝鮮戦争勃発の年に生まれ、「内なるアジア」と格闘し続けてきた思想家が、自らの学問と実人生の土台を根本から見つめ直した一冊。世界が真の普遍性と共存に至る道は、「アジア的なもの」を潜り抜けることしかないと語る。

毎日新聞 2023/07/15

2023:5./ 218p
978-4-08-721263-1
¥990〔税込〕

**M**

岩城 けい 著

集英社

オーストラリアで 22 歳の大学生になった真人は、人形作家のアビーと出会う。日本人としてのアイデンティティの問題に苦しんできた真人のように、アビーも出自について葛藤を抱えていて…。『すばる』掲載を改題し単行本化。

毎日新聞 2023/07/15

2023:6./ 227p
978-4-08-771818-8
¥1,815〔税込〕

**関東軍～満洲支配への独走と崩壊～(中公新書　2754)**

及川琢英 著

中央公論新社

日本政府・陸軍中央の統制から外れて行動し、多くの謀略に関与した関東軍はどのようにして生まれたのか。軍事・外交史研究、中国側の史料を踏まえ、組織制度、軍人たちの個人的特性、満洲の現地勢力との関係から解き明かす。

毎日新聞 2023/07/15

2023:5./ 5p,303p
978-4-12-102754-2
¥1,012〔税込〕

**終着駅　新装版(河出文庫　み 4-5)**

宮脇 俊三 著
河出書房新社
鉄道を最果てまで乗り尽くした著者が書き残していた、終着駅への旅路-。デビュー作「時刻表 2 万キロ」と「最長片道切符の旅」の間に執筆された幻の連載「終着駅」をはじめ、単行本未収録作品を集成。

毎日新聞 2023/07/15

2023:1./ 232p
978-4-309-41944-2
¥990〔税込〕

**パズルで解く世界の言語～言語学オリンピックへの招待～**

国際言語学オリンピック日本委員会 著
研究社
知らない言語を解読して、隠された法則を解き明かそう! 世界の 47 言語を題材にしたパズルを掲載。言語学に関するマメ知識も紹介する。書き込みページあり。日本言語学オリンピック過去問(4 言語)のダウンロード付録付き。

毎日新聞 2023/07/15

2023:6./ 8p,148p
978-4-327-39442-4
¥1,760〔税込〕

**園井恵子～原爆に散ったタカラジェンヌの夢～**

千和裕之 著
国書刊行会
宝塚少女歌劇で活躍後、名作映画「無法松の一生」のヒロインを演じ未来の大女優を嘱望されながら、広島の原爆に斃れた園井恵子。時代に果敢に挑み、32 年の人生を駆け抜けた彼女の生涯をたどる。

毎日新聞 2023/07/15

2023:4./ 419p
978-4-336-07466-9
¥3,080〔税込〕

**EYE YONEYAMA MAI～米山舞作品集～**

米山舞 著
パイインターナショナル
映画「プロメア」、「サイバーパンク:エッジランナーズ」など、アニメ・イラスト業界で活躍している米山舞。アニメーター出身ならではの、感情や動きの流れを感じさせるイラスト作品 150 点を収録。

毎日新聞 2023/07/15

2023:5./ 263p
978-4-7562-5387-3
¥3,850〔税込〕

**観光客の哲学　増補版(ゲンロン叢書　013)**

東 浩紀 著
ゲンロン
観光客であること、すなわち、「ゆるく」考え「ゆるく」つながっていくことを肯定する哲学の書。「観光客」と「家族」を鍵概念に、新しい政治思想の足がかりと、他者とともに生きる道を模索する。新章を増補。

毎日新聞 2023/07/15

2023:6./ 419p
978-4-907188-49-8
¥2,640〔税込〕

**日本居酒屋遺産<西日本編>**

太田和彦 著
トゥーヴァージンズ
創業が古く昔のままの建物、代々変わらずに続けている居酒屋、庶民の店を守っている老舗-。京極スタンド(京都市)、酒房武蔵(北九州市)など、次世代に残すべき西日本の名居酒屋 10 軒を紹介。東日本の名居酒屋 1 軒を補遺。

毎日新聞 2023/07/15

2023:6./ 223p
978-4-910352-57-2
¥2,420〔税込〕

**ごまかさないクラシック音楽(新潮選書)**

岡田 暁生／片山 杜秀 著
新潮社
ベートーヴェンは西側民主主義のインフルエンサー。バッハは戦闘的なキリスト教伝道者-。古楽から、古典派、ロマン派、国民楽派、そして現代音楽までを総ざらいし、名曲に秘められた「危険な思想」を語り尽くす。

毎日新聞 2023/07/15、東京・中日新聞 2023/07/23

2023:3./ 342p,7p
978-4-10-603896-9
¥2,090〔税込〕

**風にのってきたメアリー・ポピンズ　新版(岩波少年文庫　52)**

P.L.トラヴァース 著
岩波書店
東風の吹く日に、こうもり傘につかまって空からやってきたメアリー・ポピンズ。バンクス家で子どもたちの世話をすることになった彼女は、子どもたちを不思議な冒険の世界へと導き…。1954 年初版の新版。

毎日新聞 2023/07/22

2000:7./ 295p
978-4-00-114052-1
¥792〔税込〕

**とびらをあけるメアリー・ポピンズ　新版(岩波少年文庫　54)**

P.L.トラヴァース 著
岩波書店
打ち上げ花火の星にのって、メアリー・ポピンズが帰ってきた!マザーグースや神話の世界へ、冒険旅行のはじまりです。新版。

毎日新聞 2023/07/22

2002:11./ 342p
978-4-00-114054-5
¥880〔税込〕

**心のおもらし**

佐藤二朗 著
朝日新聞出版
妻にチューを拒否されたり、順調にオヤジ道を邁進したり、ときには真面目に演技論を語ったり…。ジローイムズ炸裂のエッセイ集。『AERA dot.』連載に未発表作品を含む脚本 5 本を加えて書籍化。

毎日新聞 2023/07/22

2023:6./ 343p
978-4-02-332288-2
¥1,870〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**プリニウス<12>(BUNCH COMICS)**

ヤマザキマリ／とり・みき 著
新潮社
皇帝ネロの非業の死により混迷を極めたローマ帝国も、ウェスパシアヌス帝によって、ようやく安定がもたらされる。連載スタートから 10 年。魅惑の古代ローマを描く歴史伝奇ロマン、堂々完結!

毎日新聞 2023/07/22

2023:7./ 185p
978-4-10-772620-9
¥814〔税込〕

**ゲーセン戦記～ミカド店長が見たアーケードゲームの半世紀～(中公新書ラクレ　797)**

池田稔／ナカガワヒロユキ 著
中央公論新社
「ゲーマーの聖地」として国内外で名を知られる「ゲーセンミカド」。同店の店長が、シューティングゲームの流行から対戦格闘ゲームの隆盛、経営の試行錯誤や業界への提言まで、ゲームセンターの歴史と未来を語る。

毎日新聞 2023/07/22

2023:6./ 221p
978-4-12-150797-6
¥946〔税込〕

**柄谷行人『力と交換様式』を読む(文春新書　1410)**

柄谷行人ほか 著
文藝春秋
交換様式がもたらす力を軸に資本主義の構造に迫った柄谷行人の思想体系は、ついに「力と交換様式」として完成をみた。この書はいかにして着想され、書かれたのか。柄谷行人のインタビューや講演、佐藤優らの書評も収録する。

毎日新聞 2023/07/22

2023:5./ 285p
978-4-16-661410-3
¥1,100〔税込〕

**慣れろ、おちょくれ、踏み外せ～性と身体をめぐるクィアな対話～**

森山至貴／能町みね子 著
朝日出版社
「LGBT」に分類して整理したら、終わりじゃない。人間の複雑さと繊細さの入り口に立ち、「クィア」を考える対話。壮大な「その他」たちが、すべての「普通」と「規範」を問い直す。

毎日新聞 2023/07/22

2023:7./ 318p
978-4-255-01348-0
¥1,980〔税込〕

**グローバル・バリューチェーンの地政学**

猪俣哲史 著
日経ＢＰ社
複雑に張りめぐらされた国際分業ネットワークを、付加価値という視点から読み解くグローバル・バリューチェーン分析。最新のデータをもとに、米中対立を中心とする近年の経済対立、経済安全保障問題を見通す。

毎日新聞 2023/07/22

2023:7./ 202p
978-4-296-11439-9
¥2,640〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

## ゾルゲ伝～スターリンのマスター・エージェント～(新資料が語るゾルゲ事件 2)

2023:5./ 458p,85p
978-4-622-09548-4
¥6,270〔税込〕

オーウェン・マシューズ 著
みすず書房
稀代のスパイ、リヒアルト・ゾルゲの伝記。戦争の岐路、情報の最前線に立ちながら、彼は何に殉じたのか? 英独日露の新資料を駆使して、歴史的事実だけでなくゾルゲと彼をめぐる多くの人々の人間性にも迫る。

毎日新聞 2023/07/22

## 日本一長く服役した男

2023:6./ 327p
978-4-7816-2216-3
¥1,980〔税込〕

NHK 取材班　杉本宙矢・木村隆太 著
イースト・プレス
2019 年秋、80 代の無期懲役囚が仮釈放された。61 年間服役した男はどんな罪を犯し、その罪にどう向き合ってきたのか。2020～21 年放送の NHK ドキュメンタリー番組の内容を再構成し、エピソードを加えた取材記。

毎日新聞 2023/07/22

## 女性ジャズミュージシャンの社会学～音楽性・女性性・周縁化～

2023:4./ 280p,8p
978-4-7917-7543-9
¥2,860〔税込〕

マリー・ビュスカート 著
青土社
「女性らしい」音楽的役割へと疎外される女性ジャズシンガーたち。ジャズの世界に潜むジェンダーに基づいた音楽的な役割の棲み分けと、「ガラスの天井」の問題の交差した、フランスのジャズ界での差別の構造を明らかにする。

毎日新聞 2023/07/22

## 禍

2023:7./ 313p
978-4-10-319723-2
¥1,870〔税込〕

小田 雅久仁 著
新潮社
壊れかけた人生を生きてきた女は、報酬金に目が眩み、とある宗教団体が執り行う<髪譲りの儀>にサクラとして参加するが…。「髪禍」など、恍惚の淵に待ち受ける破局と創生を描く全 7 編を収録。『小説新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/07/22、読売新聞 2023/07/30

## 通訳者と戦争犯罪

2023:6./ 5p,282p,26p
978-4-622-09617-7
¥4,950〔税込〕

武田珂代子 著
みすず書房
自らの伝えた言葉によって他者が拷問や虐待にさらされる時、通訳者は中立性を保てるのか? 太平洋戦争後の対日戦犯裁判やイラク、アフガンなどの事例から、戦争・紛争下の通訳者が直面するリスクと倫理的選択について論じる。

毎日新聞 2023/07/22、日本経済新聞 2023/07/29

**敗北を抱きしめて～第二次大戦後の日本人～<上>　増補版**

ジョン・ダワー／三浦　陽一／高杉　忠明 著
岩波書店
敗戦の惨状の中を歩み始めた民衆は、「平和と民主主義」への願いを抱きしめて、上からの革命に力強く呼応した。奇蹟的な「敗北の物語」を描いた二十世紀の叙事詩。ピュリッツァー賞受賞作品。２００１年刊の増補版。

毎日新聞 2023/07/29

2003:11./ 29,379p
978-4-00-024420-6
¥3,080〔税込〕

**敗北を抱きしめて～第二次大戦後の日本人～<下>　増補版**

ジョン・ダワー／三浦　陽一／高杉　忠明 著
岩波書店
天皇制を抱擁し、憲法を骨抜きにし、戦後改革の巻き戻しに道をつけて、占領軍は去った。日米合作の「戦後」がここに始まる。ピュリッツァー賞受賞作。大量の図版を追加した、２００１年刊の増補版。

毎日新聞 2023/07/29

2003:11./ 9,455,9p
978-4-00-024421-3
¥3,300〔税込〕

**満蒙開拓団～国策の虜囚～(岩波現代文庫　学術 461)**

加藤 聖文 著
岩波書店
「王道楽土」「民族協和」の美名のもとに「国策の虜囚」となった満蒙開拓民。厳しい生活、敗戦で難民となった悲惨な体験、残留孤児をめぐる国策のツケ。移民の計画から終局、そして戦後史までの全歴史をたどる。

毎日新聞 2023/07/29

2023:2./ 13p,290p,7p
978-4-00-600461-3
¥1,672〔税込〕

**人間非機械論～サイバネティクスが開く未来～(講談社選書メチエ 786)**

西田 洋平 著
講談社
AI は、人間にはなれない。けれども、AI の進歩は現代人の思考を変えつつある。AI の源流にある科学、サイバネティクスの思想を現代までたどり直し、情報・生命・社会の未来を読み解き、人間の世界観を根本から覆す科学論。

毎日新聞 2023/07/29

2023:6./ 325p
978-4-06-531778-5
¥2,255〔税込〕

**遠い家族～母はなぜ無理心中を図ったのか～**

前田 勝 著
新潮社
18 歳の春、母が義父を殺して自死した。16 年後、母への割り切れない思いを抱え続けていた「僕」は、ドキュメンタリー番組出演をきっかけに母の生涯を辿る旅に出て…。天涯孤独の息子が追い求めた悲劇の真相と再生の手記。

毎日新聞 2023/07/29

2023:3./ 190p
978-4-10-354991-8
¥1,650〔税込〕


MARUZEN-YUSHODO

**ニジンスキーは銀橋で踊らない**

かげはら 史帆 著
河出書房新社
1912 年、バレエ・ダンサー。1958 年、宝塚歌劇団男役。2 人のスターに焦がれて生きた女性・ロモラの半生を描いた、長編の「推し」小説。著者の個人ウェブサイト連載のテキストを改題、改稿して書籍化。

毎日新聞 2023/07/29

2023:5./ 369p
978-4-309-03107-1
¥1,980〔税込〕

**昭和天皇実録<第 9>　自昭和十八年至昭和二十年**

宮内庁 編
東京書籍
昭和天皇の誕生より崩御に至るまでの記録「昭和天皇実録」の原本全六十一巻を十八冊にまとめ、新たに索引一冊を作成して附録として公刊。第 9 は、巻三十一(昭和十八年)～巻三十四(昭和二十年)を収録。

毎日新聞 2023/07/29

2016:9.
978-4-487-74409-1
¥2,079〔税込〕

**科学革命の構造 新版**

トマス・S・クーン 著
みすず書房
「通常科学」から「危機」へ、そして、新しい「パラダイム」へ。科学と世界の見方を変えたクーンの描像を、21 世紀的な解像度で丹念に翻訳。イアン・ハッキングによる手引きを巻頭に収録する。

毎日新聞 2023/07/29

2023:6./ 51p,321p,10p
978-4-622-09612-2
¥3,300〔税込〕

**「選択的シングル」の時代～30 カ国以上のデータが示す「結婚神話」の真実と「新しい生き方」～**

エルヤキム・キスレフ 著
文響社
ワーク・ライフ・バランス維持戦略、国・都市・社会的機関ができること…。幸福に生きているシングルの人たちの生活と統計を掘り下げ、シングルで生きることを選んだ人、結果的にシングルとして生きている人のための道を示す。

毎日新聞 2023/07/29

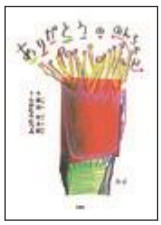
2023:6./ 445p
978-4-86651-628-8
¥1,958〔税込〕

**森と魚と激戦地～はじめて明かされる太平洋の住民たちの受難と抵抗～ 新版**

清水　靖子 著
三省堂書店
かつて日米の戦いの激戦地だった太平洋。その海と島々は今、環境破壊の激戦地となっていた。踏み込まれた住民の受難と抵抗。歴史の闇に埋もれさせてはならない真実の数々を綴る。内容を大幅にアップデートした新版。

毎日新聞 2023/07/29

2023:6./ 400p
978-4-87923-204-5
¥2,970〔税込〕



**ありがとうののんちゃん**

2023:7./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-88344-320-8
¥1,320〔税込〕

たかむら むつみ 著

石風社

どんなにつらいことでも、かなしいことでも、「ありがとう」って感謝すれば、すべてが大きな幸せに変わる…。「ありがとう」が口ぐせの女の子のんちゃんのお話。聖句「すべてのことに感謝せよ」から生まれた絵本。

毎日新聞 2023/07/29



MARUZEN-YUSHODO